



第2期おおむら支え合いプラン策定

地域の支え合いに関するアンケート 結果報告



令和 2 年 5 月

大 村 市

目次

1 アンケート概要.....	1
(1) アンケートの目的.....	1
(2) アンケートの実施概要.....	1
(3) アンケートの回収状況.....	2
2 アンケート結果.....	3
(1) ご自身に関すること.....	3
(2) 生活環境について.....	6
(3) 情報発信のあり方について.....	12
(4) 地域の関りについて.....	14
(5) 助け合い、支え合いについて.....	16
(6) 地域の活動について.....	21
【最後に】地域のあり方について、日頃思っていることなど（自由記載）.....	30

1 アンケート概要

(1) アンケートの目的

大村市では、平成 23 年 3 月に「向こう三軒両隣 みんなつながり支え合い いきいき 安心おおむらづくり」を基本理念とした「おおむら支え合いプラン（地域福祉計画・地域福祉活動計画）」を策定し、地域における新たな支え合いの仕組みづくりを目指して取り組みを進めてきました。

令和 2 年度の計画期間終了に伴い、地域福祉を取り巻く環境の変化や地域福祉に関する住民意識の変化を調査し、第 2 期計画に取り組むべき事項の整理を行うため、「地域の支え合いに関するアンケート」を実施しました。

(2) アンケートの実施概要

対 象 者	令和 2 年 2 月 1 日現在、15 歳から 80 歳の市民 3,000 名（無作為抽出）
実施期間	令和 2 年 2 月 25 日（火） から 3 月 27 日（金）
調査方法	配布は郵送、回収は郵送及び市ホームページ回答
調査内容	1 基本的事項（性別、年齢、お住いの校区等） 2 生活環境関する満足度 3 情報発信のあり方に関する調査 4 地域との関りに関する調査 5 助け合い・支え合いに関する意識調査 6 地域活動に関する調査 7 地域のあり方について（自由記載欄）

(3) アンケートの回収状況

① 回答方法別

区分	発送数	回収数	回収率	構成比
郵送・持参による回答	3,000	845	28.2%	89.1%
ホームページによる回答		103	3.4%	10.9%
合計	3,000	948	31.6%	100.0%

② 性別

区分	発送数	回収数	回収率	構成比
男性	1,500	381	25.4%	40.2%
女性	1,500	558	37.2%	58.9%
無回答	—	9	—	0.9%
合計	3,000	948	31.6%	100.0%

③ 年齢別

区分	発送数	回収数	回収率	構成比
10代	231	50	21.6%	5.3%
20代	359	51	14.2%	5.4%
30代	474	134	28.3%	14.1%
40代	593	163	27.5%	17.2%
50代	531	169	31.8%	17.8%
60代	462	196	42.4%	20.7%
70代以上	350	182	52.0%	19.2%
無回答	—	3	—	0.3%
合計	3,000	948	31.6%	100.0%

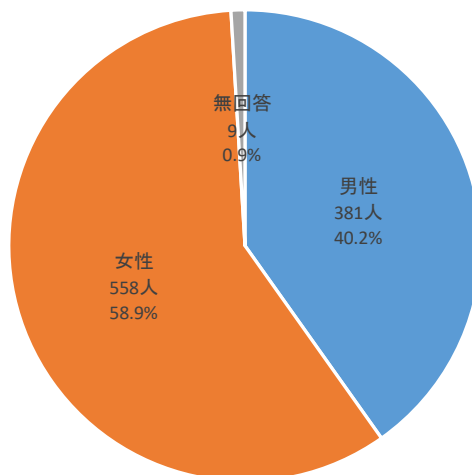
2 アンケート結果

- ・グラフ中の n はその項目の有効回答者数で、比率算出の基礎数値となります。特に指定が無い場合は、総回答者数 948 人に対する比率を記載しています。
- ・単回答では、小数点第 2 位以下を四捨五入し表示しているため比率の合計が 100.0% とならないことがあります。
- ・複数回答では、回答者数に対しての比率であるため、比率の合計が 100.0% を超えることになります。

(1) ご自身に関すること

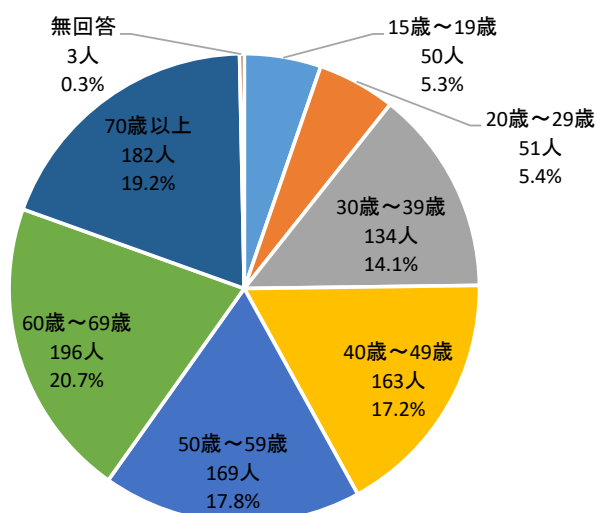
◆問 1 あなたの性別を教えてください。(単回答)

回答者の性別については男性が 40.2% (381 人)、女性が 58.8% (558 人)、無回答 0.9% (9 人) となりました。



◆問 2 あなたの年齢を教えてください。(単回答)

回答者の年齢層は、年齢が高くなるにつれて回答者数も多くなり、60代が最も多くなっています。



◆問3 あなたのお住いの地域（小学校区）を教えてください。（単回答）

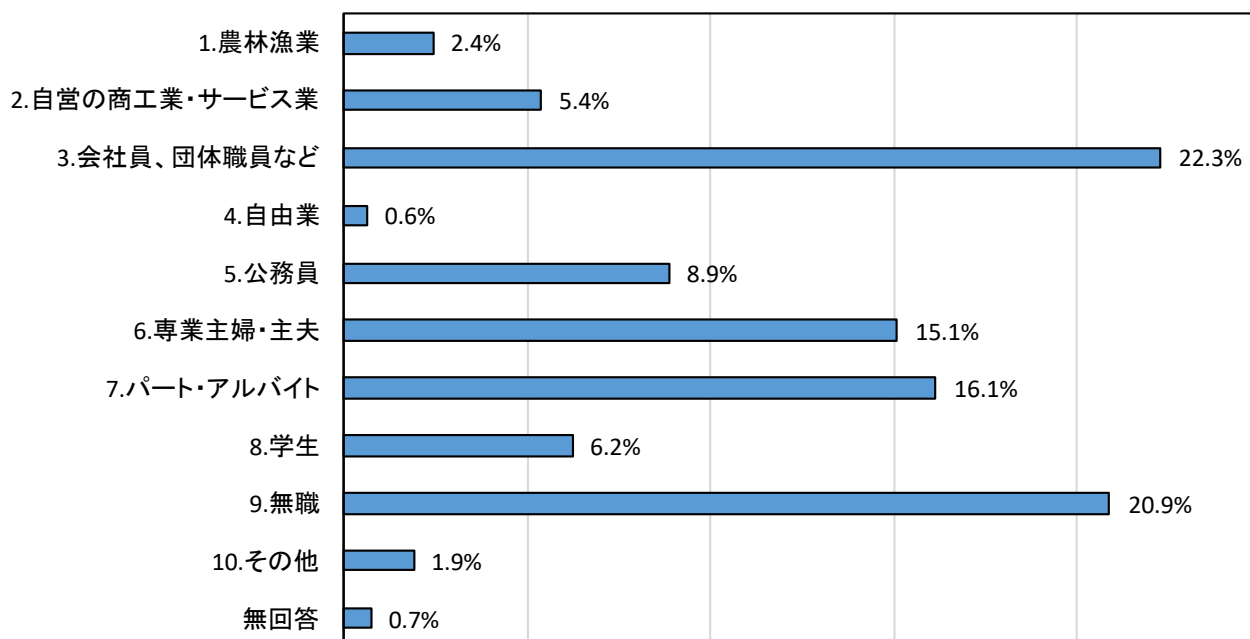
小学校区別の回答状況について、回答者数が最も多いのは竹松小学校区（125名：13.2%）で、次いで西大村小学校区（119名：12.6%）、大村小学校区（117名：12.3%）となっています。

回収率では、萱瀬小学校区（40.0%）が最も多く、次いで大村小学校区（37.3%）、旭が丘小学校区（37.3%）となっています。

小学校区	対象者数	回答者数	回収率	構成比
三浦小学校区	82	29	35.4%	3.1%
鈴田小学校区	76	21	27.6%	2.2%
大村小学校区	314	117	37.3%	12.3%
旭が丘小学校区	255	95	37.3%	10.0%
東大村小学校区	23	6	26.1%	0.6%
三城小学校区	327	94	28.7%	9.9%
西大村小学校区	396	119	30.1%	12.6%
放虎原小学校区	306	74	24.2%	7.8%
中央小学校区	225	70	31.1%	7.4%
竹松小学校区	403	125	31.0%	13.2%
富の原小学校区	341	109	32.0%	11.5%
萱瀬小学校区	50	20	40.0%	2.1%
黒木小学校区	6	2	33.3%	0.2%
福重小学校区	133	40	30.1%	4.2%
松原小学校区	63	14	22.2%	1.5%
無回答	-	13	-	1.4%
合計	3,000	948	31.6%	100.0%

◆問4 あなたのお仕事を教えてください。（複数回答）

職業別では、「3. 会社員、団体職員など」（22.3%）が最も多く、以下「9. 無職」（20.9%）、「7. パート・アルバイト」（16.1%）となっています。

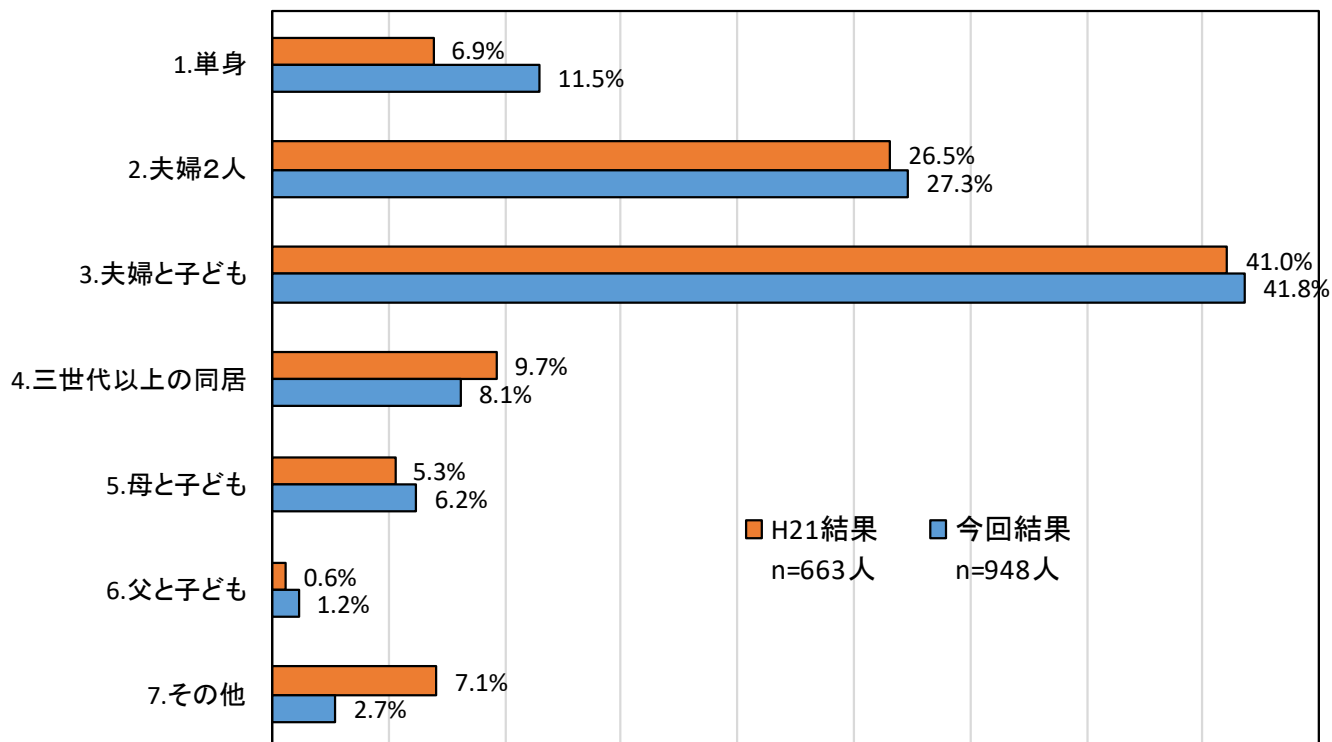


◆問5 あなたの世帯構成を教えてください。(単回答)

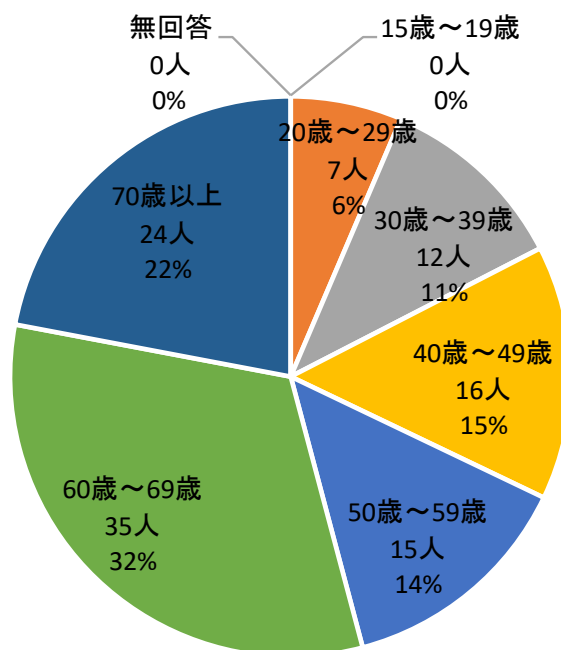
世帯構成は、「3. 夫婦と子ども」(41.8%)が最も多く、前回調査41.0%から若干増加をしました。

一方で、「1. 単身」は前回調査6.9%から大きく増加し11.5%となっています。

また、「1. 単身」と回答した方を年齢別にみると60代以上の方が半数以上を占めています。



【参考】「単身」と回答した方の年齢構成比 n=109人



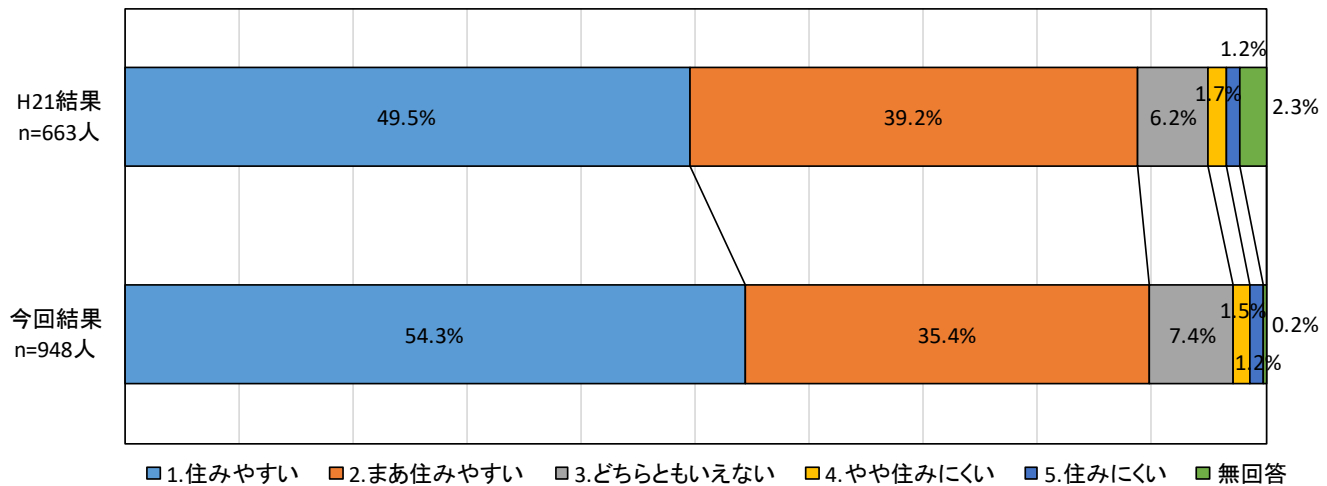
(2) 生活環境について

◆問6 あなたは大村市を住みやすいと感じていますか。(単回答)

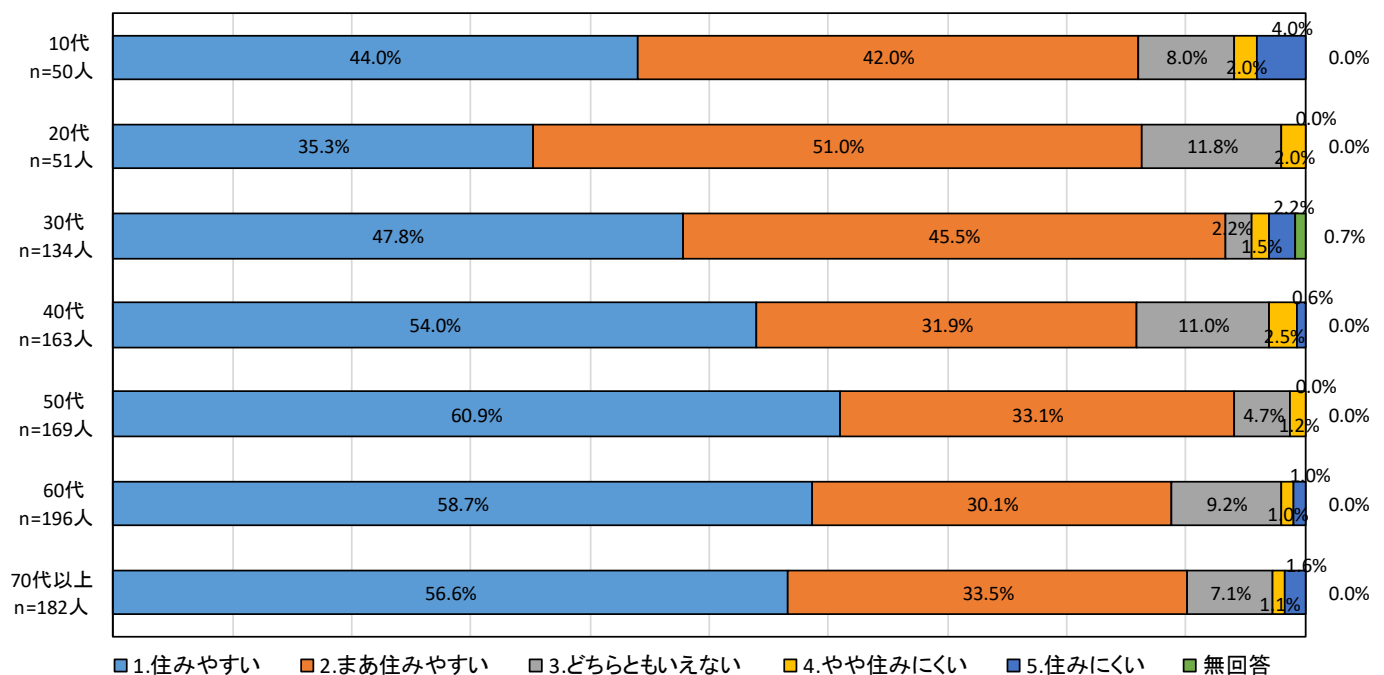
「住みやすい」「まあ住みやすい」を合わせた『大村市は住みやすい』と感じている人は、前回調査 88.7%に対して今回は 89.7%と 1.0%増加しました。

長崎県の中央に位置し、空港や高速道路インターチェンジなどがあることで各都市への交通アクセスの利便性の高さや、平野部が多くコンパクトな街でありながら地価が比較的安いこと、子どもや高齢者などに対し福祉施策の取組を進めてきたことなどを背景に、住みやすいと感じている方が増えているものと考えられます。

また、年代別では、10代で見ると「やや住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『大村市は住みにくい』と感じている割合が 6.0%と、年代別で最も多くなっています。



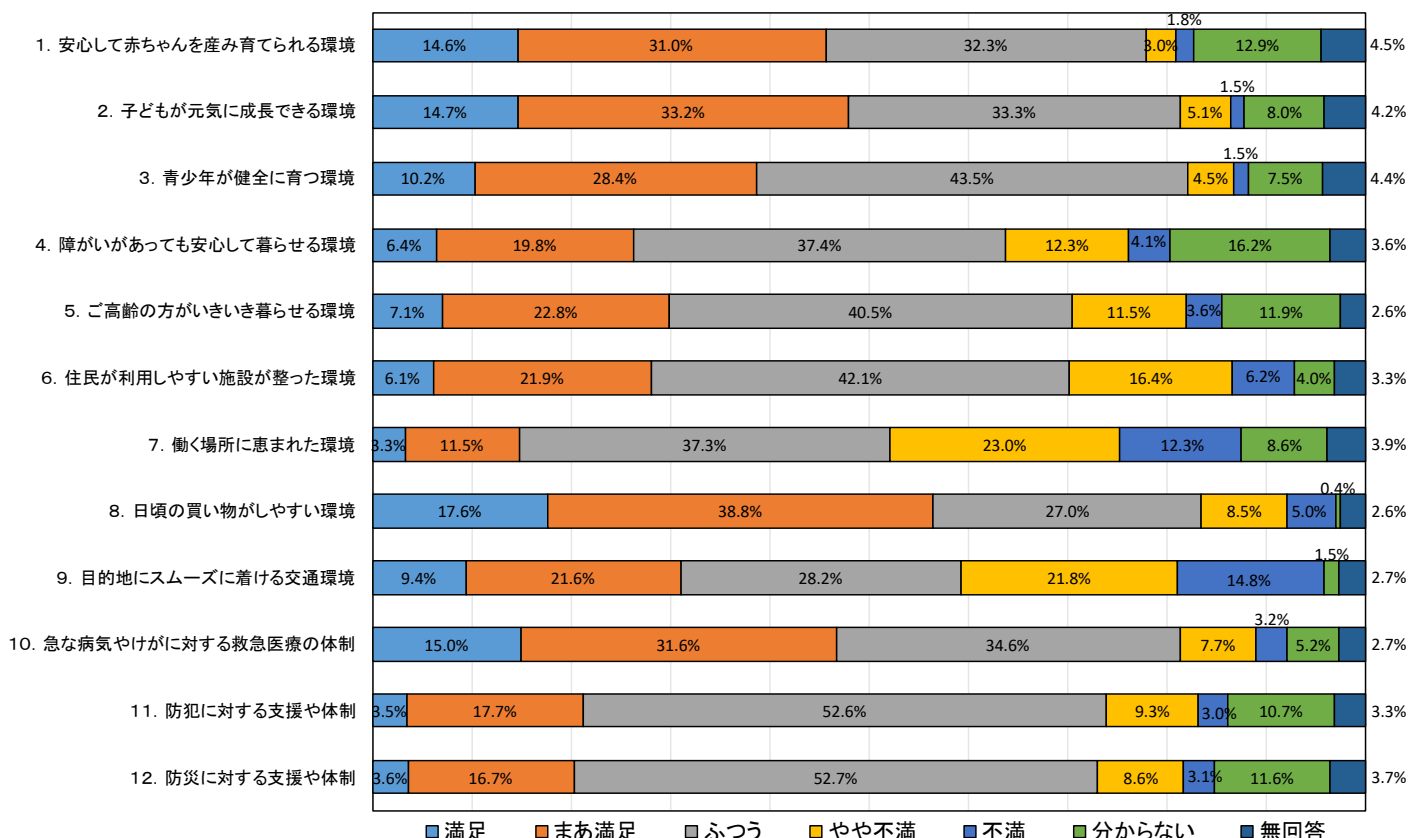
【参考】年齢別回答構成比



◆問7 あなたは身の回りの環境についてどう感じていますか。(単回答)

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、「8. 日頃の買い物がしやすい環境」(56.4%)が最も多く、以下「2. 子どもが元気に成長できる環境」(47.9%)、「10. 急な病気やけがに対する救急医療の体制」(46.6%)となっています。

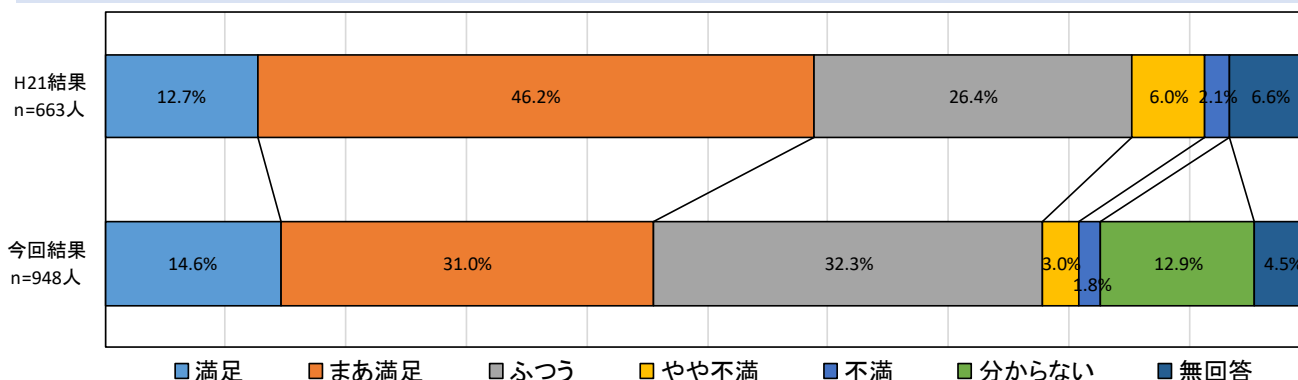
また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』では、「9. 目的地にスムーズに着ける交通環境」が36.6%で最も多く、以下「7. 働く場所に恵まれた環境」(35.4%)、「6. 住民が利用しやすい施設が整った環境」(22.6%)となっています。



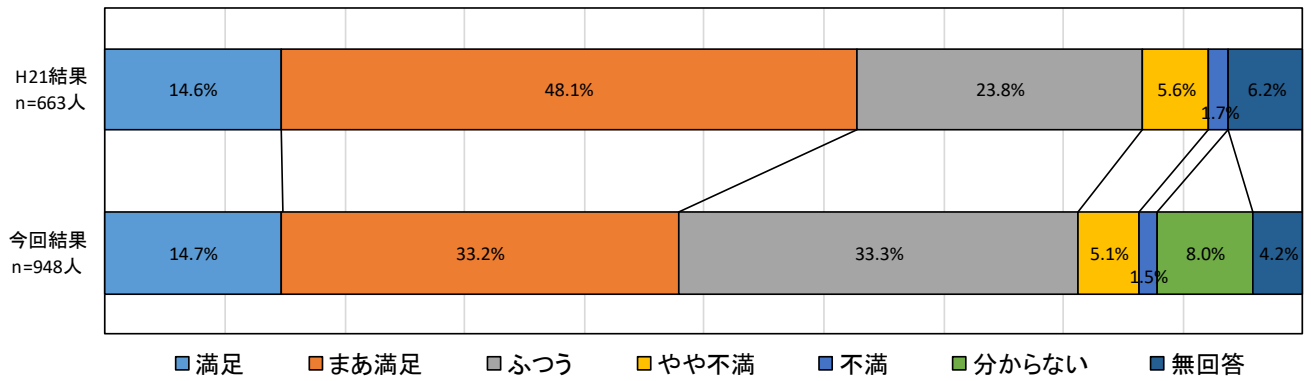
前回調査との比較では、ほとんどの項目で「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』と回答した方が、前回調査時より減少しています。

なお、今回調査では選択項目に「分からない」を追加しています。

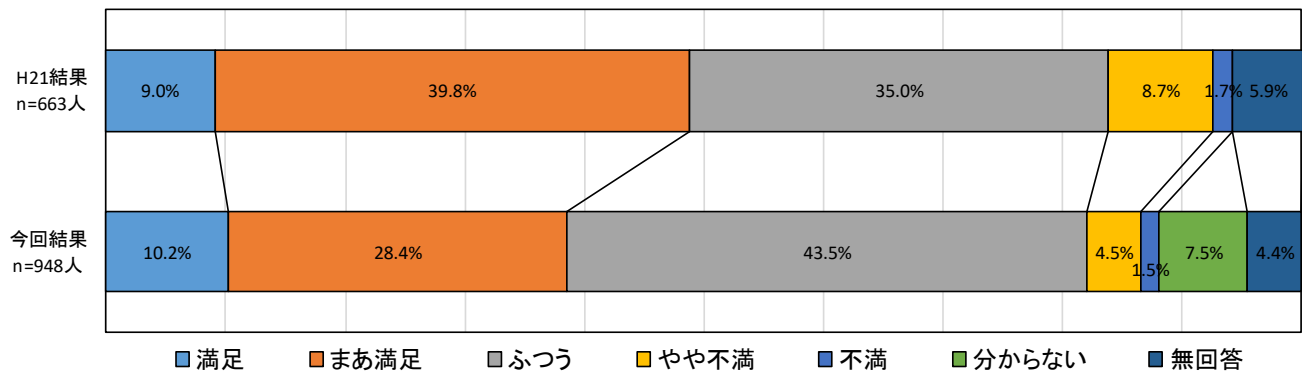
1. 安心して赤ちゃんを産み育てられる環境



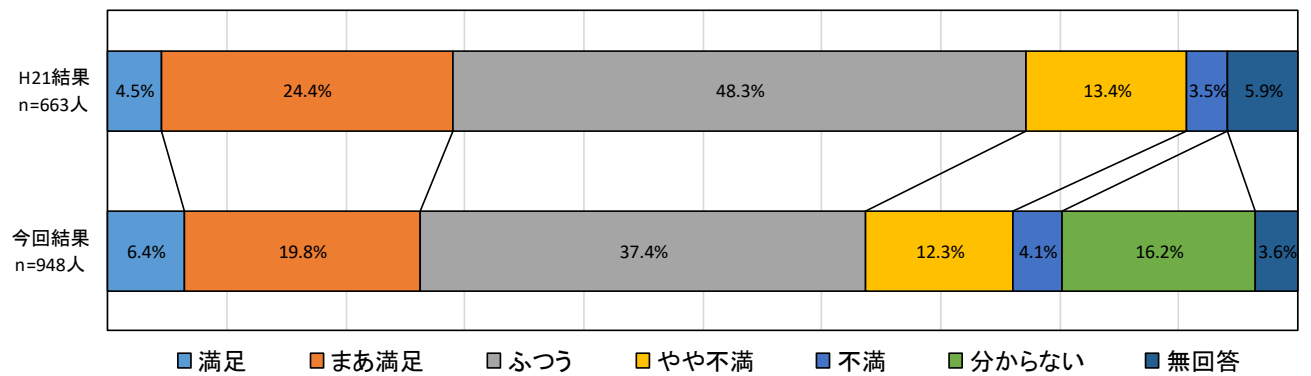
2. 子どもが元気に成長できる環境



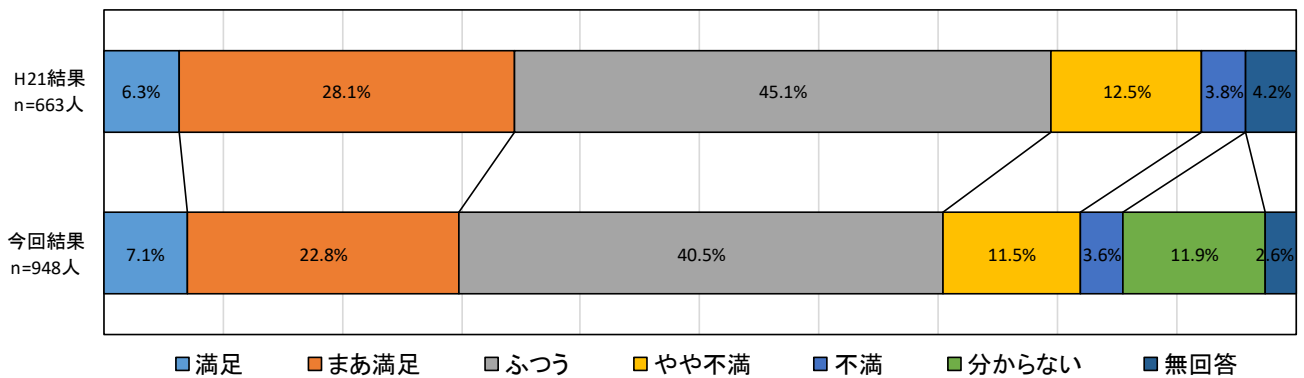
3. 青少年が健全に育つ環境



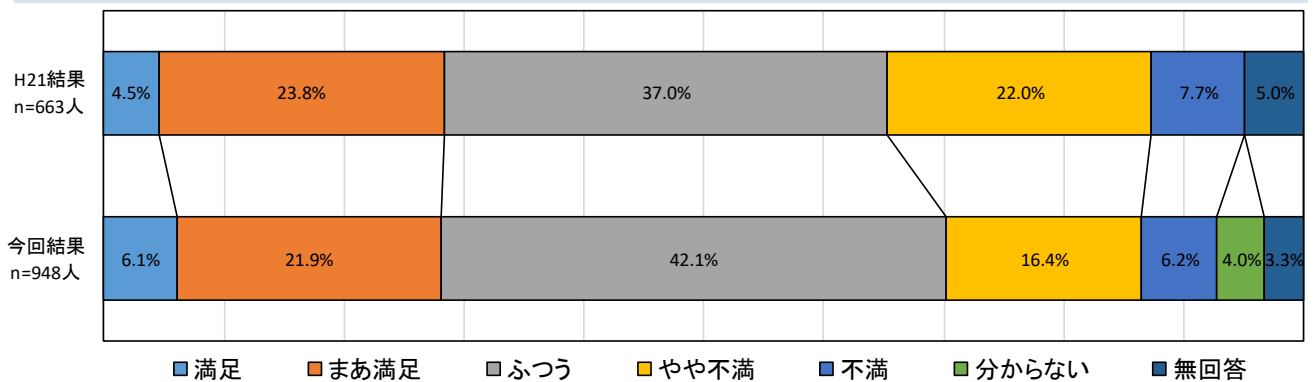
4. 障がいがあっても安心して暮らせる環境



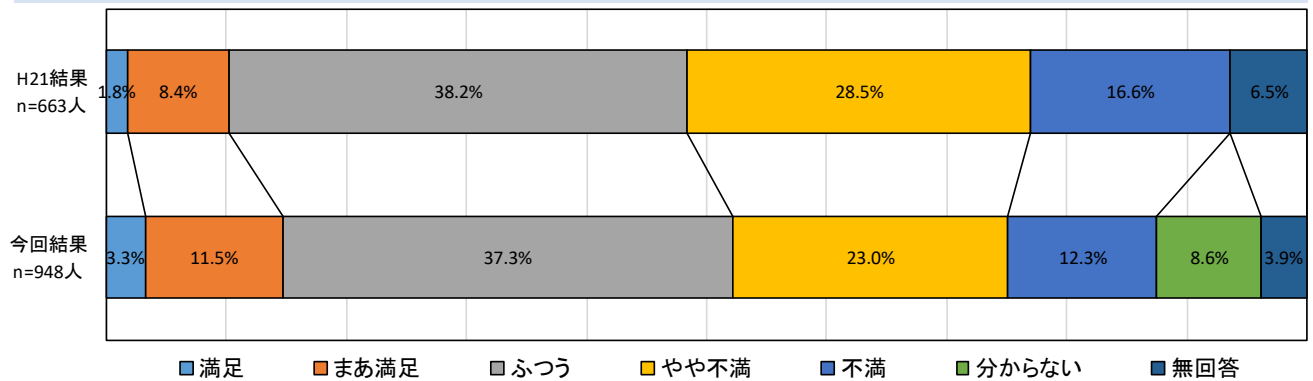
5. ご高齢の方がいきいき暮らせる環境



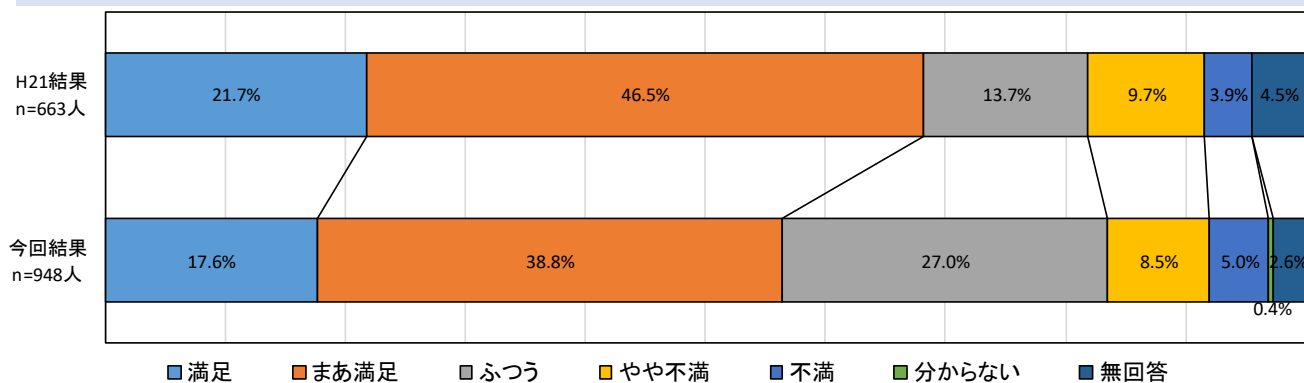
6. 住民が利用しやすい施設が整った環境



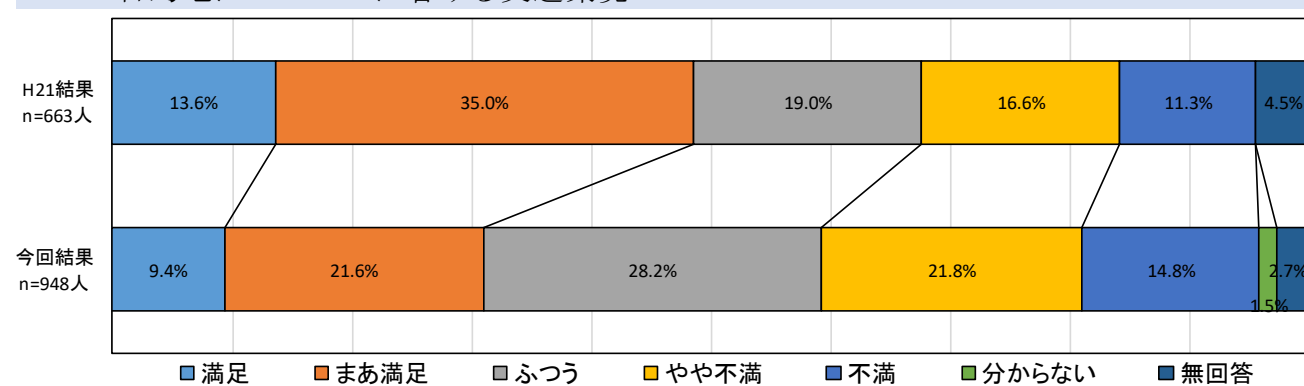
7. 働く場所に恵まれた環境



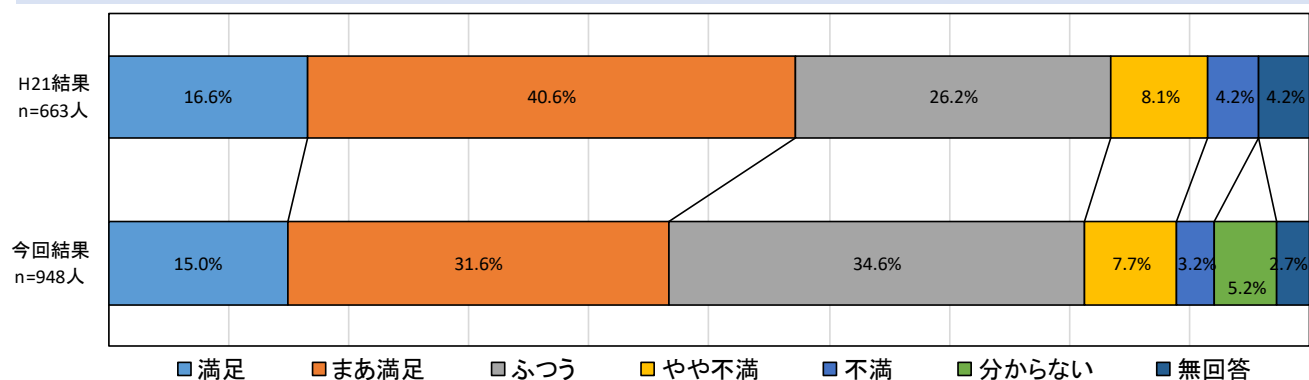
8. 日頃の買い物がしやすい環境



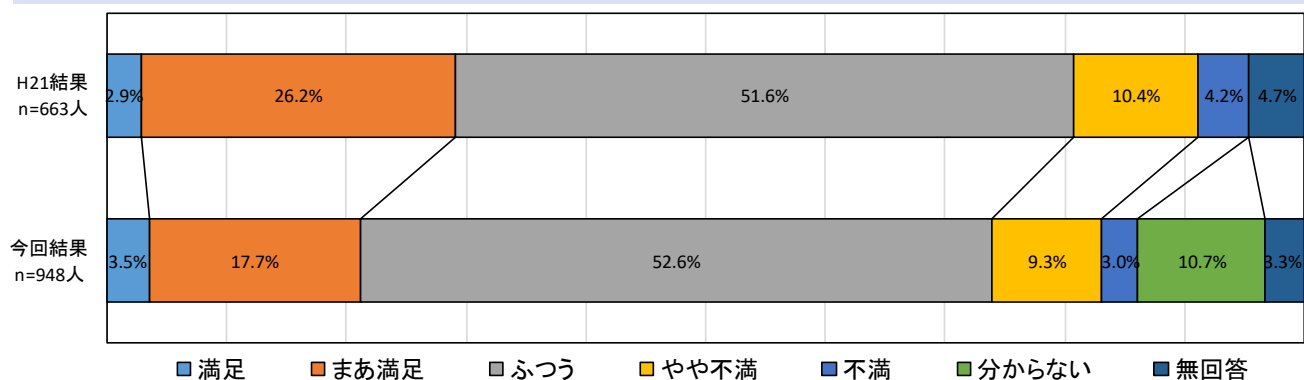
9. 目的地にスムーズに着ける交通環境



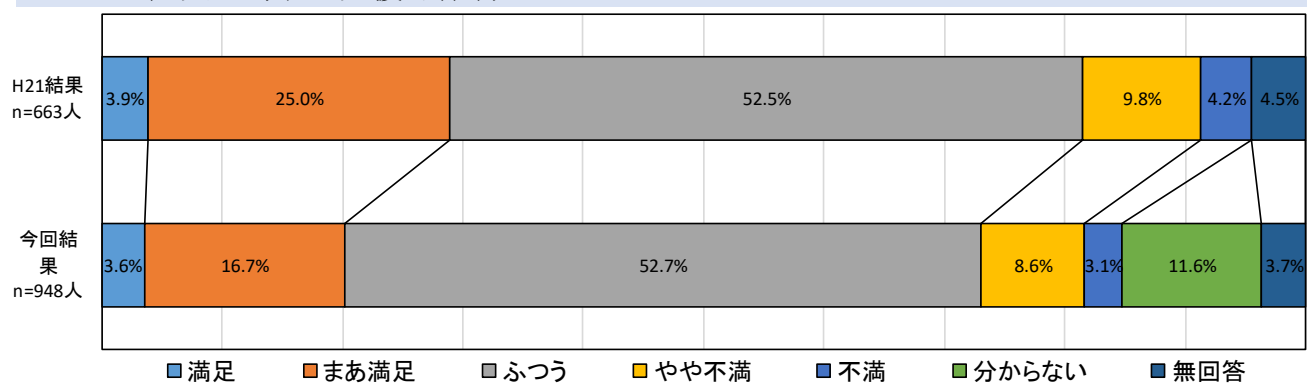
10. 急な病気やけがに対する救急医療の体制



1 1. 防犯に対する支援や体制



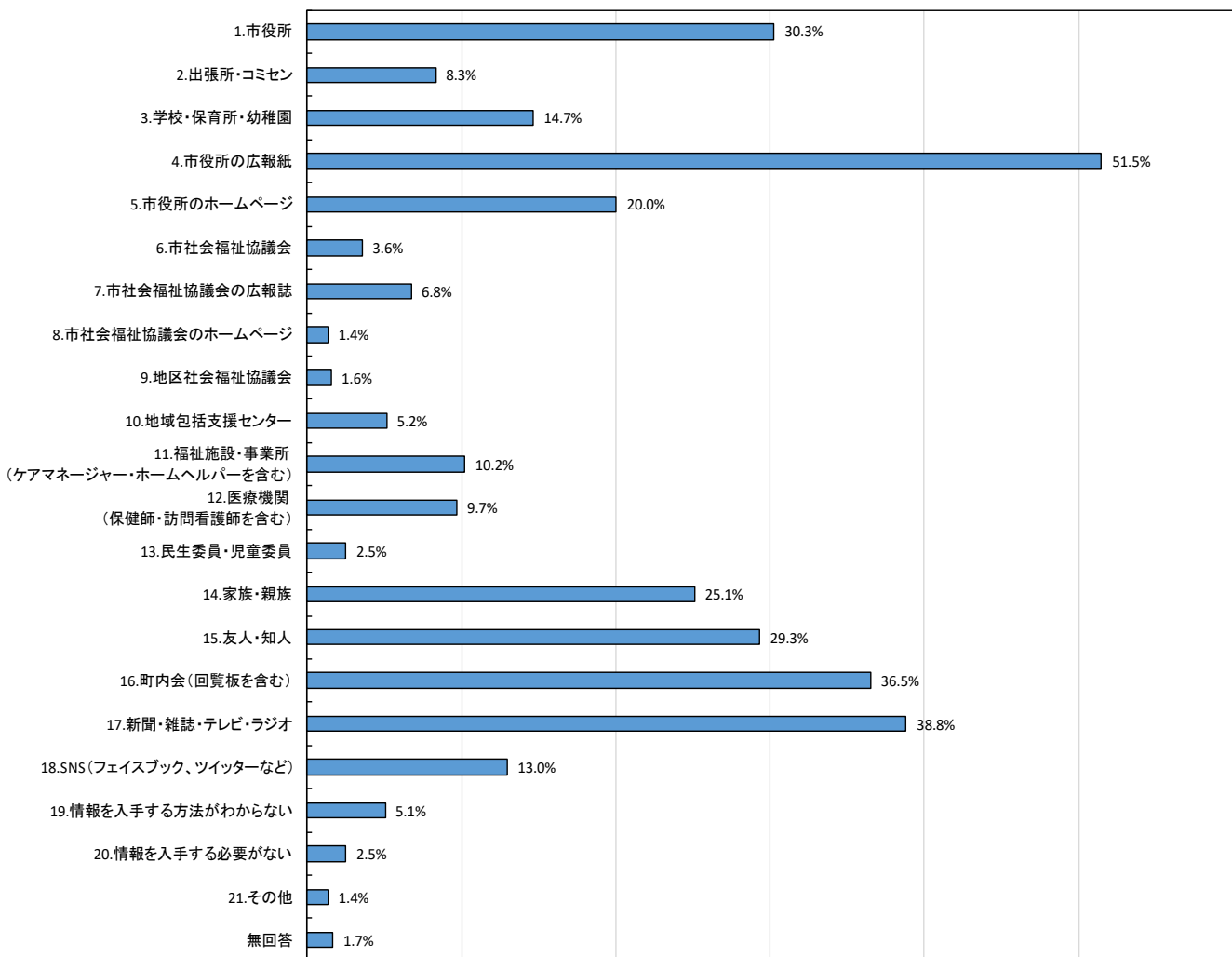
1 2. 防災に対する支援や体制



(3) 情報発信のあり方について

◆問8 あなたは福祉に関する必要な情報を主にどこから入手していますか。
(複数回答)

福祉に関する情報の入手先として「4. 市役所の広報紙」(51.5%)が最も多く、以下「17. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(38.8%)、「16. 町内会(回覧板を含む)」(36.5%)となっています。広報紙や回覧板等の町内会からの情報は、町内会未加入世帯に対して届かないことが多いため、そうした方への情報の届け方の工夫をする必要があります。



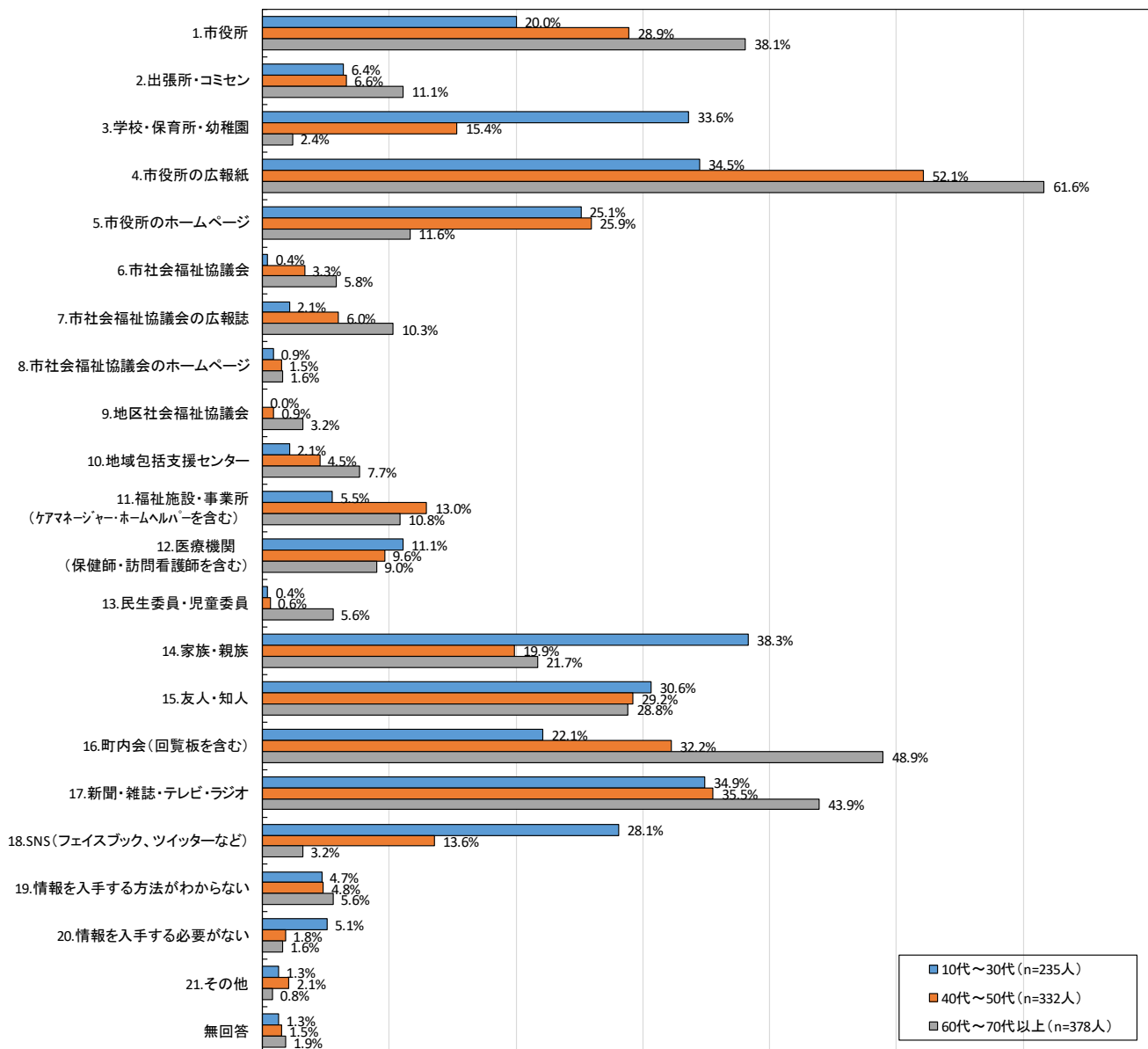
◇その他の内容(主なもの)

- ・こどもセンター
- ・インターネット検索
- ・YouTube など

福祉に関する情報の入手先を年代別（3区分）で比較すると、10代～30代、40代～50代で、「市社会福祉協議会」や「地区社会福祉協議会」、「民生委員・児童委員」の割合が低くなっています。社会福祉協議会や民生委員・児童委員などを知らない方もいるため、こうした機関等の周知を図っていく必要があります。

また60代～70代以上では、他の世代に比べて「市役所のホームページ」や「SNS」の割合が低くなっており、情報発信がインターネットに偏らないような配慮が必要となります。

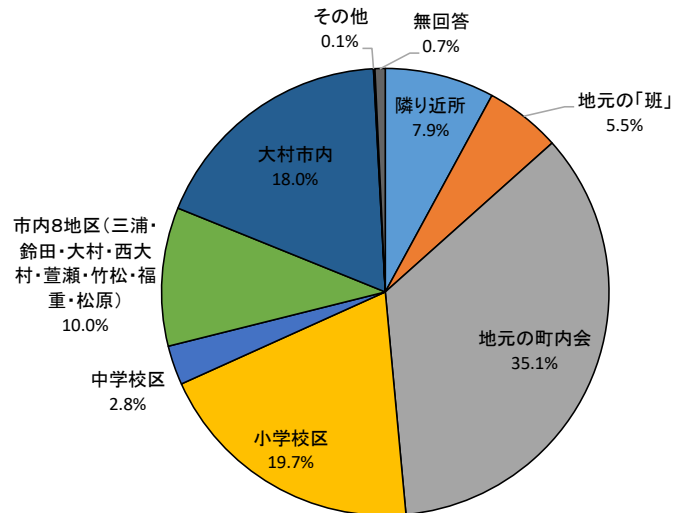
【参考】年代別（3区分）回答比率



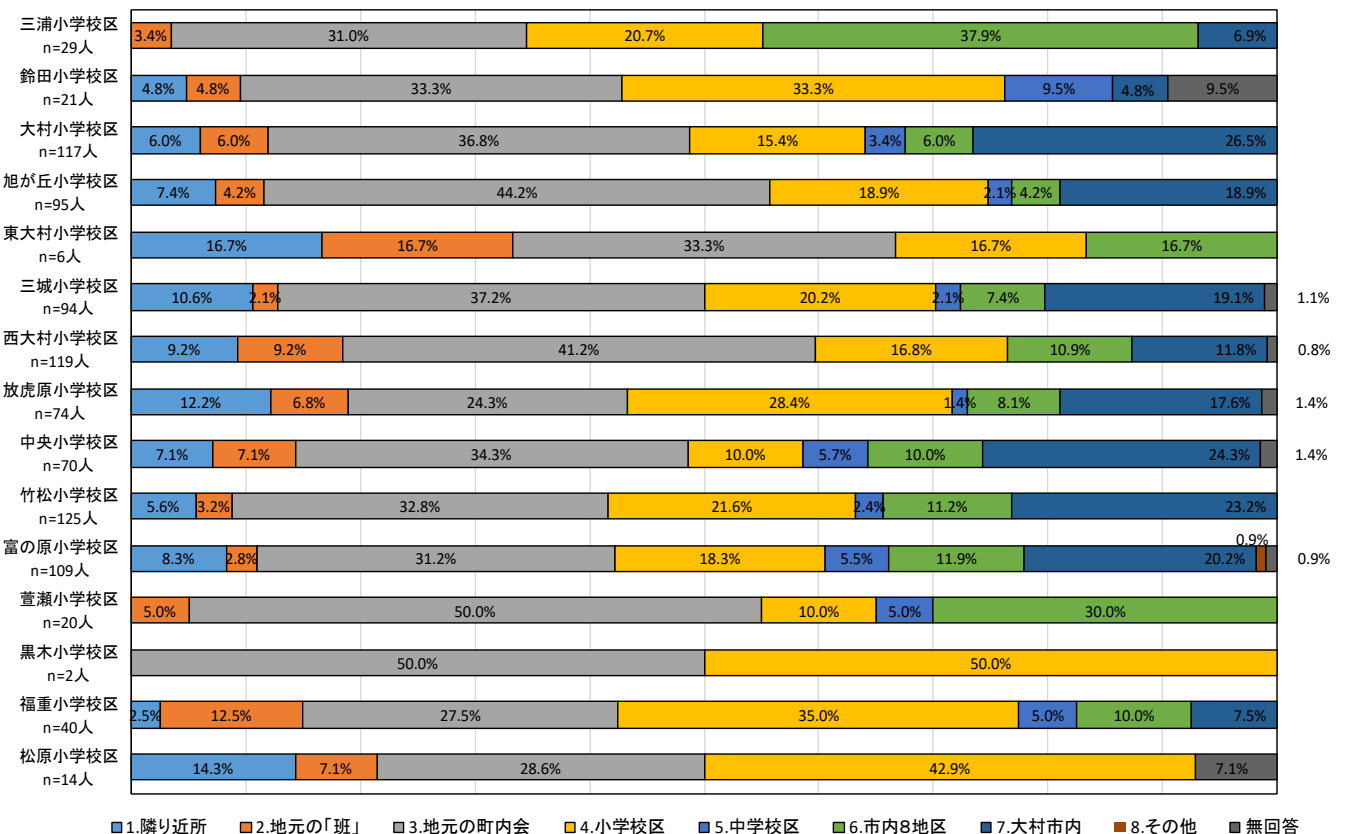
(4) 地域の関りについて

◆問9 あなたは「地域」という言葉を聞いたとき、最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれになりますか。(単回答)

「地域」の範囲で最も多かったのは「地元の町内会」(35.2%)で、以下「小学校区」(19.8%)、「大村市内」(18.0%)となっています。



【参考】小学校区別構成比

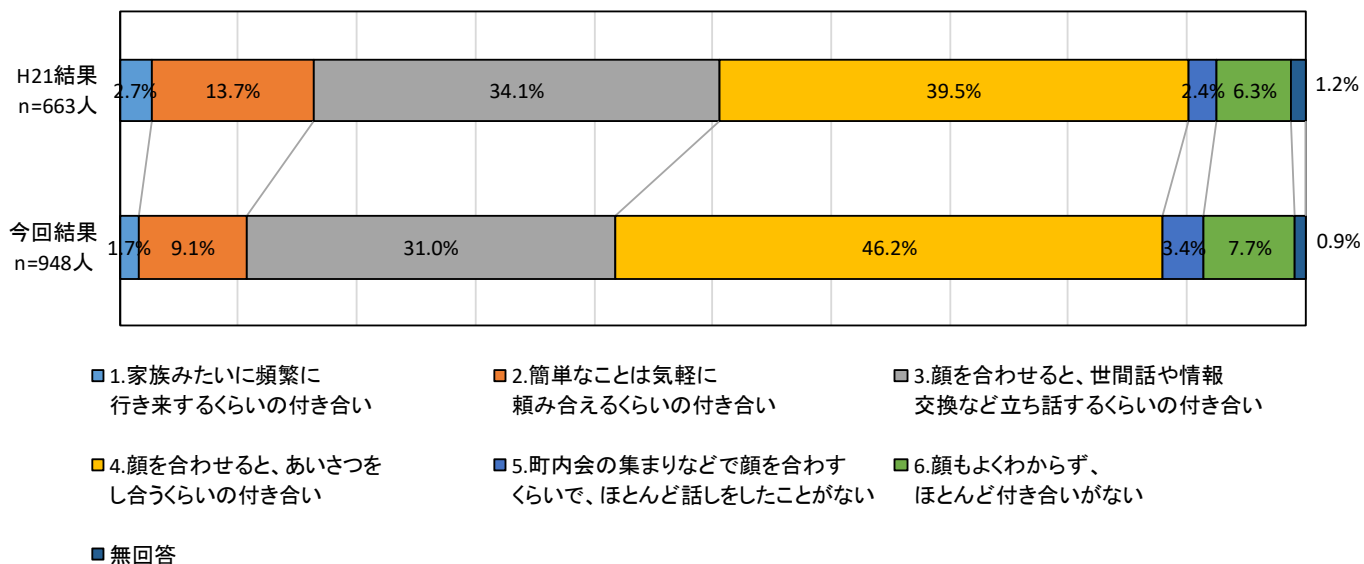


◆問10 あなたは今、隣り近所とどの程度お付き合いがありますか。(単回答)

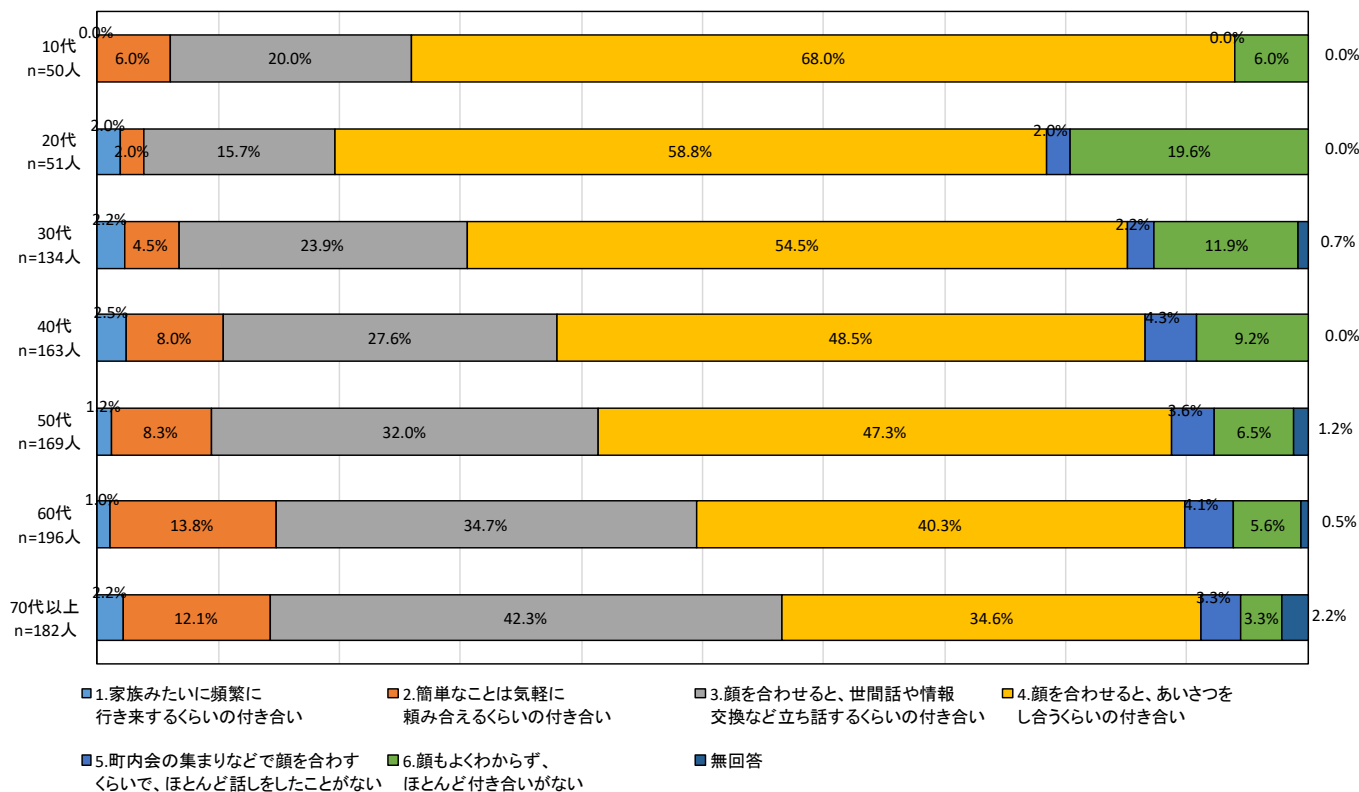
近所との繋がりに関する質問については、「3.顔を合わせると、あいさつをし合うぐらいの付き合い」(46.2%)が最も多くなっています。

前回調査と比較すると、隣り近所との付き合いが希薄化し適度な距離を置く傾向になりつつあることが分かります。

年代では、20代、30代で隣り近所との付き合いが希薄化していることが分かります。



【参考】年代別構成比

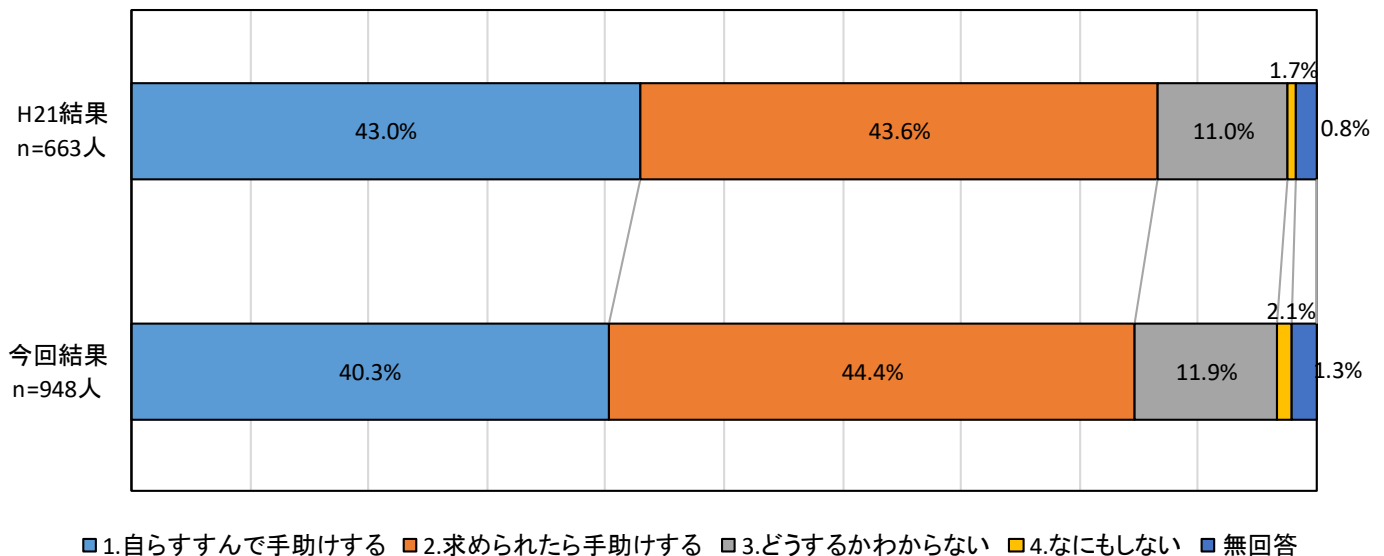


(5) 助け合い、支え合いについて

◆問 1 1 あなたは、近所やまちなかで困っている人を見かけたらどうしますか。
(単回答)

「自ら進んで助ける」と「求められたら手助けする」を合わせると 84.7%で、前回調査時の合計 86.6%から若干減少しています。

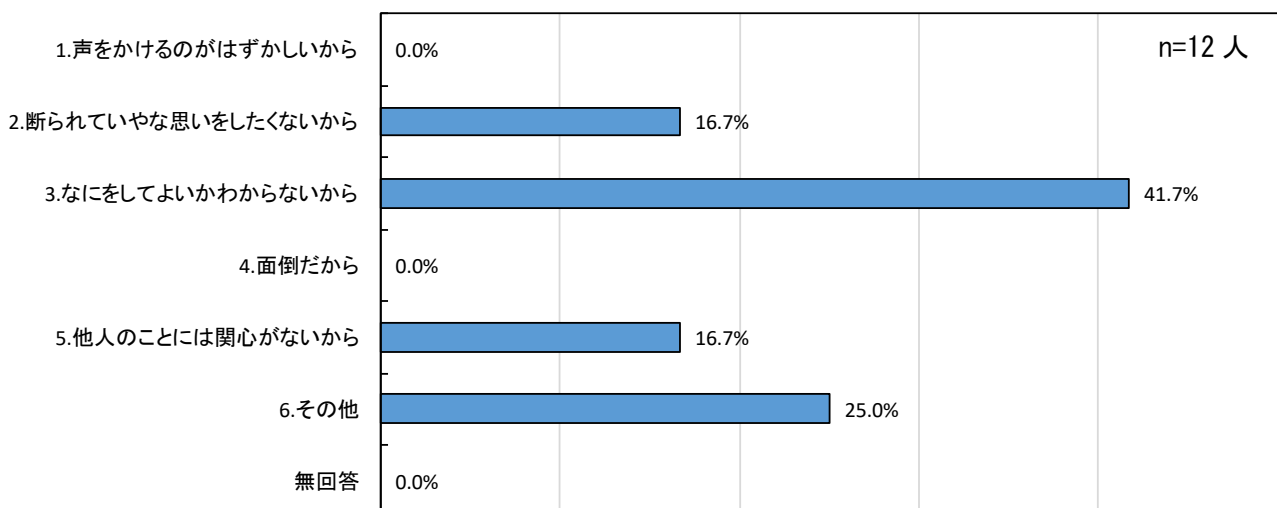
助け合い、支え合いに対する意識を高めるための取組みを進める必要があります。



◆問 1 2 問 1 1 で「4. なにもしない」と回答されたのはどんな理由ですか。
(単回答)

問 1 1 で「4. なにもしない」(n=12 人) と回答した理由で最も多いのが「何をしてもいいのかわからない」(41.7%) で、以下「その他」(25.0%) となっています。

「その他」の内容は、「身体障がい者だから」、「あやしい人と思われそう」などがありました。

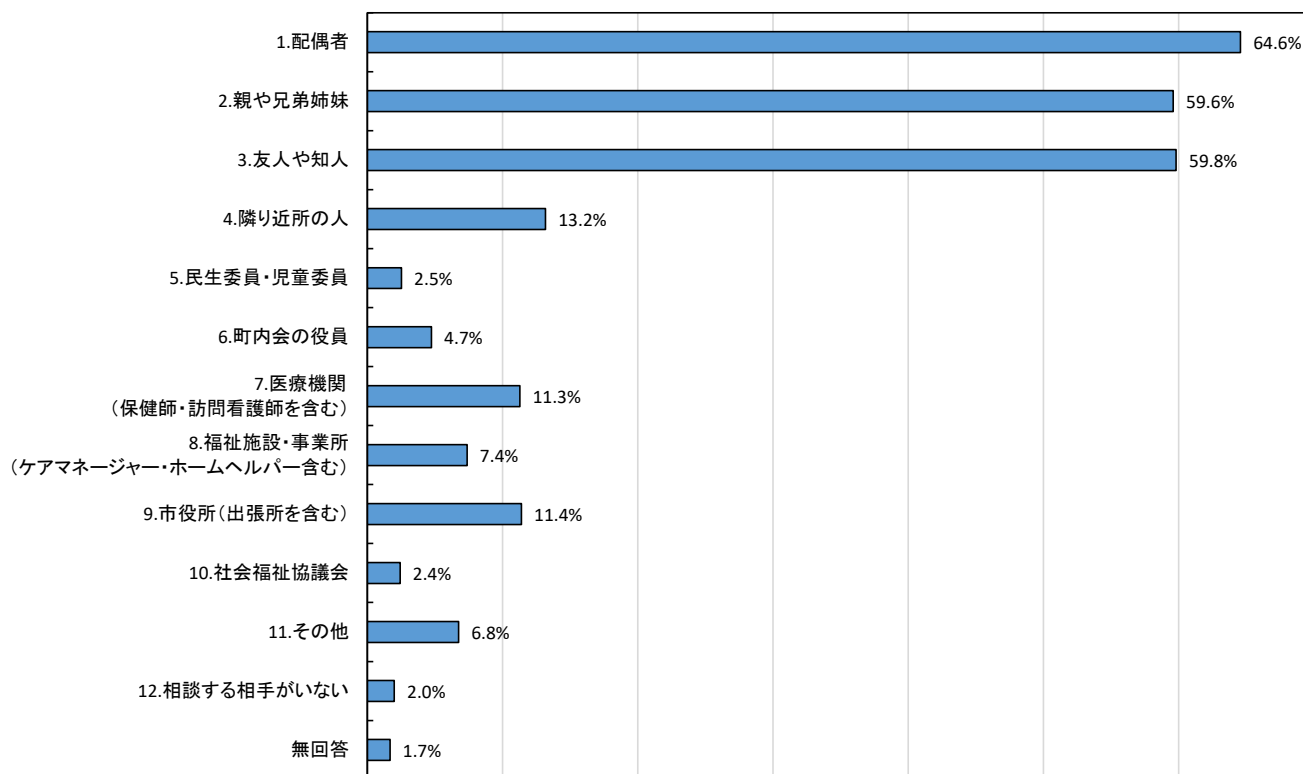


◆問 1 3 あなたは、困ったときや不安を感じる時、誰に相談しますか。(複数回答)

困った時の相談相手で、最も多かったのは「1. 配偶者」(64.6%)で、以下「3. 友人や知人」(59.8%)、「2. 親や兄弟姉妹」(59.6%)となっており、身内への相談が多くなっています。

「5. 民生委員・児童委員」や「10. 社会福祉協議会」に対して相談する方の割合は低く、相談窓口としてあまり認知されていないと思われます。

また、「12. 相談する相手がいない」も2.0%あり、そうした方の困りごとをいかにして受け止めるかといった課題もあります。



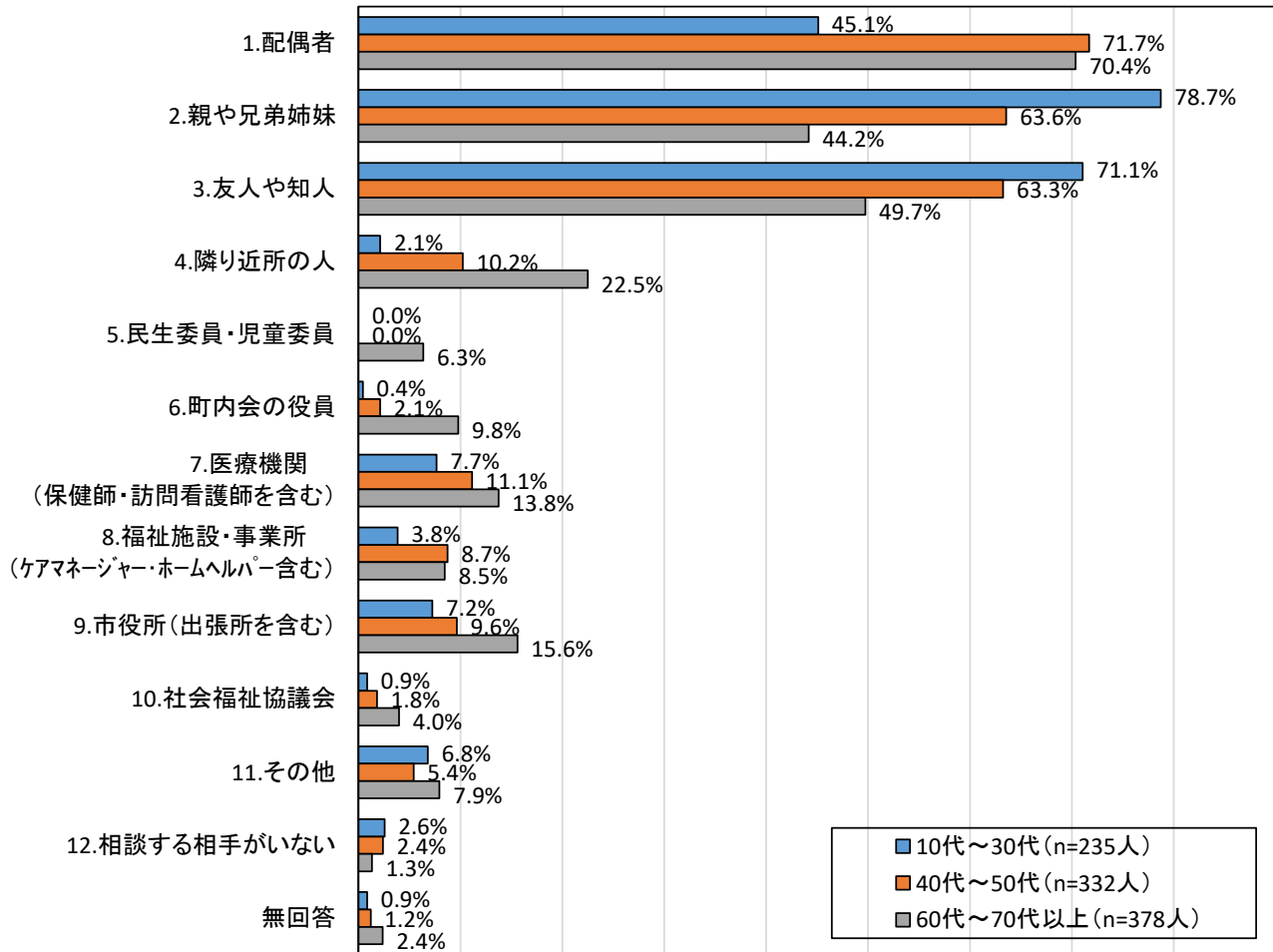
◇その他の内容(主なもの)

- ・子ども、親族
- ・職場の上司、同僚
- ・こどもセンター、保育園 など

相談相手を年代（3区分）で見ると、問8と同様に、50代以下で「民生委員・児童委員」や「社会福祉協議会」の割合が低くなっています。

また、30代以下では「隣り近所の人」や「町内会の役員」も低くなっています。コミュニケーションの多様化により、地域で相談するよりも SNS 等を活用して「友人や知人」に相談をしているものと思われます。

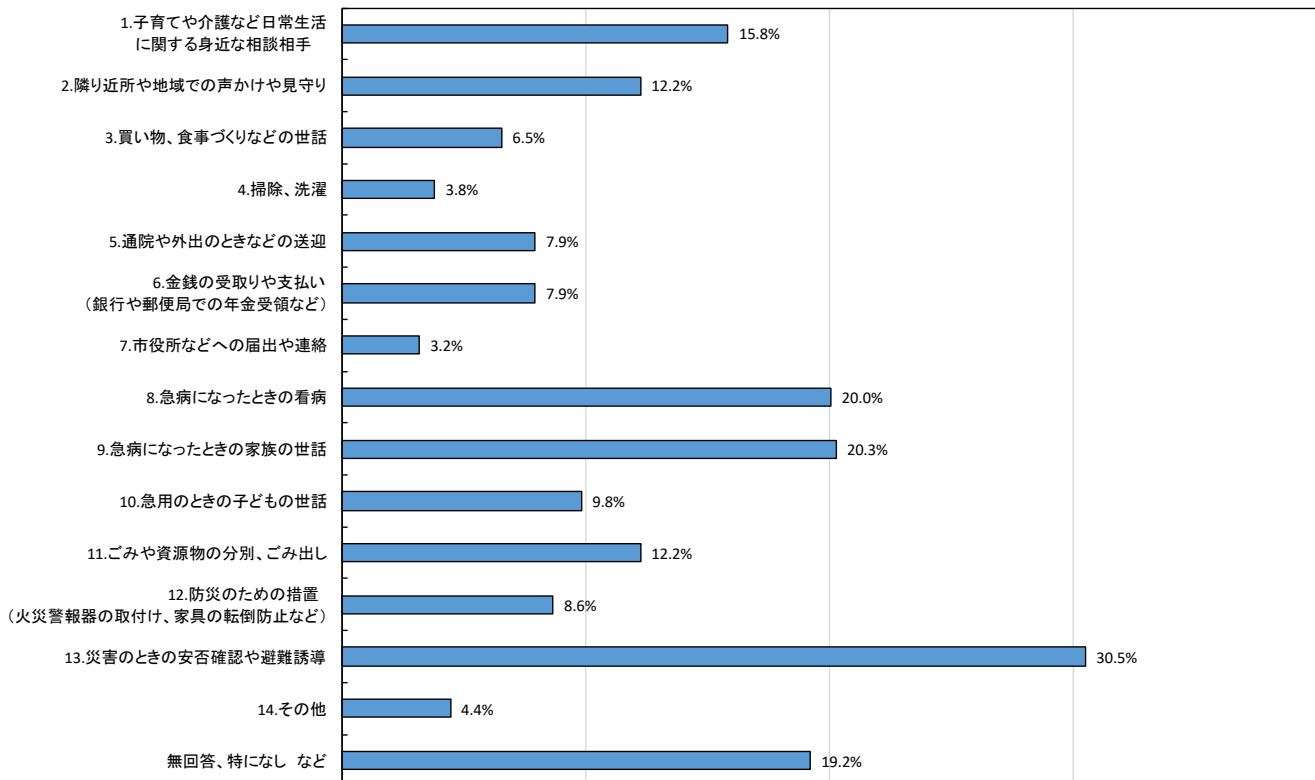
【参考】年代別（3区分）回答比率



◆問 1 4 あなたが、いま気にかかっていることで、手助けを求めるならどんなことですか。（複数回答）

手助けを求めることとして、「13. 災害の時の安否確認や避難誘導」（30.5%）が最も多く、災害に対する意識や不安の高まりが感じられます。

また、「9. 急病になったときの家族の世話」（20.3%）、「8. 急病になったときの看病」（20.0%）といった、急病時に対する不安も多くなっています。



◇その他の内容（主なもの）

・町内会に関すること

脱退者が多い、役員のなり手不足、ゴミ当番が辛い、班長が大変

・交通機関に関すること

外出時の交通機関が不便、バスがない

・医療に関すること

夜中の急な病気に対応する病院（窓口）の不足、マスクが不足、病気の時の仕事の手助け

・生活に関すること

一人暮らしで老後のことが不安、短時間の子守り（2～3時間）、勉強のこと、子どもの防犯（不審者情報の共有）、住居や土地の相続、自宅等の工事で信用できる優良な業者が分からない。

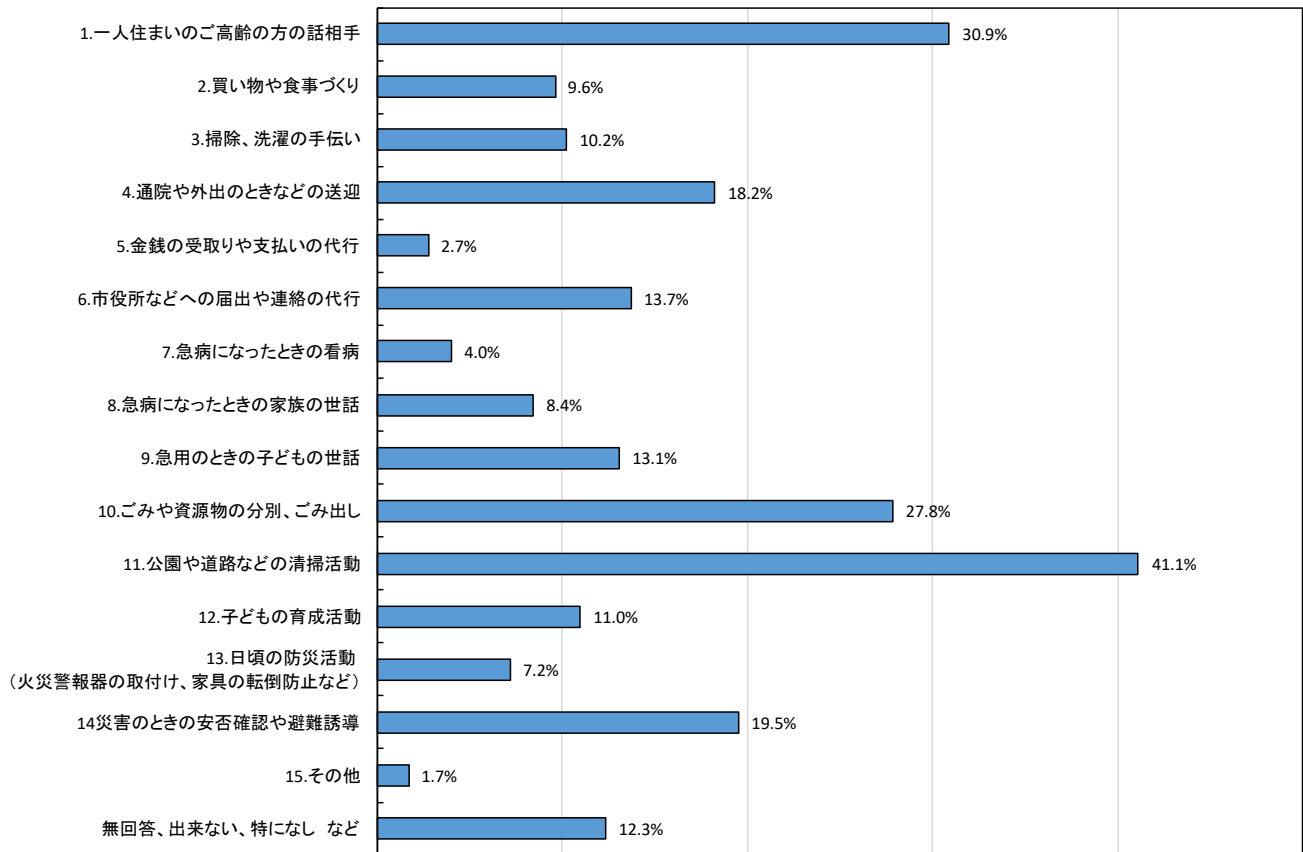
・環境に関すること

市役所前道路の中央分離帯の雑草、自然の保護（海・山・川）

など

◆問 1 5 あなたが隣り近所や地域のなかで手助け出来るとしたら、どんなことですか。
(複数回答)

地域のなかで手助けが出来ることとして、「11. 公園や道路などの清掃活動」(41.1%)が最も多く、以下「1. 一人住まいのご高齢の方の話し相手」(30.9%)、「10. ごみや資源物の分別、ゴミ出し」(27.8%)となっています。



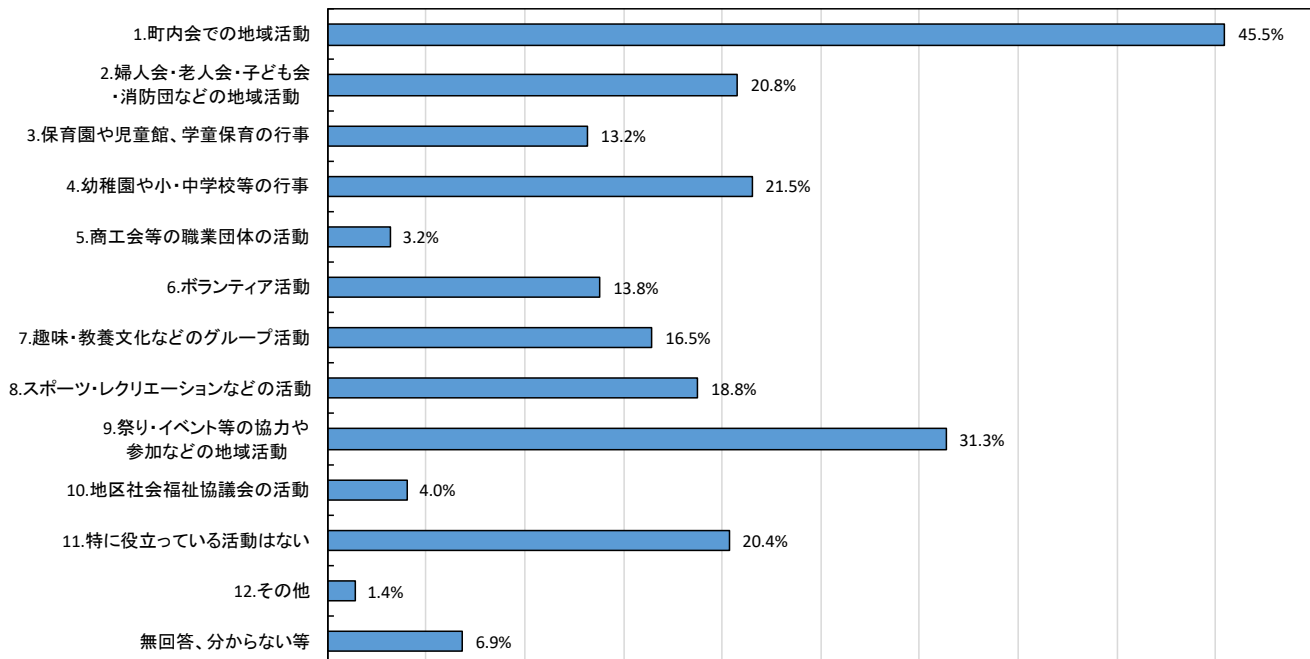
◇その他の内容（主なもの）

- ・ 民生委員の教育
- ・ 班長の負担軽減の協力
- ・ 近所の声かけ見守り
- ・ 草刈りや伐採、旅行や災害時のペットの世話
- ・ 元気な間は何でもやります など

（６）地域の活動について

◆問１６ あなたは、地域住民とのふれあいの役に立っている行事や活動は何だと思いませんか。（複数回答）

地域住民とのふれあいの役に立っている活動等は、「1. 町内会での地域活動」（45.5%）が最も多く、以下「9. 祭り・イベント等の協力や参加などの地域活動」（31.3%）、「4. 幼稚園や小・中学校等の行事」（21.5%）となっています。

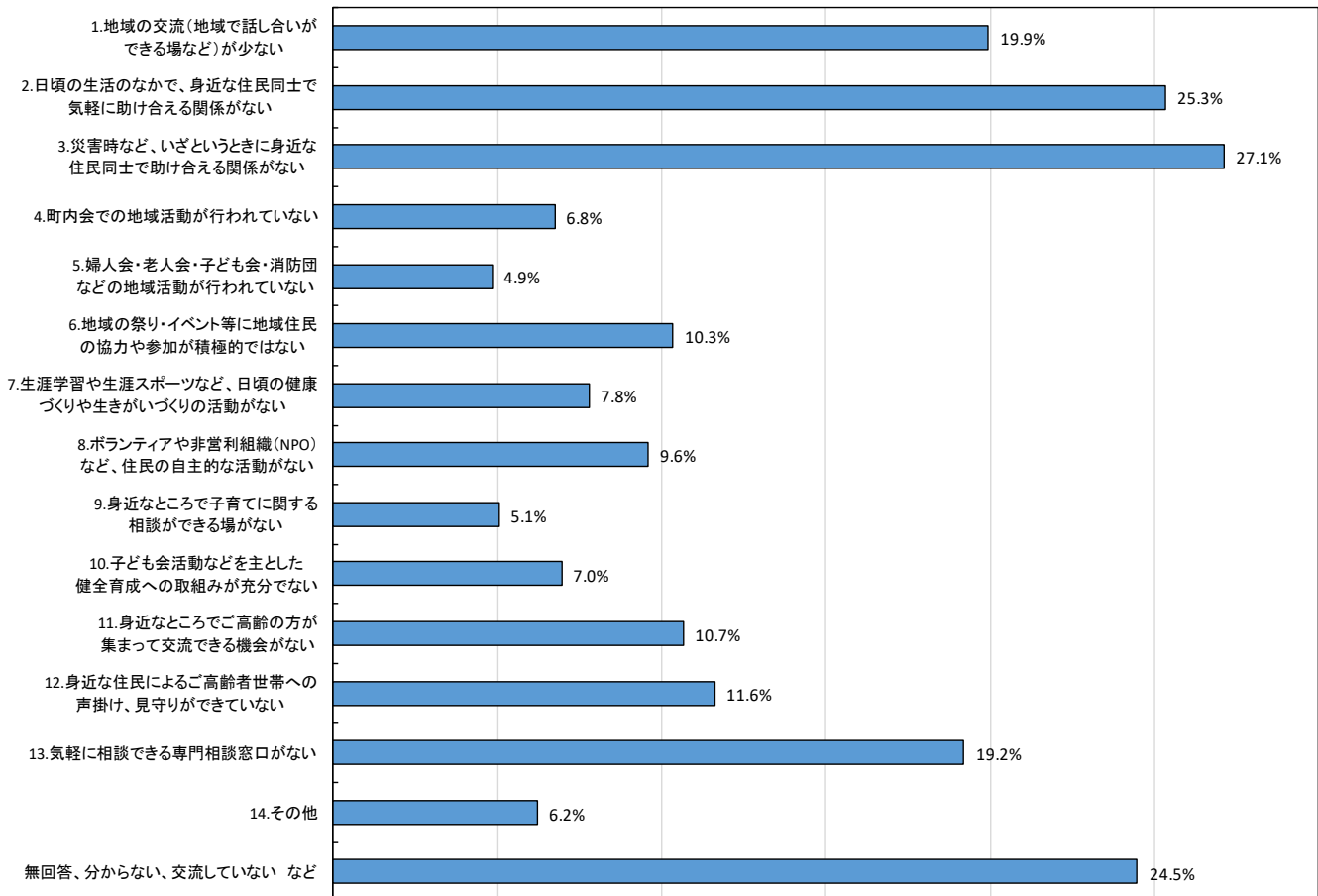


◇その他の内容（主なもの）

- ・近所５件で月に１回集まって情報交換
- ・近所の子供たちが遊んでいる時の見守り
- ・身体的に活動できない
- ・ふれあいまで至っていない
- ・ふれあいたくない など

◆問 1 7 あなたの住んでいる地域には、どのような課題があると思いますか。
(複数回答)

地域の課題として最も多かったのは、「3. 災害時など、いざというときに身近な住民同士で助け合える関係性がない」(27.1%)で、以下「2. 日頃の生活の中で、身近な住民同士で気軽に助け合える関係がない」(25.3%)、「1. 地域の交流(地域で話し合いができる場など)が少ない」(19.9%)となっています。



◇その他の内容(主なもの)

- ・ 公民館がない、子どもが集まったり遊んだりする場所(児童館、公園)がない
- ・ 地域内の高齢化により諸活動が衰退している
- ・ 昔ながらの町内会組織運営は難しくなっている(班長や役員の負担が大きいなど)
- ・ 地域での見守り合いが難しいのならばお金を払ってでもサービスを利用したい(ファミリーサポートなど)
- ・ 歩道や道路陥没など整備が出来ていない
- ・ 危険な運転が多い
- ・ 交通機関がない
- ・ 避難場所の土地が安全な所ではない
- ・ ゴミステーションが無い家のゴミが猫やカラスに荒らされて散らかっている
- ・ 妊婦検診の負担が大きい
- ・ 自己中心的な考えの人が多い など

地域の支え合いに関するアンケート結果報告

【参考】問 17 校区別 地域の課題

★は各校区の中で上位 3 項目（無回答を除く）

①玖島中学校区

項目	校区	玖島中学校区			
		三浦小学校区 n=29人	鈴田小学校区 n=21人	大村小学校区 n=117人	合計 n=167人
1.地域の交流（地域で話し合いができる場など）が少ない		★10.3%	4.8%	★23.1%	★18.6%
2.日頃の生活のなかで、身近な住民同士で気軽に助け合える関係がない		★17.2%	14.3%	17.1%	16.8%
3.災害時など、いざというときに身近な住民同士で助け合える関係がない		★10.3%	★23.8%	★30.8%	★26.3%
4.町内会での地域活動が行われていない		0.0%	0.0%	12.0%	8.4%
5.婦人会・老人会・子ども会・消防団などの地域活動が行われていない		0.0%	4.8%	10.3%	7.8%
6.地域の祭り・イベント等に地域住民の協力や参加が積極的ではない		6.9%	0.0%	12.0%	9.6%
7.生涯学習や生涯スポーツなど、日頃の健康づくりや生きがいづくりの活動がない		0.0%	4.8%	10.3%	7.8%
8.ボランティアや非営利組織（NPO）など、住民の自主的な活動がない		3.4%	14.3%	13.7%	12.0%
9.身近なところで子育てに関する相談ができる場がない		3.4%	9.5%	6.0%	6.0%
10.子ども会活動などを主とした健全育成への取組みが充分でない		3.4%	9.5%	11.1%	9.6%
11.身近なところで高齢の方が集まって交流できる機会がない		★10.3%	4.8%	16.2%	13.8%
12.身近な住民によるご高齢者世帯への声掛け、見守りができていない		★13.8%	14.3%	13.7%	13.8%
13.気軽に相談できる専門相談窓口がない		6.9%	★19.0%	★20.5%	★18.0%
14.その他		6.9%	★19.0%	6.0%	7.8%
無回答、ない、分からない、交流していない など		44.8%	28.6%	20.5%	25.7%

②大村中学校区

項目	校区	大村中学校区			
		旭が丘小学校区 n=95人	東大村小学校区 n=6人	三城小学校区 n=94人	合計 n=195人
1.地域の交流（地域で話し合いができる場など）が少ない		16.8%	★33.3%	★23.4%	★20.5%
2.日頃の生活のなかで、身近な住民同士で気軽に助け合える関係がない		★29.5%	★33.3%	★26.6%	★28.2%
3.災害時など、いざというときに身近な住民同士で助け合える関係がない		★27.4%	0.0%	★26.6%	★26.2%
4.町内会での地域活動が行われていない		3.2%	0.0%	9.6%	6.2%
5.婦人会・老人会・子ども会・消防団などの地域活動が行われていない		3.2%	0.0%	3.2%	3.1%
6.地域の祭り・イベント等に地域住民の協力や参加が積極的ではない		11.6%	0.0%	7.4%	9.2%
7.生涯学習や生涯スポーツなど、日頃の健康づくりや生きがいづくりの活動がない		9.5%	0.0%	7.4%	8.2%
8.ボランティアや非営利組織（NPO）など、住民の自主的な活動がない		12.6%	0.0%	13.8%	12.8%
9.身近なところで子育てに関する相談ができる場がない		4.2%	0.0%	3.2%	3.6%
10.子ども会活動などを主とした健全育成への取組みが充分でない		3.2%	0.0%	6.4%	4.6%
11.身近なところで高齢の方が集まって交流できる機会がない		9.5%	★16.7%	11.7%	10.8%
12.身近な住民によるご高齢者世帯への声掛け、見守りができていない		15.8%	0.0%	13.8%	14.4%
13.気軽に相談できる専門相談窓口がない		★21.1%	0.0%	21.3%	★20.5%
14.その他		8.4%	0.0%	10.6%	9.2%
無回答、ない、分からない、交流していない など		21.1%	16.7%	17.0%	19.0%

③西大村中学校区

項目	校区	西大村中学校区			
		西大村小学校区 n=119人	中央小学校区 n=70人		合計 n=189人
1.地域の交流（地域で話し合いができる場など）が少ない		17.6%	★25.7%		★20.6%
2.日頃の生活のなかで、身近な住民同士で気軽に助け合える関係がない		★26.1%	★25.7%		★25.9%
3.災害時など、いざというときに身近な住民同士で助け合える関係がない		★26.9%	★25.7%		★26.5%
4.町内会での地域活動が行われていない		5.0%	11.4%		7.4%
5.婦人会・老人会・子ども会・消防団などの地域活動が行われていない		5.9%	8.6%		6.9%
6.地域の祭り・イベント等に地域住民の協力や参加が積極的ではない		7.6%	12.9%		9.5%
7.生涯学習や生涯スポーツなど、日頃の健康づくりや生きがいづくりの活動がない		8.4%	8.6%		8.5%
8.ボランティアや非営利組織（NPO）など、住民の自主的な活動がない		4.2%	10.0%		6.3%
9.身近なところで子育てに関する相談ができる場がない		5.9%	5.7%		5.8%
10.子ども会活動などを主とした健全育成への取組みが充分でない		7.6%	10.0%		8.5%
11.身近なところで高齢の方が集まって交流できる機会がない		9.2%	10.0%		9.5%
12.身近な住民によるご高齢者世帯への声掛け、見守りができていない		12.6%	7.1%		10.6%
13.気軽に相談できる専門相談窓口がない		★20.2%	21.4%		★20.6%
14.その他		5.0%	4.3%		4.8%
無回答、ない、分からない、交流していない など		26.1%	31.4%		28.0%

④桜が原中学校区

項目	校区	桜が原中学校区			合計 n=183人
		放虎原小学校区 n=74人	富の原小学校区 n=109人		
1.地域の交流（地域で話し合いができる場など）が少ない		★32.4%	★17.4%		★23.5%
2.日頃の生活のなかで、身近な住民同士で気軽に助け合える関係がない		★36.5%	★31.2%		★33.3%
3.災害時など、いざというときに身近な住民同士で助け合える関係がない		★35.1%	★28.4%		★31.1%
4.町内会での地域活動が行われていない		8.1%	7.3%		7.7%
5.婦人会・老人会・子ども会・消防団などの地域活動が行われていない		4.1%	3.7%		3.8%
6.地域の祭り・イベント等に地域住民の協力や参加が積極的ではない		9.5%	9.2%		9.3%
7.生涯学習や生涯スポーツなど、日頃の健康づくりや生きがいづくりの活動がない		10.8%	7.3%		8.7%
8.ボランティアや非営利組織（NPO）など、住民の自主的な活動がない		6.8%	9.2%		8.2%
9.身近なところで子育てに関する相談ができる場がない		4.1%	5.5%		4.9%
10.子ども会活動などを主とした健全育成への取組みが充分でない		4.1%	5.5%		4.9%
11.身近なところでご高齢の方が集まって交流できる機会がない		13.5%	10.1%		11.5%
12.身近な住民によるご高齢者世帯への声掛け、見守りができていない		8.1%	11.0%		9.8%
13.気軽に相談できる専門相談窓口がない		14.9%	16.5%		15.8%
14.その他		4.1%	6.4%		5.5%
無回答、ない、分からない、交流していない など		14.9%	22.9%		19.7%

⑤郡中学校区

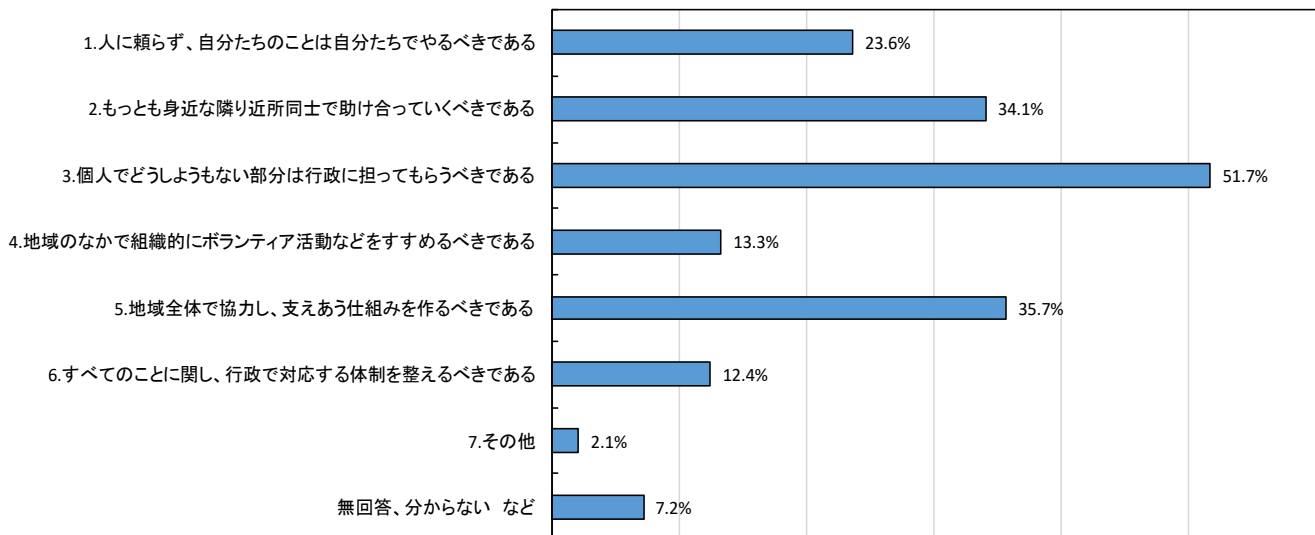
項目	校区	郡中学校区			合計 n=179人
		竹松小学校区 n=125人	福重小学校区 n=40人	松原小学校区 n=14人	
1.地域の交流（地域で話し合いができる場など）が少ない		16.8%	★17.5%	★21.4%	9.1%
2.日頃の生活のなかで、身近な住民同士で気軽に助け合える関係がない		★24.8%	★17.5%	14.3%	★11.8%
3.災害時など、いざというときに身近な住民同士で助け合える関係がない		★27.2%	★20.0%	★35.7%	★13.9%
4.町内会での地域活動が行われていない		4.8%	5.0%	0.0%	2.4%
5.婦人会・老人会・子ども会・消防団などの地域活動が行われていない		4.0%	5.0%	0.0%	2.1%
6.地域の祭り・イベント等に地域住民の協力や参加が積極的ではない		13.6%	15.0%	14.3%	7.4%
7.生涯学習や生涯スポーツなど、日頃の健康づくりや生きがいづくりの活動がない		4.8%	10.0%	7.1%	3.2%
8.ボランティアや非営利組織（NPO）など、住民の自主的な活動がない		8.0%	12.5%	14.3%	5.0%
9.身近なところで子育てに関する相談ができる場がない		5.6%	2.5%	0.0%	2.4%
10.子ども会活動などを主とした健全育成への取組みが充分でない		10.4%	5.0%	7.1%	4.7%
11.身近なところでご高齢の方が集まって交流できる機会がない		6.4%	7.5%	★21.4%	4.1%
12.身近な住民によるご高齢者世帯への声掛け、見守りができていない		9.6%	10.0%	★21.4%	5.6%
13.気軽に相談できる専門相談窓口がない		★18.4%	★27.5%	★21.4%	★10.9%
14.その他		4.8%	5.0%	7.1%	2.7%
無回答、ない、分からない、交流していない など		28.0%	27.5%	28.6%	14.7%

⑥萱瀬中学校区

項目	校区	萱瀬中学校区			合計 n=22人
		萱瀬小学校区 n=20人	黒木小学校区 n=2人		
1.地域の交流（地域で話し合いができる場など）が少ない		15.0%	0.0%		0.9%
2.日頃の生活のなかで、身近な住民同士で気軽に助け合える関係がない		★30.0%	0.0%		★1.8%
3.災害時など、いざというときに身近な住民同士で助け合える関係がない		★20.0%	0.0%		★1.2%
4.町内会での地域活動が行われていない		0.0%	0.0%		0.0%
5.婦人会・老人会・子ども会・消防団などの地域活動が行われていない		0.0%	0.0%		0.0%
6.地域の祭り・イベント等に地域住民の協力や参加が積極的ではない		★20.0%	0.0%		★1.2%
7.生涯学習や生涯スポーツなど、日頃の健康づくりや生きがいづくりの活動がない		10.0%	0.0%		0.6%
8.ボランティアや非営利組織（NPO）など、住民の自主的な活動がない		10.0%	0.0%		0.6%
9.身近なところで子育てに関する相談ができる場がない		15.0%	0.0%		0.9%
10.子ども会活動などを主とした健全育成への取組みが充分でない		0.0%	0.0%		0.0%
11.身近なところでご高齢の方が集まって交流できる機会がない		★20.0%	0.0%		★1.2%
12.身近な住民によるご高齢者世帯への声掛け、見守りができていない		10.0%	0.0%		0.6%
13.気軽に相談できる専門相談窓口がない		★20.0%	0.0%		★1.2%
14.その他		0.0%	0.0%		0.0%
無回答、ない、分からない、交流していない など		25.0%	100.0%		2.1%

◆問 1 8 あなたは地域生活において、どんなことが大切だとお考えですか。
(複数回答)

地域生活において大切だと思う事では、「3. 個人でどうしようもない部分は行政に担ってもらうべきである」(51.7%) が最も多く、以下「5. 地域全体で協力し、支え合う仕組みを作るべきである」(35.7%)、「2. もっとも身近な隣り近所で助け合っていくべきである」(34.1%) となっています。

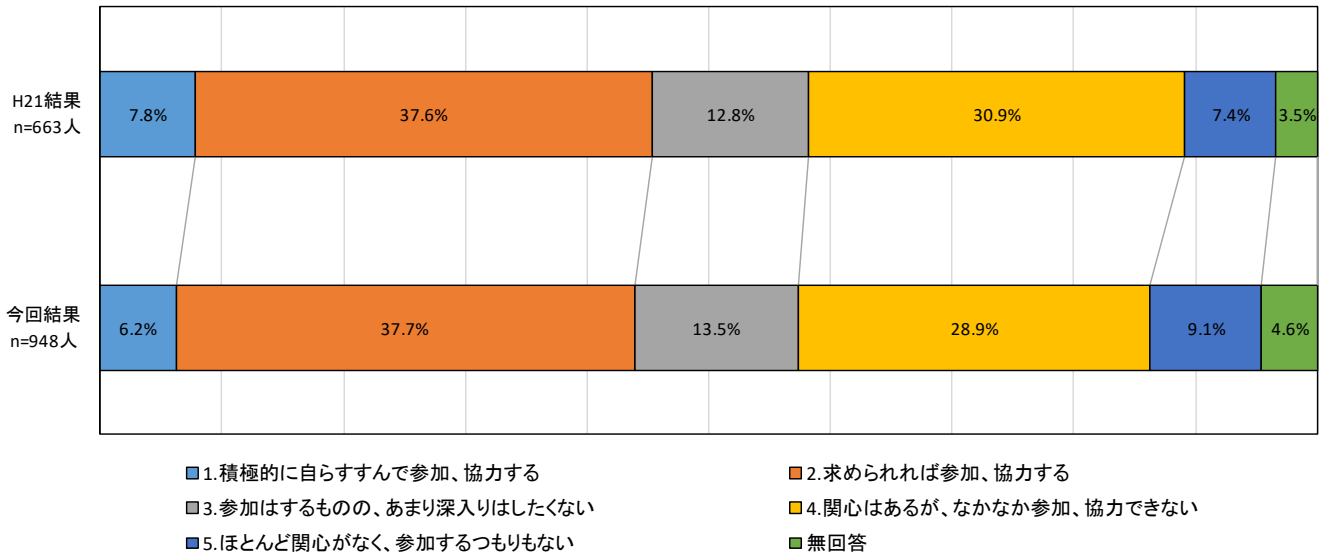


◇その他の内容（主なもの）

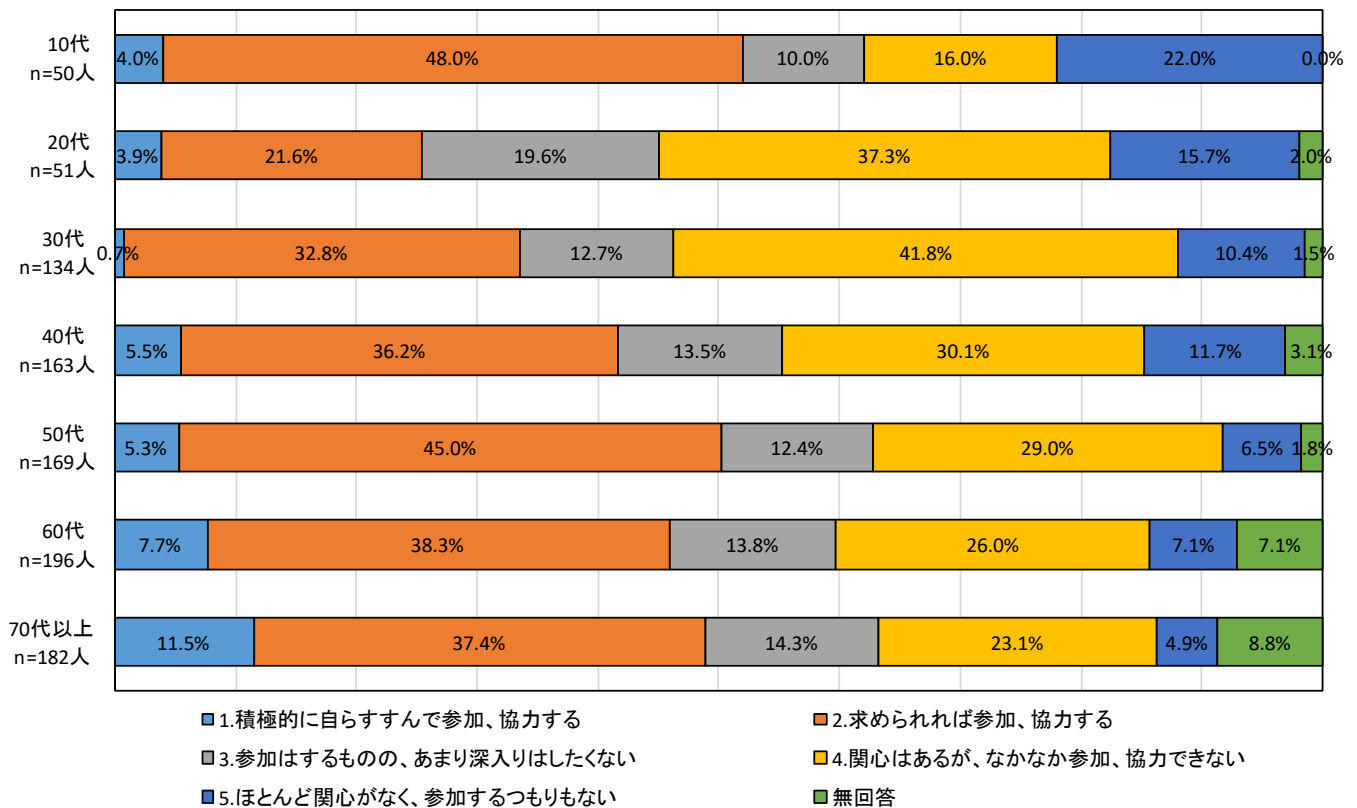
- ・ つかず離れずの関係で少し行政に入ってもらえたらよい
- ・ 地域のボランティア活動でやるが、リーダーやまとめる人は行政の人をお願いしたい
- ・ 家族、兄弟を中心に日頃から支え合う関係構築をする
- ・ 問題解決のサポート機関の設置 など

◆問 19 あなたは今、地域活動に対し、どんな姿勢をお持ちですか。(単回答)

地域活動に対する姿勢を前回調査と比較すると、参加する意識が若干低下していることが分かります。



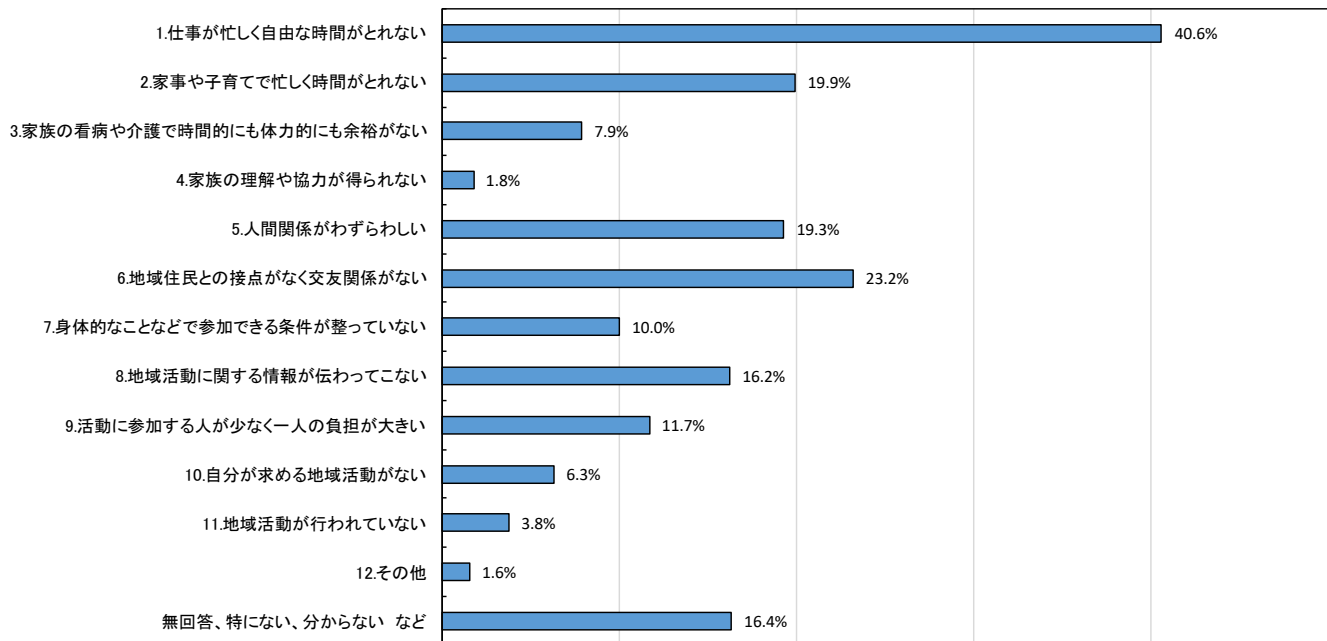
【参考】年齢別構成比



◆問 2 0 あなたが地域活動に参加、協力するうえで支障となっているのはどんなことですか。(単回答)

地域活動に参加、協力するうえで支障となっていることは、「1. 仕事（勉強）が忙しく自由な時間がとれない」（40.6%）が最も多く、以下「6. 地域住民との接点が無く交友関係が無い」（23.2%）、「2. 家事や子育てで忙しく時間がとれない」（19.9%）となっています。

共働きや、高齢化社会による現役世代の延長などを背景に、地域活動に参加する時間がとれない世帯が増えていると考えられます。



◇その他の内容（主なもの）

- ・ 毎日の生活で時間に余裕がない
- ・ 地域活動が変わってきたので発言が難しい
- ・ いつかは参加する
- ・ 参加するための交通手段がない
- ・ 役員を押し付けられる など

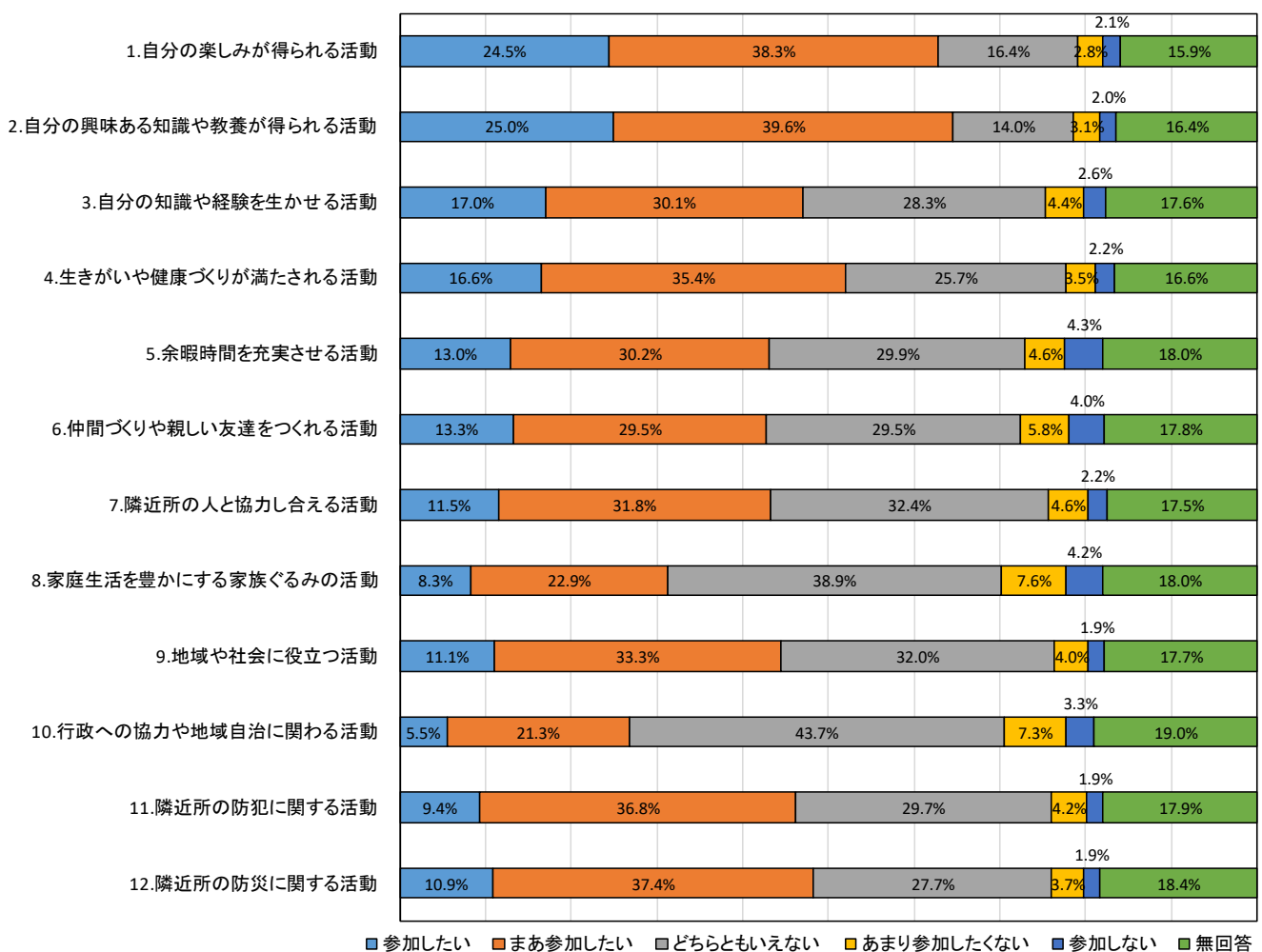
◆問 2 1 あなたは、今後どのような地域活動に参加したいとお考えですか。（単回答）

・無回答の中に、問 19 で「ほとんど関心がなく、参加するつもりもない」と回答した人を含んでいます。

「参加したい」と「まあ参加したい」を合わせた『参加したい』は、「2. 自分の興味ある知識や教養が得られる活動」（64.6%）が最も多く、以下「1. 自分の楽しみが得られる活動」（62.8%）、「4. 生きがいや健康づくりが満たされる活動」（52.0%）となっています。

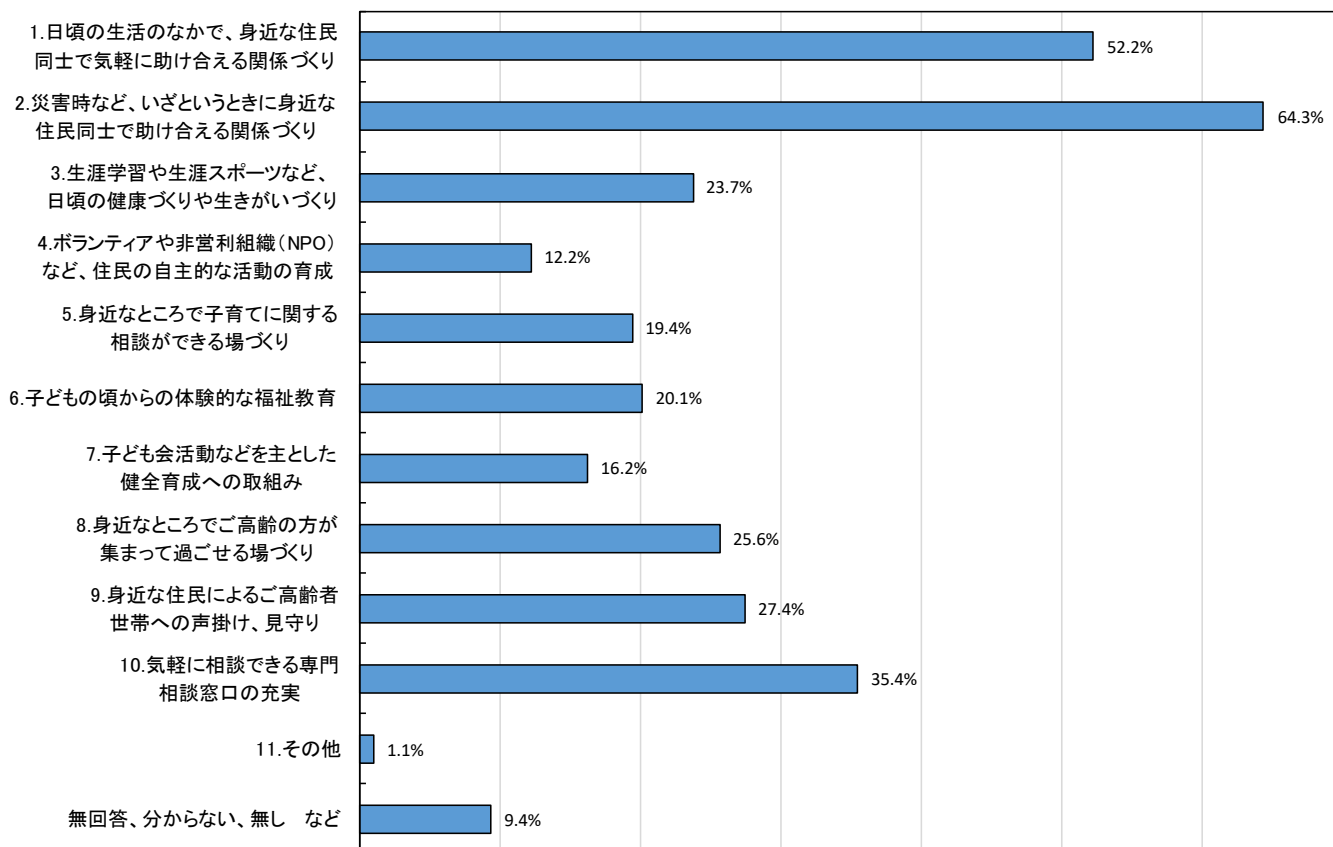
一方で、「あまり参加したくない」と「参加しない」を合わせた『参加しない』は、「8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動」（11.8%）が最も多く、以下「10. 行政への協力や地域自治に関わる活動」（10.5%）、「6. 仲間づくりや親しい友達をつくれる活動」（9.8%）となっています。

今後、住民参加の活動等を進める際は、これらの結果をもとに住民の方が参加しやすい活動等の計画をしていく必要があります。



◆問 2 2 あなたは、これからの地域生活でなにが大切だと思いますか。(複数回答)

これからの地域生活で大切だと思うことでは、「災害時など、いざという時に身近な住民同士で助け合える関係づくり」(64.3%)が最も多く、昨今の自然災害の多発により、助け合いの意識が高まっているものと考えられます。以下「日頃の生活のなかで、身近な住民同士で気軽に助け合える関係づくり」(52.2%)、「気軽に相談できる専門相談窓口の充実」(35.4%)となっています。



◇その他の内容（主なもの）

- ・ SNS 等での市からの発信
- ・ 市行政の介入による地域の枠組みの廃止
- ・ 身体障がい者の専門相談窓口の充実
- ・ 高齢者も大事だがそれよりも子ども等を中心とした関係作り
- ・ 町内会入会を強制するな など

【最後に】地域のあり方について、日頃思っていることなど（自由記載）

◆地域活動・コミュニティ

性別・年齢・校区	内容
女性 20代 鈴田小校区	地域というとは昔は「町内会のイベント」や「子ども会の集まり」等いろいろなイベントを行うイメージがありました。 しかし、自分が大人になった今、仕事をしながら地域のイベント等に参加するのは大変だと思うようになりました。地域の人と関りを持ちイベント等に参加するのはいい経験になるし、近所の方と顔を合わせることでいざ困ったときに助け合えるような関係を築くことにもつながると思います。 今は子どもはいませんが、もし子どもが生まれたら近所の方との関わり合いも重要になってくるのかなと思います。
女性 30代 旭が丘小校区	アパートなどの賃借が増え、戸建て家庭と賃借家庭との壁がとても高い。賃借なので地域の一員じゃないような気がする。 地域の運動会などをやっているが、賃借家庭は参加できない。あることも知らされない。子ども会の廃品回収のチラシは賃借に入れてもらえず、子どもが子ども会に入っても辛い思いをしたので、一年で退会した。賃借家庭は誰も子ども会に入っていなかった。ただでさえ、転勤族などで地域社会との交流がなく、地域ののけ者にされている気がする。 大村市の地域掃除の日に旦那が掃除を手伝っていたら「アパートに住んでいるのに掃除に出てきてえらいね、ごめんね」と周りから声を掛けられていた。地域の人もアパート住民は「地域じゃない」という意識が根強い。転勤族の賃借住まいを経験した人じゃないとこの見えない壁は理解できないと思う。
女性 70代以上 旭が丘小校区	地域の人たちと気楽に話し合えるような場所があればいい。
女性 50代 福重小校区	大村市は他の市に比べて住みやすい所だと思っています。年配の方もいきいきとして元気な方をよく見かけます。デイサービスなどの車もよく見かけます。 自分の好きなことができる空間のある施設などあればいい。将棋とか囲碁とか、刺繍とか編み物とか。そういうのがあれば、年の幅も広くして、いつでも子どもとのふれあい、おばあちゃんから教えてもらう編み物とか、お互いに刺激を感じてもっと元気で活気のある大村になれそうな気がします。
女性 40代 中央小校区	歳をとるごとに、家から出ることが億劫になり、人との付き合いが面倒になってきているので、近所の付き合い、当番などが億劫になってきている。
女性 60代 旭が丘小校区	地域で協力し合うという意識は大変薄れている。そこに助け合いを求めるより個人で動いたほうが早い。
男性 30代 大村小校区	新しい土地に引っ越してきて、市役所からは「町内会は強制ではありません」と言われたものの、町内会長さんが自宅に何回か来られ、「町内会には入ってもらわんとさね」と、断れず入りましたが、町内会に入ると、ゴミの当番、募金、町内会費の徴収など特にプラスになるものはありません。

	燃えるごみは町内会に入らなくても収集してもらえし、不燃物は自分でゴミ処理場に持っていっていました。近所付き合いもあるので、とりあえず加入しましたが、何のメリットがあるのかと思います。 子どももあり、近所付き合いが悪くなるので入っていますが…（新築したのでもう簡単に引っ越すこともできないので…）このようなアンケートに回答したからといって、昔からの「町内会」の在り方が変わるとは思えませんが、一応意見として書きました。
女性 50代 放虎原小校区	私が住むこの地域では、病院、学校、スーパーと不自由なく生活出来る環境で助かっています。ありがたい事です。ただ、今の時代なのか、近所の方との接点がなく話す話題もありません。 子どもが大きくなると、学校などの話題も無いし、集まることもありません。家には高齢者がいるので、出かけるのもなかなか出来ずの生活してます。行政に何かしてほしい事は無いのですが、全体的に希薄な感じがします。
女性 60代 萱瀬小校区	町内会に入っていない人が沢山いる町内もあるが、町内会に入ることのメリットを伝えてもっと促して欲しい。 地域の在り方ではないが、県営バスがほぼ空で走っている。もと小さくして朝夕以外は乗り合い（10人位のバン位）の車にした方が効率いいと思う。また、便数を増やして欲しい。
男性 60代 大村小校区	4か月前から隣近所の方と月一回集まっています。お茶飲み会です。（60歳～80歳）病気の話、病院の話、年金の話、料理の話、買い物の店の話、情報交換です。為になります。近所ですと車を使うこともなく、気軽に日にちを決められます。とても良い関係です。 新市役所について、市役所は大村の中心であるべきだと思います。松並・古賀島辺りは、消防署、警察署などあります。サッカー場を黒丸、沖田に移し、その跡地に市役所を移転してほしい。周りでこのような意見が出ています。検討してください。
女性 60代 富の原小校区	近頃、新築などで地域への流入が多い。昔ながらの地域へ若い世代が入り込み今までの地域の人たちの関係が、持続出来ない状況である。 人口増加、活性になることは大いに良いが、近所にいてもあいさつを必要ないのかしなかったり、周囲に合わせようとしめない点が大いにある。良い地域関係を作るには、そういった若い方々の意識への働きかけが必要だと思う。
女性 70代以上 旭が丘小校区	以前に比較し、人と人のお付き合いが希薄になってきているような感じがする。（町内や班内の人間関係）
男性 40代 大村小校区	町内会長、民生委員のやる気が感じられない。顔も知らない。相談はもちろん、協力もしてくれない。町内会長は地域で解決しようとする前にすぐに行政を頼る。行政にクレームをつける。リーダーの人材育成の場を行政には求めます。
性別無回答 40代 三城小校区	近所の方とは連携をとりながら、子ども達やお年寄りの見守りが出来ればと思う。その中でコミュニケーションを図り、意識が共有していければ、地域のレベルも向上していくと思います。 現実には、子ども会は低学年生の時は活動に参加して頂いていますが、中・高学年になればスポーツクラブや習い事、または役員をしたくない等の理由で辞めていく方が多いです。よって子ども会は、今後活性化は見込めないし、親子同士で遊んだり、BBQしたりといったコミュニケーションがなくなる。この辺も公園や

	公共の広場もないため、新幹線の機構様や市役所にも提案やお願いもしていますが、無反応です。 高齢者の方々はグラウンドゴルフや旅行等で連携はとれていると思う。しかし、我々世代（40代）の付き合いがあまり出来ていない。私にも責任はあると思いますが、新しく居住された方なども多く、親しくなるのも時間も要するし、相手も活動がないため同じように思っていると思います。昔みたく町内対抗の運動会や催し等があれば、声掛けも出来るのでしょうか…。 私自身も出来る事は精一杯努めさせて頂いております。官民一体と考えておりますので、今後もその気持ちは変わりません。市役所の皆様も頑張ってください。
女性 70代以上 西大村小校区	私は隣の一人暮らしの老人の方がもしもの時のため、家の鍵を預けて下さっています。連絡先も聞いています。だから、朝はカーテンが開いているか等、必ず確認します。おかずも時々おすそ分けしています。買い物もしますよと言いますが、ヘルパーさんに頼んでいるからと遠慮されます。出来る人が隣の人に気を配っていたら（一人暮らしの人は特に）少しは役に立つのではと思います。
男性 40代 三城小校区	現代は、地域での面倒見が良い人（特に高齢者）が少ないと思います。私が幼い頃は、各地域の高齢者が、その地域の子どもや高齢者、家庭環境のほとんどを把握して下さって、気軽に相談したり、子守りすることが当たり前でした。核家族化が進み、現代の子育て世代は、育児、仕事、家事…と頼る人がおらず本当に大変です。今と昔では、時代が違うかも知れませんが、出来れば退職されたシニアの方々に人生の先輩として舵を取ってもらい、子育て世代をもっと手伝って欲しいです。 また、シニアの方々とふれあいを持った子どもの方が、そうでない子どもに比べて心が穏やかで優しいです。幼少期にお世話になった事を子どもは忘れません。そのような環境で育った子どもは、困っている人を見かけたら自ら進んで助ける大人になると思います。元気なシニアを沢山見かけますので、そういう方々にぜひ助けて欲しいです。お節介でも大歓迎です。
男性 50代 松原小校区	私は大村市北部に住んでいますが、高齢化が進み、地区の世帯数は多いのですが若者が少なく地区の活動でも動ける人間が頑張れ、みたいな活動になってますので、行政の手助けが必要と考えます。（他地区からの活動応援とか…） 色々な役で体が休めません。町内会を抜きたい気持ちでいっぱいです。以上、よろしくをお願いします。北部地域の活性化を望みます。
女性 40代 中央小校区	子ども会、町内会など参加しない、できない人がいる中で、地域の活動に任意ではあるが参加すると、人手が少なく、一人の人にかかる負担が大きい。 また、そういった活動に関心や興味がある人は複数の活動に参加している場合が多く、その意味でも特定の人への負担が大きい。そういう状況になった方を見ると、なかなか積極的に参加できなくなります。特定の人だけに負担がかからない仕組み、参加してよかったと思える活動が増えるといいなと思います。
男性 60代 三城小校区	私が居住している地域（町内会）は近年の世帯数増加、また近年の傾向により住民同士の関係が希薄化しており顔も知らない、話をしたこともないなど交流を図れる様な状況には無いと思う。今後住民の高齢化（一人暮らしの方の増加）、想定外の災害時の対応など考えても最低限度の交流は必要ではないかと思う。その最小単位は町内会と考えるが行政として町内会と協力し、老人福祉・防災・防犯に関して住民同士が交流を持てるような意見交換会などを積極的に実施しても良いかと思う。

男性 70 代以上 三城小校区	1. 町内会の役員改選時、なかなか手が出ない。 2. 行事など役員（担当者）が声掛けても集まりがわるい。
男性 60 代 校区不明	積極的に活動している地域とそうでない地域の差がある様に思います。 自治体の長として、的確な人物を選定することが大事ではないかと思います。
女性 50 代 大村小校区	町内会は、小中学校の時の PTA の役員と同じように、役員を引き受けてくれる人はいつも同じ人で負担を負い、しない人は逃げて何もしないままという構図になりがちで、たまたま運が良く私の周りは話が分かる良い人ばかりで、うまく回ってきましたが、時々自分は何もしたくないと我を通す人が出てくるようになり、その人たちに全体がイヤな雰囲気引っ張られてしまうことが起き始めました。 子ども達が家を出て年寄りばかりになり役員のなり手もこのままではいなくなってしまうと思います。仲良い町内会ただけに至極残念ではありますが、民生委員さんの数を増やし、ほぼボランティアのような型ではなく、行政で仕事として雇用関係にし、まとめ役を担うようにする方がいいのではないかなと思うようになりました。 北海道など隣近所が数キロ離れているような所では、行政広報は FAX を利用するようになっていたりするので、全世帯に広報誌を配布せず(そうすると町内会の仕事も減り負担減)ラジオ・ケーブルテレビ・この先はタブレットに移行するのもいいかと。町内会組織のあり方は 10 年先を見すえて、大胆な改革が必要と思っています。もちろん弱者をおいてけぼりにせず、ずるがしこいひきょうな人はあぶり出して税金のムダ使いにならないようオンブズマンの方々も必要でしょう。
女性 30 代 黒木小校区	黒木地区は地区の集まりが多い方だが、子育てで忙しかったり、主人が土日も仕事の日あり、なかなか参加できず申し訳ないし、そういう事で気まずいことが増え、居づらいことも多々ある。
女性 20 代 放虎原小校区	助け合える関係を築ける場所・時間・きっかけがなかなか見つけられないと感じます。
女性 70 代以上 放虎原小校区	古賀島西は、いろいろと行事がおこなわれているそうですが、こちらの古賀島東は正月前のもちつきくらいです。
男性 60 代 三城小校区	町内会に若い子育ての人の参加が少なくなったと思う。町内会の世話人がなかなか育たない。
女性 30 代 三城小校区	昔、自分が子どもだった頃は、隣のお家や近所のお家によく遊びに行っていた（おそらく親にとっては子守りをしてもらってたのかもしれませんが）記憶があります。今、自分が親になり、上の子の授業参観に行く時に下の子を連れていくかどうか毎回困ります。 また、運転免許センターへ免許の更新にも行きたいけれど、乳児をどうしようかと思ひなかなか行けず焦っています。主人は忙しい人なので…頼みにくく。そんな時、昔みたいなご近所さんとの付き合いがあればと、よく思います。“子ども達預かるよ〜”と年配の方に言って頂けたら…といつも感じます。こんな時代だから仕方ないのかもしれませんが。高齢者は高齢者で、子育て世代は子育て世代で、それぞれが孤独を感じる社会のような気がします。 お年寄りも子どもも大人もみんな好きな時に寄ったり遊んだり、そんな施設があったらいいなと夢見てます。

男性 40代 三浦小校区	干渉を嫌う方もおられるのでその辺の加減に注意した接し方が大切だと思っています。地域の催しにあまり出て来ない方にも連絡等は必ず行い、都合がつくようになって一戸でも多く地域活動に参加してもらえるようになれば良いと考えています。
男性 40代 三浦小校区	地域活動を強要しないで欲しい（できる事できない事があるから）仕事が忙しいのをわかって欲しい。参加するのがあたりまえ的な考えをやめて欲しい。地域の人を優先して保育園に入れて欲しい。地域外（反対方向）の保育園に預けるのは大変。
女性 30代 竹松小校区	時代が変わっていくにつれて、人と人との間にあるカベや溝が分厚くなってきたように感じます。これは、それだけ弱者が過敏になってきていることもあると思います。たとえば、子どものあいさつにしても、親が「変質者に目をつけられないために」という理由で子どもに禁じている…という家庭をよく見ます。おそらく、昔のように地域の大人が一丸となり、子どもを見守り、子育てを手助けするという体制で子ども達と接していけば、今すぐではなくとも、次の世代から少しずつ「となりの人は知らない人」という認識はうすれていくのでは…と、考えています。
男性 50代 西大村小校区	地域というくくりを無くす。個人と市行政で取組む事。昔ながらの良い意味のつきあいは、今はただのしがらみ。自発的参加を望むなら、地域というグループ分けを無くす事。
女性 60代 西大村小校区	現在、大村市は高齢者が多く、病院へ行っている人が多く、老々介護が多いので、地域のあり方も変化していると思います。回覧板とか回して班長（地区）もしなくてはならず、年をとるにつれて煩わしく思うようになりました。
女性 60代 福重小校区	みんな生活して行く上でゆとりが無く忙しくてご近所とのかかわりがなく、どんな人達が住んでいるのか顔も分かりません。お会いしても若い方達は挨拶もしません。老後が不安なために仕事をいくつになってもしてる様な人達ばかりです。退職後はもっとゆとりの生活が待ってたはずなのに…。
女性 60代 大村小校区	地域の方とは親しくしていきたいと思っていますが、年齢も違う方が多く、性格や人柄、生活の様子、考え方など全くわからないので、どのように接すればよいか分かりません、人間関係を築いていくのが難しい時代なので、トラブルの方が心配です。
男性 60代 旭が丘小校区	環境整備作業等の市の行事や町内会の行事等参加の意思があまりに少なく、町内会を離脱する方も増えつつあり、このような状況では活動自体が無いにも思えて仕方ありません。参加するのは本人の意思でしょうから、強制的なことは申し上げられませんが、せめて御自分の住居を構えられたならば、行事等は必ず付随するものであり、それを理解した上で住まれるのであれば当然の事であると思います。 もう少し協調性というものがあっても良いのではと思っております。どこの地域でもいろいろな問題はあろうかと思いますが、特に最近は利己主義的な考えの方が増えているような気もいたします。もう少し、理解ある考えや柔軟性のある気持ちがあればと思うのは私だけでしょうか。
女性 60代 三城小校区	それぞれの町内でイベントや話し合いをして、まずは身近な方達と仲良くなる事が大事だと思います。

女性 60 代 旭が丘小校区	皆さんで草ぼうぼうになっている畑を耕して野菜作りをしたり、いろんな事をやってみたい。まず、町内会に入会してない方が多く名前さえ知らずあいさつも出来ない。ゴミステーションには夜に捨てに来ている。楽しく暮らしたいですね。
男性 30 代 旭が丘小校区	助け合いの在り方について、幼い頃からの教育が必要かと思われます。
女性 60 代 旭が丘小校区	毎年恒例となっている町内の体育祭。町内会費の多くはその体育祭の景品に使われているのを見た時、そういう事に使う位なら、少しでも会費を安くしてもらいたいと思うのです。時代は変化しています。木場町民の大半が、毎年やってくる町内の体育祭を流れ作業の様に惰性で参加しているはずです。少なくとも私の班は参加者 0 人。毎年班長だけが責任感だけで参加するという実情。そろそろ見直す時に来ているのではと思っている人は多いと思います。
女性 30 代 放虎原小校区	核家族が増え、近所とのつながりが少なくなっているが、共働き世帯も増え、時間に余裕がないので、町内会活動は強制にするべきではないと思う。
女性 40 代 放虎原小校区	子どもがおらず、町内会にも入っていないため、ほとんど近所との交流はありません（移住 5 年目）そのため、地域の活動内容なども知らないことが多いです。自営業で仕事が忙しいので、交流やイベント参加は難しいので、丁度良い距離感だと思っています。
女性 10 代 大村小校区	となり近所の人とはほどほどの距離で接することができ、家庭環境にあまり干渉してほしくない。
女性 60 代 三城小校区	町内会、子ども会は、若い所帯の加入が少ない。2 世帯住宅の住人でも町内会費は払うが、ゴミ当番、班長などの役割分担には非協力的で、老夫婦以外は隣人との付き合いはしない。高齢者の 1 人暮らしは、町内会には加入しているが、実質活動できないのは致しかたないとしても、退職してすぐのまだ老人というには早すぎる年代の人達が、町内会や民生委員などの役を引き受けないというのはおかしいと思う。 子ども会も昔は老人会などと協力して昔からの行事を継承し、町ぐるみで子育てなどに力を入れていたのに、役員をしたくない、とか、子どもの個人的な稽古事などで時間がない（近所の子どもとは遊んだことがなく知らないなど）様々な理由で、入会する家庭が少ない。
女性 70 代以上 大村小校区	後から入って来た者なので、前からの住民の方の輪になかなか入れません。協力はしているつもりです。
女性 60 代 旭が丘小校区	生きがいを感じられる生活を希望しています。仕事をしていないので「ありがとう」などの言葉かけられることも少ない。一人暮らしのため、孫を持った経験もない。家族という関係は親族しかいないものにとってはなかなか地域に入っていくことが難しい。仕事を務め上げた 60 代 1 人暮らしは大変だと感じている。市から仕事などの協力があれば一生懸命やりたいと思っています。リーダーがほしいですね。
女性 30 代 三城小校区	町内会の活動に積極的に参加していますが、3 分の 1 くらいしか参加がありません。小さい子どもを残して参加したりした事もありますが、みんなこないなら、行かなくてもよいの？と思ってしまいます。みんななぜ参加しないのか疑問です。
男性 50 代 竹松小校区	大村市は現在も人口が増加しており、他市町からの転入者もあり、地域の中に新しい世帯が増えています。その影響もあり、地域(町内)内の人と人とのコミュニ

	ティが以前よりも希薄化しています。地域(町内)での各世帯、人のつながりは大事であると思う。しっかりしたコミュニティを継続して構築・充実させていくには、中心となるような人とその仲間・グループが必要であると思います。地域の中で活躍できる人・グループの存在が欠かせないため、その育成が大事なのではないかと考えます。
女性 70 代以上 旭が丘小校区	子育て世帯と高齢者とのコミュニケーション作り、時間的に難しいとは思いますが、たとえば資源物、不燃物のごみ当番の時など、だいたい高齢者が出席して、子育て世代の方はほとんど出席されないのが通常です。皆様、理解されているので、その事で苦情が出ることはありませんが、少し考えていく事も大事ではないかと思っています。
女性 60 代 萱瀬小校区	家はどんどん増えているけど、町内会の脱退者があって町内の運営が厳しく感じる。
女性 40 代 中央小校区	挨拶する事が大事だと思います。中には周囲の人と関わりたくない人もいるかとは思いますが、不愛想にされると嫌な気持ちになりますし住みづらくもなります。困った時は助け合えるような、住み心地のいい地域になればいいなと思います。
女性 10 代 竹松小校区	近年、日本は少子高齢化が進んでいるということをよく聞きます。実際に私のまわりには高齢者の方が多くいらっしゃいます。もっと高齢者の方が安心して暮らせる地域、そんな高齢者を見守っていく地域を多く作っていく必要があるのではないかと考えます。 また、少子高齢化が進み、老々介護をしている方も大村市には多くいらっしゃる、私の母も言っていました。病気をもった夫を介護する奥さんの方も病気を持っていて、見ているのが辛かったと母は言っていました。それを聞いたとき、私も悲しくなりました。 老々介護をさせないために私たちに何ができるかを自分でも考えてみたいなと思いました。 また、学校から帰っている時によくパトカーや救急車、消防車を見かけることが増えました。火事などが多く起こっていると、とても不安です。そういう災害などが起こった時の対処の仕方など、地域の人との協力も必要になっていくと思うので、そこをどのようにすれば良くなるのかが問題点であると思いました。私の考えが参考になれば幸いです。私はまだ高校生で、あまり地域の方とはふれあうことができないけど、今回、このアンケートを機に自分の地域のことについて学びたいと思いました。貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。
女性 30 代 福重小校区	引っ越しして約2年ですが、町内会に入っていないです。理由は、実家の町内会の班長さんの負担が大きく、母が大変苦労しているのを見てきたからです。入らないといけないという気持ちはありますが、正直不安です。 実際、近所の方が「町内会辞めたいけど、辞められなさそうで…」という声も聞いて、ますます町内会ってなんだろう？という不安しかありません。
女性 50 代 福重小校区	組織のトップの入れ替わりがない。時代の流れを把握できず、昔ながらのやり方である。誰もついて来ないし、発展もない。
女性 50 代 校区不明	それぞれの地域により、近所つきあい等は違います。以前は田舎の方に住んでいたの、近所の色々な物事が多すぎて、面倒くさいと思っていました。現在、大村市に住んで2年ほどになりますが(アパート)、そういうつきあいのわずらわし

	さもなく、静かにすごしています。自分でできる範囲のことは自分でしたいと思っています。 今頃の若い方も近所付き合い等には関心がないのでしょうか？私自身は何かあったら行政の方に頼りたいと思っています。
男性 70代 中央小校区	市全体でいえることだと思います。町内会老人会の役員になり手がなくこまっている。市として町内会の在り方についてどう考えているのか、市の方の意見を聞いてみたい。市議会でもそんな質問をされる議員を聞いたことがない。多分、市内の町内会の現状をしらないのでしょう。 私は今ふれあい館を利用しています。卓球・歌声・パソコン等です。こういうスペースがもっと増えることを望みます。
女性 10代 鈴田小校区	もっと子どもが参加しやすいボランティア活動の募集を多く行ってほしいです。
男性 50代 三浦小校区	・地域の行事は、体育行事が主になっており、それがわずらわしいと感じ参加したくない、関わりたくないと言う方が多くなってきている。 ・田舎の方では、上記活動がさかんだが、役員の負担が大きすぎる。 近所の関り、助け合い、声掛けは大事だと思うが、上記のように方向性が間違っているように感じる。
女性 70代以上 西大村小校区	近所から気持ちに通じる人を選ぶ事はとてもむずかしい事です。でも、近所に住んでいればこそ助け合わなければという気持ちは、充分持っています。よりよい関係を作っていきたいと思います。でもまわりを見てると、積極的に町内会に関わろうという人は少ない様です。
男性 60代 西大村小校区	地域とは、何を指して言うのか？まず、考えられることは自分が住んでいる町のことだろう。町内会にも加入せずして地域と言えるだろうか？町内会に加入していても行事等には参加せず、苦情ばかり言うそれも地域だろうか？「安心・安全の町」「自助・共助の精神」のキャッチコピーに惑わされているこれも地域だろうか？この町に住んでいる一人一人が、地域の一人であることを自覚し道で出会ったなら挨拶を交わす、地域での行事等に参加する。その小さな事から地域は成り立っていると思われる。ただ、あまりにも個人情報の保護・プライバシーの問題等秘密が大き過ぎ、有事の際の要救助者の救助等が困難な状況である。地域で要救者を守りたくても、守れない。これが現実である。
女性 30代 富の原小校区	地域には高齢者の姿も多く、何か出来ることをしたいという思いもあるが、自分の生計をたてるために精一杯であり、中々参加できていません。昔から同じ場所に住んでいるため、町内の昔からいる方とは接点もあり会えば話をしたりしますが、新しく入られた方とは挨拶程度の関係性しか築けていない状態です。 手助けできることはしたいが、トラブルになることもあるのではと不安に思うことがあります。孤独死のニュースも聞くため、独居で生活されている方に対して行政として手を差し伸べることも大切なのではないのでしょうか。 住みやすい土地で子育てもしやすいですが、子どもがボールを使って思いっきり遊べる場所が減っており残念に思います。
男性 60代 旭が丘小校区	地域と特定する事は出来ませんが国内について、あくまで私見です。諸悪の根源は「核家族化」あると思っています。 1. 子どもは小さい時から保育園に預けて共働き→お金がかかる税金がかかる。 2. 若者集団の住宅地は数十年後はゴーストタウン。

	3. 老人は1ヶ所に集められ、ボケが進み長生きする→金がかかる。 4. 働き盛りの若者が老人を騙す、犯罪を犯す。 5. 少子高齢化の増幅。子育て世代、老人世帯に対する手当は必要でしょう。子どもが小さい時から、年配者、老人と接して育つと、情緒は安定し、変な事件は減るのでは？その様な社会環境を大村から育ててみては。
女性 70代 松原小校区	高齢者が多くて、一番活動できる中間層が少ない気がします。若年層の家庭はなかなか町内会への加入も少なく、これから地域と言う成り立ちがどうなっていくのかと少し心配です。あまりにも「個」が重視されてるのでしょうか。元気な高齢者をいかに引き込んで活躍させるのかと言うのも大切な気がします。
女性 70代以上 中央小校区	他人には近づかない、それが今の風潮かな？昔は周りや近所で助け合うのが普通だったが、今は見ないふりかな。今の世の中きびしくてさみしいですね。市営住宅の管理者は、その場つくろいで約束事は守らず知らん顔を決めている事が腹立たしいですね。それが今の世の中かなと諦めていますけどね。
女性 40代 三城小校区	我が家の町内、子ども会は割と活動がある方だと思う。 でも、子どもが大きくなり子ども会や学校行事もなくなり、仕事をしていると全く町内に関わる事がなくなった。他の町内の友人が、公民館の掃除や花見の当番等、とても気をつかう上に年配の人から嫌な事を言われる等を聞くので、正直関わりがあるのもわずらわしいなとも思う。でも、災害などのいざという時の事は必要かな。
女性 40代 大村小校区	市民大清掃、第3日曜の家庭の日などは、部活動、大会などをなくして、全員参加できる体制を取らないと、それぞれ制定しても意味がない。地域参加、家庭の日それぞれ大切だと思います。県全体で考え取り組まないと進まないと思います。
男性 50代 西大村小校区	転出入、核家族、仕事、世代交代により人と接する機会が減少した。
女性 60代 放虎原小校区	例えば、今新型コロナウイルスで学校が休みになってますが、小さい子どもさんをかかえて働きに行けないシングルマザーの方が困っている事とか、マスコミで言われていますが、そういう方に手助けが出来ればと思っても、そういう方が自分の回りにいるのか知らない。 気持ちはあっても、どこまで責任を負えるのかなど、考えるとやっぱり何も出来ない自分がある。高齢の方にも何かと思ってもどこまで踏み込んでいいのかわからない。 例えば、子ども食堂とか、すばらしい事で、何かお手伝いでも出来ればと思っても、足（車）がないと、そこで前に進めなくなってしまう。それは自分の熱意が足りないせいとも思うのですが、もう少しフットワークが軽く動けるような、交通機関があればと思います。
女性 60代 富の原小校区	町内会の加入が強制でない為、加入がスムーズでない。したがって町内会、班の交流がない。
女性 70代以上 中央小校区	私の住んでいるアパートは老人も多く、言葉が（日本語）わからない入居者がいます。町内の役員など決めるのに大変です。男性の方の月に一度の草取りなども協力があまりありません。80歳になっても女性が出ています。管理人なども元気のある方、電球の取り換えなどもスムーズに出来る方を希望します。
男性 70代以上 福重小校区	5,6年前、諫早市住民の方から「大村市に転入届を出す時に窓口で町内会に加入しなくても良いそうですね」と話されました。現に町内会に加入しない人が増え

	ています。自動販売機の空き缶入れに袋から空き缶を入れる人が目撃されています。異常災害等発生時の対応が心配です。
女性 70 代以上 福重小校区	地区・班内も高齢者家族が多くなりました。(班長の件) 班長等も母(80 歳代) 息子(60 歳代) の場合も息子さんが独身の場合、班長等しようとしません。高齢者夫婦家族の出来る人がやっている状態。 また、ほかの所より家を建てて来ている若い人は地区の行事にはあまり出席しようとしません。私達も後期高齢者、でかけるのが億劫になります。まだ動ける間は少しでもと思い頑張っていますが、小さな事でも出来る事は協力してほしいと思っています。
女性 50 代 西大村小校区	「地域」と聞けば、光景や人も思い浮かぶと思いますが、様々な理由でその光景、景色、人が今ないということも有り得ると思います。人は仕方ないところですが、光景、景色で良い物は残せると良いと思います。 人も、誰々さんがごみの収集日に分別の指示をよくして下さって、さばけたということも多々ありました。が、今、その方々がいらっしゃらなくなり、それを継いでしていくという感じもあまりなく、戸惑っている人も見かけます。うまくいっていることはしっかり後継者作りかその組織作りをしていくと良いと思います。中々、普段地域の方々と積極的に関わりあうということはないですが、空き缶回収、市民大清掃等に参加し、話をしようと思います。
女性 60 代 東大村小校区	東大村は、家が離れているので、親しく話をする機会はほとんどなく、車に乗っているので、止まって話をすることがないので、このアンケートにもあまり役にたてないと思います。少ないながらも子ども会がよく活動はしています。地域の草払い、盆踊りもここはたくさんの方が出てやっています。人家が少ない方なので、これでいいんじゃないかと思います。支え合うまでは無理かと。
男性 70 代以上 西大村小校区	もっと地域の方とふれあいたいが、身体的な問題で行うことが出来ないが、常にふれあいたいと思っている。声をかけられれば出ていきたいと思っている。
女性 50 代 放虎原小校区	自分自身の仕事や生活(子育て)が忙しく、正直言って地域の活動まで考える余裕がない。学校の PTA 活動や学童などの行事に子どもが成長すると部活動の世話や試合の応援などもあり、地域のことも入ってくると手が回らず肝心の自分の家のことをしたり、子どもとの時間がとれずに困ってしまう。5 年前に大村に引っ越してきたときに、近所の方が回覧板なども家にいても郵便ポストに入れるし、用事があってもピンポンはならさずメモを郵便ポストに入れておくように言われた。こちらとしては気軽に声をかけあうような関係を期待していたが、そうでないようで拒否された感じがしてさみしく感じました。ゴミの分別のことなど聞きたいこともありましたが、未だにあいさつ以外は話をしたことがありません。 地域で助け合うことが理想ですが、いろいろな考え方の人がいるし、みんな自分の生活に精一杯で余裕がないので、現実には難しいと思います。
男性 50 代 富の原小校区	公園や沿道の清掃活動において、半強制参加しなければいけない意識を持って参加してもらいたい。参加しないものは罰金 5 百円なりの処置を講じてもよいのではないのでしょうか。
男性 70 代以上 西大村小校区	住民が付き合う時に、その人の職歴や金持、財産等を加味しての対応が多く、本当の人と人と、心と心の付き合いがあれば、住民活動がうまくいくのでは。
女性 50 代 放虎原小校区	隣近所は子どもさんが別世帯となり高齢の方が多い。先々の町内、班の活動がどうなっていくのか心配。若い世帯がずっと負担するとなると町内会から離れてい

	く方も増え、益々隣近所のつながりが薄くなっていくと思う。自分さえ良ければではなく地域のつながりというのは今後も大切になってくると思うが、個人が何かするには限界があると思う。
女性 70 代以上 鈴田小校区	町内会住民の高齢化により、班長、ゴミステーションの清掃など、負担がのしかかる。ゴミステーションまでの距離がある人は大変である。
男性 70 代以上 旭が丘小校区	いろんな行事等に参加したいが声が出ないので参加しにくい！30 分に 1 回トイレに行く様な状態でどこへも行けない。また、いろんな会にも参加しにくい。2 時間に 1 回呼吸器の吸引しなければ呼吸困難状態になるので外出出来ない。毎週病院通いで大変な毎日を送っている。その都度、呼吸器をかかえてないと過ごせない状態です。手話教室がほしい！
女性 30 代 旭が丘小校区	すれ違う人と挨拶する関係性はすごく良いと思う。自分から進んで挨拶をすることが大切だと思う。
男性 40 代 三城小校区	地域活動を義務のように行うのは負担になるし、役員決めや人間関係などでストレスを感じてしまうので辞めた方がいいと思う。 一部の人だけはりきって目的も分からず他の大勢が仕方なくやっている活動が非常に多いように感じる。自分達家族の首をしめてまで地域活動に参加する意義が感じられない。このように思っている方は多いと思います いろいろ無理して地域活動をしようとすると、逆に「そこに住みたくない！」と嫌われます。それよりも近くにゆっくりできる公園があれば自然にそこに人が集まり、コミュニティが形成されるのではないのでしょうか。子ども同士のコミュニケーションの不足も不安がありますので、ぜひ公園をつくって下さい。地域の活動はそこから自然に始まると思います。
男性 50 代 旭が丘小校区	定年退職後の体力的にも十分な年齢、時間的に比較的余裕が得られる人たちの経験、能力、資格を地域のために活用できる場、機会を作ればよいと思っています。
女性 60 代 富の原小校区	私の町内には福祉について関心を寄せる方々が少ないように思います。特に若い人は町内会に入会する家庭があまりないようで、寂しく思います。事があってからは皆様の考え方がバラバラで前進することが出来ません。日頃からのコミュニケーションが必要だと思っています。
女性 60 代 富の原小校区	地域の人々も高齢になり、若い人は忙しいので、活動参加できなくなり、町内の班長や（公園）清掃なども負担が大きくなっている。 喜んで助け合える関係が必要だと思っています。
男性 60 代 松原小校区	積極的に町内会活動に参加する人が少なくなっている。高齢者が多く、若者が少ないので町内会役員自体が高齢者主体になって若者の意見がわかりにくくなっている。高齢者が高齢者を支えて行くには無理がある。大村市は人口が増えているが、地域での若者の参加が少なく、町内会の運営に支障がでてきているのでは。
女性 70 代以上 松原小校区	・数年前からゴミ等を燃やしては駄目といわれてるのに、そんなこと関係なく堂々といつも燃やす人がいます。屋根の上まで火の粉が飛び、窓も開けられない。近所だからめ事にしたくないので黙ってます。 ・松原地区は役員に日頃なる人は決まってるけどならない人の意見は聞かずに自分を通す人が多いかと個人的に思います。

	・松原地区は食堂がほとんどない。配達がないので食堂みたいなのを作ってほしいと思います。
女性 50代 中央小校区	・回覧板の受け渡しくらいで、年に1度も班で交流がないのも考えものです。 ・掃除に出る人、出ない人（お年寄りには仕方ない、病気の人も）年に1度だから出て欲しい。 ・ボランティアの方が見守って地域を車や歩きでまわられている時間帯とか場所を知りたい。 ・「幸せの黄色いハンカチ」ではないけど、大村市らしい桜色のハタを各家庭に配り玄関の外に毎日出すようにしては？ ・出てない日は近所に心配してくれる方も出たりして交流、声かけもあるでしょう。「あたたかい街 大村」になるでしょう。
女性 40代 大村小校区	私は40代ですが、町内会の行事に参加されるメンバーがだんだんと高齢化していて若者や同世代の方々の参加が少ないと感じています。 世代交代を上手にしていかなないと将来町内会活動がなくなってしまうのではないかと不安に感じています。
女性 60代 西大村小校区	・以前は地域での活動など、消火訓練（消火器）の使い方など、教えてもらった事があったが、近頃は何も連絡もなく、あっているかもわからない。 ・ある年齢になると遠くにも行けないので、いつも歩いてそこでゆっくり老人、子どもなどが集える場所があればと思います。
女性 40代 旭が丘小校区	子どもが小、中学校に通っている間は、学校生活の中で地域の方々と関わる人が多いのでよいと思うが、子どもが成長し、学校に通わなくなると地域との関係が薄れていくように思う。地域との関係が大切なのは十分に分かるが、それを作ることは難しい時代だと思う。やはり、一人一人の意識を高め、ある程度は努力をして地域との関係を保っていかなければいけないと思う。若くて元気な間は自分の力で何でもできると思うが、誰しも年を取った時のことを考えなくてはいけないと思う。
男性 30代 西大村小校区	自分の将来のことや、家族のこと、仕事のことなどを考えることで精一杯なので、地域のことに積極的に関わりたい、関わろうとは思えないのが正直なところです。自分の育った地域のことなので、負荷が少なくできることがあれば協力したいとは思っています。自分本位で申し訳ないです。
男性 60代 中央小校区	私は、何らかの形で生涯働きたいと考えています。その中で、地域を支える活動も大切だと考えていますが、どこまでその時間をさくことができるのかよく分かりません。地域活動が苦にならない程度に日常生活の中に取り込むことができれば自分にとっての理想です。
男性 50代 放虎原小校区	①数か月前、町内会を脱退したい、あるいは入会したくないという家庭があり、班長さんが役員さんとの板ばさみになり、困っておられた。町内会に入るか入らないかはその家庭の考えであり、強制されるものではないと感じた。町内会に入らない家庭が「おかしい」という「なぜ入りたくないのか理解できない」等と役員さん方は首をひねっておられたが、輪番制で回ってくる班長の仕事が苦痛に感じるかたもおられるので、それは仕方ない（入会したくない）という気持ちもわかります。 今のところそんなに町内会に入会していることの必要性を感じません。自分も含め、班長という役職は数年に一度回ってくるが、正直、色んな家庭の事情があるので、できれば私自身、（今は入っていますが、本心としては）町内会に入りた

	くない。特にアパートの人たちは入ってなくても困ってないし、また、班長をしなくてもいいので、非常に不公平だと思う。 ②高齢化が加速し、介護するにあたり、家庭によっては徐々にきつくなっている。高齢者のデイケアなど、もっと充実させてもらいたい。かなり負担に感じている家庭も多いと思う。
女性 70 代以上 富の原小校区	地域の活動はあまり多くはないので最低限参加させてもらっています。高齢者なので自分で出来るだけ頑張っていくつもりです。他人にお世話にならないように、またお世話も出来ませんので、余生を自分達なりに楽しみたいと思っています。今後お世話になることと思いますが、よろしくお願い致します。
女性 40 代 旭が丘小校区	・長崎県の人口減が著しく、自然災害も各地で起こる可能性がある中で、どんなに便利な社会になっても地域での協力は必要だと思います。 ・町内会活動はよくわかりませんが、地域での子ども会の会員数は少ないと感じます。共働きや、休日の課外活動、家族の時間等も大事ですが、地域に関わる事で、子ども達が大人になった時の視野が広がる一助になるのかなと考えます。 ・高齢の方に限らずですが、あいさつや立ち話して、嫌な方もおりますが、元気をもらえることもあり、散歩することで健康寿命が延びる可能性もあると思います。
女性 50 代 鈴田小校区	1) 大村市に転居して日も浅く、地域の活動等にも参加しておりません。が、在住の町内（同じ班）には、一人暮らしの高齢者の方が複数名いらっしゃるのではなっております。機会があれば、生活されている気配があるか？等、極力気に掛けるようにしているつもりですが、なかなか気付けないこともあります。気付かないと、他の人から「お隣なのにしらなかったのか」と、後々責められることもあり、干渉を嫌う人も多い中、ご近所との関わり方が非常に難しく、煩わしさを痛感しております。 2) 自分が体調不良で動けない状態の折、同居家族（高齢・要介護者）が急病を発症した場合の対応が困難であり、常々不安に思っております。（何分にも同居家族が高齢であるため、対応如何によっては重篤になる可能性もあり、初期段階での迅速な対応が重要と考えます。隣近所を含め、地域に気軽に自分の代わりを頼める親戚・知人等は居りません。） 以前、TV 番組にて、他府県での訪問診療医師の活動を拝見したことがあります。記憶が定かではありませんが、確か夜間の活動だったかと思います。夜間、急に体調不良となり、病院の急患を受診出来ない状況の際、（一人暮らしで本人が動けない状態や、同居家族が患者を運べない状態である等）かつ、救急要請をする程ではないと思われる場合、訪問診療医師へ連絡・相談するシステムでした。連絡を受けた医師が、電話で患者の詳細状況を確認の上、（この段階で大まかにトリアージされる）①救急要請をするように指示②手当方法を説明して様子を見るよう指示③実際に医師が訪問して治療をする等の対応をされるというものでした。勝手な願望ではありますが、大村市にもこのような制度（＝活動しておられる医師の存在）があると、高齢の（要介護者）家族と同居している者としては、非常に心強く、安心して日々生活が送れるのではないかと考えます。是非、ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。既にそのようなシステムがございます折は、今一度、ご案内いただきたくお願い申し上げます。

女性 30代 富の原小校区	他県から転居をしてまいりましたが、大村では学生さんから挨拶をしてくれます。それが地域の明るさに一役かっていると思います。雰囲気が良く素晴らしいです。 今回のアンケートで回答に躊躇することが多かったです。これからの地域社会において住民同士の自主的な活動が必要であると思いながらも、いざ自分が何かを提供できるかという時間的な部分と人間関係のしがらみを心配する点で戸惑ってしまいました。
女性 40代 三城小校区	引っ越ししてきた人へ、町内を紹介するパンフレットや近所の人との関わりの場や機会の紹介をしてほしい。引っ越しのあいさつをしたまま話していない所もあり、みなさん仕事をされているため顔を合わせることもない。まずは相手を知らないと仲良くも協力も何もできない。自分から玄関から外に出ていない人へ声をかけることもしないし（できないし）難しいなあと感じている。市民大清掃の時も参加はしたがすごくやり辛かった。説明なし声かけなし。公民館の掃除も開始時間に行ったら終わっていた。そして周りの視線は冷たかった。参加しようという気持ちはあるのになあと思います。
女性 60代 三城小校区	時間調整したボランティアで参加すると、好きでやっていると言われる。
女性 30代 鈴田小校区	入っていないと困るからと町内会に入っていますが、共働きの若い世帯にとっては班の集まりや集金、ゴミステーションの見回りなど煩わしい事もあり、加入している意味がよく分かりません。加入していないと、ゴミステーションに捨ててはいけないというのも理解できません。 町内会はどうしても年配の方が意見を出してまとめようとするので、若い人は何も言えずに従うだけになります。隣り近所と顔見知りであれば、加入しなくても良いのでは…と思います。
男性 50代 大村小校区	働き方改革は進みつつあるんであろうが、仕事の忙しさは変わらず、地域の活動に参加できていないのが実情です。定年後、いろいろな活動に参加していきたいと思っています。
女性 20代 三浦小校区	私は正直に話すと、近所との付き合いは少し面倒だなと思ってしまうことがあります。親が地区の自治会の役員決めで大変だった、誰もやりたがらないから大変だと話していたのを耳にしたこともあります。みな、やりたがらないということは少し考えてみるとその理由もなんとなく想像できます。面倒だからやりたくない、仕事をしているから忙しい、話し合いに参加するのが負担、などではないかと思います。 普通に考えて、そのように思うのは自然なことだと思います。毎日働いて夕方もしくは夜に帰宅して、それから話し合い、回覧板の準備、配布物の仕分け等、例えば月2、3回だとしても、相当の負担だと思います。特に話し合いは先に述べたように「誰かやってくれないかなー」「やりたくないなー」とほとんどの人が考えているとしたら、なかなか話が進まずどんどん時間が経っていく様子も想像に難くありません。 本来、地域の支え合いは自発的に起こるもの、もしくは多少面倒だとしてもウィンウィン（助け合うことで自分も助かるし他を助ける）だと納得して成り立つものだと思います。私には、無理をしてでもそのような地域内での行事等をしなければならないのか、それとも全て取っ払ってしまうべきなのか分かりません。私

	のように、地域での行事、付き合いが面倒だと思う人は少なくないと思います。述べたような負担が、少しでも限りなく最低限に近いほどに減ることが理想ではないかとも思います。しかし、私含めそのような人達でも有事の際は地域での助け合いが必須であると考えていると思います。幸いにも大村市内、自分の地域で大きな災害はまだ経験していません。 しかし、日本各地で自然災害が相次ぐ中で、「地域の支え」が必要だとよく TV 等で耳にします。「めんどくさいなー」と思う人でも、「有事の時は周りの支えが必要だし、そのためにも面倒だけど協力するかー」くらいの気持ちでも、みんながそう思えたらよいのかな、と思います。
男性 50 代 富の原小校区	町内会など役員のなり手がなく困っているのが分かる。一つの考えで、地域の中にサークルなど組織できればと、サークルなど気軽に参加できて、それが町内会を見つめなおすキッカケであれば、そのサークルから町内会への役員が入ることになるかもしれない。 今は町内会の役員は荷が重すぎると皆が思っているかもしれない。まずはサークルみたいな気軽な感じの参加しやすい何かを作る必要があると思う。
男性 40 代 西大村小校区	義務感や強制感が強く、仕方なく嫌々ながらやっているという雰囲気があり、結局一人あたりの負担も大きくなり、悪循環になっているのではと思われます。 本来の皆で助け合いながら知り合い、仲間を増やし、楽しみながら活動していくようなものになれば、一人一人の負担も少なく、より良い地域の関係が築いていけるのかなと思います。 (大変なことは確かにあると思いますが、楽しみながら皆で助け合ってやるとなると乗り越えられ、皆でやったという達成感、充実感も得られると思います。)
女性 30 代 旭が丘小校区	町内会に入る人の負担が大きい、やめにくい、お金の負担（貧困家庭もあるかもしれないのに）、高齢者の身体的負担、子育て、介護世代の忙しい中での負担、どうにかならないのかなと思う。 地域活動は誰かの負担になるようなものではなく多くの人が安らげる場所があれば良い。高齢者、子ども、子育て世代、悩んでいる人たちに寄り添える場所作り。 ペットボトル、ビン、カンをせめて月 2 回集めてほしい。1 回逃すと 1 ヶ月出せないのは辛いです。
男性 50 代 旭が丘小校区	町内会での取り決めが、今の時代にあっていない感じがするが、それを变えようとする反対意見ばかりで話にならない。町内活動が出来る人は、仕事を退職し、時間がある世代が多く、若い人は仕事、家庭の事で手一杯なので、仕方がないが、行政に関わっている方たちは、もっと町内の活動に積極的に参加し、いろんな意見が取り入れられるように対応してほしいと考えます。そうする事で、もっと町内会活動が活発になるのではないのでしょうか？
女性 40 代 旭が丘小校区	町内会に入る家庭も少ないけれど、町内会の集まりに参加すると、役員にはなりたくないが、役員に対しては酷い態度で接している。 町内会の話し合い等で、そんな場面を見たら役員になろうとは思えない。辞めていく人が多いのは仕方のない事だとも思う。町内会や子ども会に入ることの重要性を分かって貰えるようになるといいと思う。子ども会に入っている子ども達は顔も分かるし、話も出来るけど、入っていないと話す機会も無い。町内会と子ども会がもっと近くなれば良いなと思う。

男性 50 代 竹松小校区	引越してきて感じた事は長崎県内でも大村市ほど住みやすい地域はないと感じている一方で、こんなに住みやすい地域なのに、この住みやすさがあまり知れ渡ってないような気がしました。特別な知識や経験がなくても気軽に参加出来るようなボランティア活動があれば家族で参加したいなと思っています。 ・ 県立図書館等の図書整理、新聞切り抜き等簡単なボランティア活動があれば気軽に仲間づくり目的で参加したいと家族が言っていました。 ・ ボランティアスタンプ制度があるといいなあと思います。 交換は協賛店の商品券等でも良いし、お金をかけずに、10 スタンプたまると 1 回ボランティアを利用できる。(例えば字が汚い私は香典袋等を書いてもらおうと嬉しい。) ・ アーケードにもっとお客さんを呼べるようなイベントがあるといいなあと思いました。 ・ 高速バス利用時のバス停まで行くのが、もう少し行きやすいと助かるなあと思いました。天候不良の時や妊婦さん体の不自由な方が急な階段を登らずに利用出来るとういといいなあと思いましたが、限られた予算ではなかなか難しい事かなとも感じています。 まだまだ大村市の事を知らず、色々勝手に書いてしまいました。でもとても良い地域だと感じているので、退職後は永住と考えています。これからもお世話になります。
男性 40 代 旭が丘小校区	PTA 活動を行う中で、自分だけが良ければ、という方をみかけます。世の中がそういう風潮なのでしょう。地域、人と助け合わない、これからの時代は過ぎていけないと思います。一人一人の思いが変わらないと地域のあり方は良くなりませんよね。行政が土台を作っていただき、その中に抵抗なく入っていける環境ができることをのぞみます。
男性 50 代 旭が丘小校区	町内会の居住エリアに町内会未加入者が混在居住しているが、普段は特に問題ないが、今後高齢化、災害時の避難等々考慮した場合、各種トラブル及び問題発生の要因となることも予想されることから今まで以上に行政サイドからの加入促進を図ってもらいたい。特に町内会未加入のデメリット等を強調するとか。
男性 20 代 西大村小校区	アパートによっては町内会に入っていない物件、入り方がわからない物件もあり、地域との交流はほとんどない。共働きであれば日中や土日の活動には時間的に参加が難しい事も多く入っても参加ができないのなら町内会に入っても申し訳ないという気持ちもあります。別の枠組みや制度も必要なのではと感じたことがあります。
女性 60 代 竹松小校区	近所に居ても町内会にすら入らない家族が増えすぐ近くに住んでいても名前すら知らないし、顔すらわからない人が増えているなかで災害などで声かけなど無理な話で根本的に何かあった時に不安ではないのかと。他人事ながら思ってしまう。近所付き合いは煩わしい、自分たちで生きている生活していると言う世帯にはどんな対応されているのでしょうか。親族、親戚が遠くにいる家族にとって、近くにいる方々のお世話にならないでいけないことが、これから来ると思いますが、相手から付き合い拒絶されたら地域活動もないと思いますが
女性 20 代 旭が丘小校区	積極的な地域活動への参加を、自分がしていないので地域のことについてはよくわからない。参加することで、自分の地域のことについてわかるとは思うが、仕事もあるし、煩わしいと感じてしまう。楽しいイベントがあれば行ってみたい。

女性 40代 西大村小校区	今の地域は高齢の方が多いためあまり活動はありませんが、運動が苦手な私はママさんバレーなど参加したくないので助かってます。今回の主旨とは違うかもですが。 大村は子どもが放課後利用できる公立の児童館のような場所がないので、各学校の近くにそのような所ができれば高齢者と若者の交流などがあっていいのになー、と思います。
男性 60代 旭が丘小校区	①自分の子育ては終わっているが、他の人から保育所が不足していると聞いたことがある。 ②資源ゴミ、不燃物収集が月1回は少なすぎる。月2回は収集してもらいたい。 ③道路が狭く、歩道が白線のための所もかなりあり、障がい者の方が通行するのに不便と感じた。 ④大村に来て最初に感じたのは、アーケード街のさみしさだった。大村に来る前が佐世保、その前が福岡に勤務していたのでなおさらであった。(難しい問題であるが) ⑤大村に来て、通勤に自宅から駅までバスを利用しようとしたが、列車に間にある朝の便が無く、急遽自家用車で駅まで行ったことがあった。赤字路線で減便していたと思うが、不便を感じた。 現在、住んでいる地域(町内)は、佐世保に勤務している時に次の長崎勤務を考慮して、諫早市と大村市の土地を探していたが、地価の関係と下水道完備(下水道完備は県下で一番)の状況で第一希望の諫早市を諦め、土地勘のない大村となった。 造成地であり、全く知らない人間から構成された班でもあり、挨拶程度で(挨拶をしない人もいるが)繋がりは薄い。市民大清掃と数年に一度の公民館・神社の清掃程度である。班の活動も無いので地域活動の接点もない。長崎勤務であったので、自分自身も地域住民との接点もなく地域活動に入りにくい。 私見で悪いが、木場は900所帯以上もあり、広くて大きすぎる。役員の方も世話するのも大変であり、目が行き届かないのではないかと思います。もっとコンパクトにして各班にも目が行き届くようにした方が良いと感じる。島原市の小さな漁師の町で、近所付き合いが密接な地域で育ったせいもあろう(今はどこもそのような密接な地域はないと思うが)。大村での交流は、勤めていた会社の大村在住の退職者や、昨年からは公民館講座を受講している。公民館講座は割と充実しているように思える。
女性 30代 三城小校区	地域によって活動の内容や普段の近所付き合いの深さが異なっていると思う。私の近所は若い世代でかつ転勤の方等も多いので、普段の付き合いも比較的希薄であるように思うが、生活するには不便さを感じていない。 ただし、少し気になることとして、不審者が少なくないようで、警察の見回りが時々あっている。 生活スタイルや年齢によって求められる支え合いの手段や方法が違うと思うが、まずは普段の生活の中で最低限必要となる(発災時の対応や支え合い等)ものについて、市民1人1人がそれを認識できるようにしていくことが必要であると思う。 さらに今後の理想形としては、地域みなさんが集まって支え合いをするしくみを作って行きましょうと言ってもなかなか自発的にも物理的にも難しい部分があると思うので、子育て世代などの同じ立場に立った方が身近な相談ができるよう

な場（提供できる建物がなくても意見交換ができるサイトの開設など）をつくり誰でもいつでも参加できるように広く周知できていけばよいと思う。

◆行政サービス

男性 50 代 大村小校区	行政もっとがんばれ。人口減、高齢化で自力は無理。福祉のリーダーシップ、お願い！！
女性 30 代 富の原小校区	アパート入居の時に町内会に入ることが必須で町内会費を払っているが、活動内容が不明で情報が入ってこない。大村に家を建てる人が増え、人口は増えているが、人間関係は希薄になっているように思う。 月 1 回の乳幼児相談も来る人に対して、保健師、栄養士、歯科衛生士の人数が少ないと思う。待ち時間は長く、いろいろ相談したいけど時間がない。スペースも狭く、ぎゅうぎゅうなことも多い（郡地区コミセン）。
女性 60 代 竹松小校区	お年寄りでも若い人でももっと参加できるイベントを開いてほしい。 大村市はもっといろんな活動ができるところを作してほしい。 ギャンブルに力を入れすぎ！
男性 50 代 三城小校区	いろいろな意見があると思いますが、生活困窮者の自立支援業務は普通に暮らしている人が嫌な思いをしないよう、生活困窮者（生活保護者）の線引きを確実にお願いします。いろいろ話は聞きます！！
男性 30 代 放虎原小校区	・老人中心の行政になっているように感じる。 ・ゴミの回収が少ない。資源ゴミ等の回収もしてほしい。→他県ではそれがあたりまえ。 ・夜道が暗い
女性 50 代 中央小校区	・アンケートを終えて、社会福祉協議会が何をされている所かわかりません。ましてや、町内の民生委員（←何をされる人ですか？）も誰なのか知りません。情けないです。 ・防災…避難場所はわかりますが、町内のどこかに「ここの地区の避難場所は〇〇です」と表示していただければ嬉しいです。 ・困った時、市民 110 番に以前電話を致しました。とても同性とは思えない回答に苦しみました。どうして、このような人に相談したのだろうと…。今はどうかしりませんが、市民の声にちゃんと向き合ってください。（心のトラウマになりました。）専門の方にしてほしい。 ・コロナウイルスで、マスクを探してますが、どこのスーパーありません。外出時、マスク着用できません。大村市は上海に 1 万 5 千枚送られてます。大村市市民に 1 枚ずつだけでも配って欲しかったです。 ・生活保護受けている人で不正している人がいます。ちゃんと調べてください。近所にいますが、生活がハデです。 すみよい大村になってくれれば嬉しいです。
女性 70 代以上 旭が丘小校区	町内会に入っていない人にはつめたい。資源物のゴミ出しビン類など出す時がわからない。班に入っていないので老人はいつどこに出していいかわからない。出すのにも重たいし、資源物はところどころ近くに出せるようにしてほしい。捨ててもいい場所を何日か何曜日からプリントして全世帯に配布してほしいです。
女性 70 代以上 放虎原小校区	もっと公民館活動をしてほしい。昼の部、夜の部など。65 歳以上の人も働いているので、夜の部をもっと多くしてほしいです。

男性 60 代 富の原小校区	大村市を発展させるための1つが、文化活動、知的活動を充実させる必要があります。サークル等の発表会が催されていますが、文化研究発表会なども必要では。そして、各催しに関してはオープン、市民への気軽に参加できる雰囲気が必要であると思います。(代表などは若い人がよろしい。年配の方には、現役時代の役職の方がなると、非常にオープンになりにくい。)例：映画を観る会、文字を語る会、社会問題の会、理系の内容の会、歴史の会。 発表会が個別に別の日に催されるより、1つの施設で合同にやられた方が、行きやすい。個別の催しだと行く気力が出ない。(単発の講演会のような内容を、小規模にした発表会をまとめてやるということ) 県立図書館もできたことですし、知的資質の向上を求めるべきです。※佐世保で開催されたある映画上映会に行ったことがあります、この内容で、これだけの人が鑑賞されていることに知的レベルを感じました。
男性 50 代 竹松小校区	車の運転マナーが悪すぎる。交差点に入ってからウインカーを点けるなど、他車に迷惑を掛けており、自分も含め、県外からの転入者に非常に不評である。佐賀市のように、右、左折レーンに「ウインカーを点けてください」と路面に表示すべき。市道の路面がデコボコであったり、マンホールが突出していたり、センターラインが消えていたり、補修してもらいたい。 4月10月の転勤や進学シーズンには、その前後の月の土日に転入・転出の窓口を開設してもらいたい。本庁舎だけではなく、出張所でも手続きができるようにしてもらいたい。 桜が原中学校の生徒は、歩道から車道にあふれて集団で歩く、車が来ても避けて、睨みつけるなど、マナーが悪い。教師や親に注意喚起してもらいたい。運転マナー同様、親がしていることを子どもが真似するので、何年経っても改善しない。 高齢者が多いが、市内のバスの運行が少ない。コミュニティバスを運行しているのであれば、周知や増便を検討してもらいたい。町内会が高齢者の古参に牛耳られており、町内会の進め方、議論の進め方、決定の仕方を知らない者らがいるので、市で講習会を開いたり、町内会議を傍聴したり、改善していかないと、若い世代や市外からの転入者は町内会に参加しづらいと思われます。 近隣者の助け合いは必要とは思いますが、自分の親や配偶者の親の介護もある上、近隣者は他人であり、限界があるものと思慮され難しい。 この時期のアンケートの結果について、私は4月に県外に転勤で転居するので、見ることはできません。結果を公表するのはいつごろで、ホームページのどこに掲載するとか、しないとかの説明があれば良かったです。
女性 60 代 放虎原小校区	行政でいろいろな取り組みがある事はありがたいですが、何があるか、どうしたら支援を受けられるのかが、なかなか行きわたらないと思います。何かでこんなことがあると知って、自分で連絡していいと偶然わかる事が多いです。せっかくの支援や制度をみんなにゆきわたるような方法があるといいと思います。 窓口も市役所のみでは、行きにくかったりするので、地域ごとに相談窓口があると助かります。制度や利用についての全体のガイドブックのようなものがあると助かります。
女性 50 代 富の原小校区	地域という訳ではありませんが、図書館の営業時間についてですが、終了時間を遅くできないかと思います。仕事をしていると帰り時間によって寄る事が難しいので、まだ行った事はありません。借りたとしても返しに行くのが、休日まで伸

	ばさないといけないので借りるのも難しいです。時間外に返せるならいいと思います。
女性 30代 放虎原小校区	町内会に入っていないアパートの住民のごみ出しマナーが悪いためとても困っています。このような場合は、誰がどのように何をしたらいいのでしょうか？ホームページにそのような時の対処法を載せてください。
女性 50代 西大村小校区	今回のコロナウイルスの発生で、マスクばかりか、トイレットペーパー等も不足している状態になり、いつ身近に災害などが起きるか心配です。まずは、行政がリーダーシップをとり、物品の確保など管理をお願いしたい。本当に必要な人が手に入れない状態になってます。友好都市への支援もとても大切です。ですが、税金を使う以上は、まずは市民への（特に子どもや持病がある方等）配布確保が優先だったのではないのでしょうか。今後も、このようなことは起こりえます。 すごく気になってることがあります。大村市の財源は、ボートによるところも大きいと思います。ボート場内に子どもの遊び場や施設も充実し、より気楽に行ける場になってます。ただ、やはり私個人としてはボートもギャンブルのひとつです。ギャンブル依存症、家庭崩壊、借金は同時にとても身近なものです。ここへの対策はないように感じてます。収益が上がる程、生活がこわれている人もいるのです。そこに遊び場をつくれば、子ども達は、ギャンブルとの垣根がない環境で育ち、この市は将来どうなるのか、私個人的にとても心配してます。パフォーマンスもいいですが、もっと身近な問題（小さくても）に取り組んでいただければありがたいです。いい機会をいただいたので、日頃の心配を書かせていただきました。 春になれば桜でいっぱいの大村市がとても好きです。
男性 20代 富の原小校区	ゴミステーションをぜひ設置してほしいです。回収作業の方が走りながら1コ1コ車両に投入するなんてあまりにも非効率です。カラスや動物によると思われるゴミの散乱もよく見受けられます。
女性 30代 竹松小校区	福岡から大村に来て、9年が経ちました。1,2年は刺激が少なく、何もないなあーと感じていましたが、3年目からはないからあるへ意識を向けると、たくさんのあるに気づけました。夕陽もきれいですし、空港もあるし、桜も、シュシュのアイスも好きです。 なので、アンケート内容も、ここがいい所だよねというプラスのアンケートをとって、その中で、では何を生かしてもっとこうすれば、人々が楽しく笑って過ごせる町づくりができるかと、考えるといいのではないのでしょうか？！ これからの未来をつくっていくのは子ども達ですが、今の大人たちが大村で働いていて、働くって最高だよねって、口角を上げて過ごして、街ゆく人にあいさつをして、声かけて、意識していけば、自然と助け合えると思います。子ども達がそれをみて影響されると思います。簡単なようで簡単ではないことです。なので、魅力ある心のセミナーなどを広い場所でしてほしいです。 人を変えようとしても変わらないので、まず自分がやってみると世界が変わる。先日も大村城を主人と散歩していたら、向かい側から年配のご夫婦が歩いてこられたので、「こんにちは」と言ったら。「・・・・。」キャッチボールできませんでした。それでも私たちはあいさつしまくります。大村に図書館ができて、本当に嬉しく思っています。外にもテーブルや少し休めるベンチがあれば、もっと気持ちいいと思います。

男性 60 代 旭が丘小校区	行政アンケートは、政策を具体化する上で、住民のために本当に何が必要なのか、必要性の確認や詰めをするためにやるものではないかと思います。市役所のHP も見ましたが、このアンケートの趣旨が今一つ不明です。 災害時に高齢者や障がい者など、どうやってフォローするか、大事なことです。具体的な趣旨が分かっていたら、色々な知恵も出てくるとと思います。設問があまりにも一般的かつ網羅的で、何をしたいのか、分かりにくいアンケートでした。設問もどう回答すればいいか迷う、かなり面倒なものでした。市民のニーズを日頃から掴んでいたら、もっと具体的な政策に関わったアンケートをすることができたのではないのでしょうか。何か、市民に丸投げした感じがします。 担当者のやる気は感じますが、政策立案に即し、もうちょっと絞った内容のアンケートをやった方がいいと思います。人気芸人のかまいたちのボケではありませんが、「これで何が分かるの・・・!？」と言いたくなる感想を持ちました。 私は、山手の一軒家に住んでいますが、車が運転できなくなった時に買い物をどうするのかが、心配になります。コレモがやっているような巡回バスを市としても検討していいのではないかと思います。富山市などのように高齢の移動を支援する政策があったら安心です。タクシーを利用しやすい行政サービスを考えてもいいかと思います。子ども 110 番と同じように、孤独死にならないように一人暮らしの高齢者への「見守り 110 番」も考えられると思います。
女性 60 代 西大村小校区	「詳しくはホームページをごらん下さい」とあるが、ネット環境がない私たちはどうすればいいですか？（対議会や対市民に対してのアリバイ作りみたいなアンケートはやめて下さい。市の仕事を下請けさせるようなことには使わないで下さい。
女性 60 代 萱瀬小校区	地域で助け合っという言葉は、よく聞くが、実際は困った時に助けてくれるのは身近な家族のみ。みなさん自分のことで精一杯なので、自分のことは自分で考え、困った時にどうすればよいか自分自身で SNS など情報を取り入れてやっていくしかないと思う。その情報の取り方を学ぶ充実した学習をみなさんがそれぞれ確認した方がよいと思う。 封筒にのりをつけるのが面倒です。大体、このようなアンケートはのりづけしなくてよいようにのりテープがつけてあります。今後は気を付けた方がよいと思います。
女性 70 代以上 竹松小校区	私、76 歳、夫 82 歳二人暮らしです。二人共病院と友達づきあいしながら、老人会、公民館活動などに参加し余生を楽しんでいます。私の地域では、行政の御協力をいただいて、体操など公民館活動が活発です。ありがとうございます。 一つ残念なのは参加者が少ないような気がします。私が思うに、年を取りますと外出したくない、人と接したくないという思いが強くなるのでは。 私共もこの先年を取って、1 人暮らしになって淋しくなったら月に一度でも 1 時間で良いです。話し相手になって下さい。私共県外から大村に来ました。大村に住んで良かった。
男性 40 代 大村小校区	若い人達は、毎月の仕事で忙しく、公務員は別として民間に勤めていると収入も低く、とてもボランティアとか福祉、地域の交流とか、他人と関わる余裕がない。様々なイベントなど最近を行っているが、そういう予算があるならもっと若手の生活が楽になるような政策を考えてほしい。

女性 50 代 西大村小校区	小さな物から大きな物まで含め、川や公園等における公共の場所へのゴミの不法投棄が無くなるような住民の意識向上につながる活動か何か対策が出来ればいいなと思っています。不法投棄が多すぎて胸がいたみます。
女性 40 代 三城小校区	行政と機関（病院か何か）とつなげるものが必要では？気軽に行ける場所
女性 20 代 旭が丘小校区	人口が増加の中、商業施設が少なく、また、飲食店もあまりないような気がします。新しい道や家などに土地を取られてばかりだとも思います。商業施設が増えると、もっと人口も増えてくるのではないかと思います。大村は空港もあり便利だし。他市の通り道にするのはもったいないと思います。 大村市がマスクを中国に寄付したとの話を聞きました。今後も「ほかの物資についても、状況を見ながら支援を続けていきたい」と。市民はいいのですか？コロナウイルスが流行していて感染拡大は予測できたと思います。 2月上旬から長崎～上海線の飛行機は欠航とHP上では書いてありますが、2月末までは上海線は来ていたと思います。実際に見たので。中国人観光者がいる中、マスクは市民優先が一番だと思いました。なぜ、最初に市民にマスクを配布しなかったのか不思議です。 また、この件に対して園田市長はどのようにお考えなのか大村市のHPにでも載せて頂きたいですね。このアンケートはまず、市長の目に届くのでしょうか。
女性 40 代 大村小校区	・時代なのか、地域性か、集合住宅だからかわからないが、自己中心的な人が多い。あいさつをしない人、ルールを守らない人がいる。親がそうであれば子どもも同じ。そのような人は他人や地域のことに関心が薄い。顔を合わせた時には軽くあいさつがかわせるような関係づくりが地域の安心をつくる基礎だと思う。 ・防災に対する意識が低い。 ・一人一人の言動がその地域の印象になる。適切な人、丁寧な対応は旅行に行った時、すごく思い出に残っている。困っている人に声をかけることができる道徳、福祉教育を小さい頃から学ばせたい。 このアンケートに書いていいかわかりませんが、県立図書館の総合案内の方の対応はもう少し丁寧な言葉でお願いしたい。県立なので、話し言葉は印象が悪くなかったです。
男性 60 代 中央小校区	野良猫による問題が多すぎてトラブルの原因になっている。この地域のあり方を考えるならば、それを小動物と言えども生命の大切さを考えるならば、殺処分も含め行政による管理を行う必要がある。条例等を施行し個体の把握が出来るまでのシステム作りが必要だと思います。猫は犬と違って野良が多くて目に付きます。人間の身勝手に彼らの生命を脅かし、また、人間にもいろいろ被害を与えます。
女性 60 代 三浦小校区	私が加入している町内会は、約20件世帯ぐらいで年10数回くらい集まることがある。市役所からの情報や祭り、運動会などの日程のお知らせ、ゴミ問題、防災に関することが主である。婦人部の集まりは年2回あり、この時にご高齢の方が「買い物（車がなくて）が不便である。」と話されていたことがあった。自分も含め、仕事や家庭の用事で皆さん多忙なためお手伝いする余裕はなかった。生協のサンプルを持っていき、配達をしてもらえとお伝えしただけだった。最近はスーパーでも出来るようなので、そのような情報をもっと伝えてもらえる仕組みはないだろうか？

	悩みや疑問は、話す“場”がなければいけないので、公民館などを活用して高齢の方達だけでも集まり話やすくそれを自治会で取り上げ、みんなで解決法を探してはどうだろうか？1対1で手助けしようとするすると、負担が大きいと思うので、1対3とかグループを作って相談に来るようにすれば、少し手助けしやすくなると思う。健康面に関しては、日頃から体温、血圧、食生活について測ったり記録するなど指導していただける巡回相談を定期的にしてほしい。 私達の5年後10年後とかは今の様な介護のシステムはとても受けられないだろうから、自分の周りの方は自分でできるだけ動けるように運動能力を保つ必要がある。自分が健康で時間に少しゆとりがあれば、周りの方をいたわることができると思うので、大村市内の働く方々の働き方改革も進めていただき他の市に負けない、生活の実現ができますように。
男性 70代以上 大村小校区	私達が住む大村は、大村湾と多良岳連峰の間に位置する扇状地であり、平面的地形と穏やかな気候で空気も澄んでいて、本当に住みやすい土地柄です。しかし、年を重ねると、交通手段（バス、タクシー等）が充実していないので、買い物や医療機関に行くには不便さがあります。そこで、乗合いバスのような5～6人乗りのワゴン車等を運営していただきたいと思います。そうすることで、家の中に閉じこもらず、地域の人々との語らいの場が自然と広がっていくと思います。 また、車を運転する方のマナーが悪いのが最近目につきます。一旦停止や徐行運転等なされていません。歩道を歩いてみますと、ガードレールが必要な所になかったり、側溝にフタがついて無く、夜間、防犯灯がついて無いところでは足を落として大怪我をする場合がありますので対処をお願いします。交通事故や転落で怪我をしたら、家に引きこもり地域とのつながりも薄れてきます。外に出るのが怖いとさえ感じてきます。隣近所の方々とお話しするのも億劫な気持ちになります。支え合うという気持ちになれません。大村は花と歴史の町と謳われています。オオムラザクラ、菖蒲等私達市民の自慢でもあります。しかし、国道沿いには、もう少し花を植えたらどうでしょうか。 歴史の件では、史跡等が毎年失われていくのを目にします。史跡の説明板が老朽化したものもあります。歴史ある史跡をいつまでも存続してもらうために予算を取り、充実してもらいたいと思います。お城が有り、町に花があふれていたならそれだけでも外に出て、自然と人と挨拶して声を掛け合い語り合いが始まると思います。 大村ボートの件ですが、余り派手な宣伝は控えてもらいたい。国道に面した大村公園内に派手な掲示板は品格を損なうので、これだけは止めて欲しいです。大村へ引っ越して来て9年目になります。大村を終の棲家としています。このアンケートがきたことも嬉しく思っています。よりよい地域の支え合いの中で、安全で、安心して年を重ねていけたらと思っています。市民の声を聴いて頂き感謝します。よろしくお願い致します。
女性 20代 三浦小校区	地域によって、ゴミステーションがなく申請を出しても班長からの許可が出ないからと言われ断られました。ゴミステーションまでの距離が遠く、子どもを連れていくのが大変。その事も伝えたが対処してもらえなかった。市民の意見を聞いてもらえないようで少し残念です。
男性 40代 旭が丘小校区	こどものプログラミング教育のための地域ボランティア(CoderDojo)をやりたいが1人では出来ない。意欲的な人との交流、マッチングなど行政サービスはないのでしょうか。

◆安心・安全

男性 40 代 旭が丘小校区	近くにアパートがありますが、ゴミがいつも満杯になっています。カゴからはみだして、カラスやネコが散らかしています。 戸建てだと町内会に参加しますが、賃貸の方々は参加しない方がほとんどで、意識が低すぎるのではないかと思います。そのギャップも気になります。 外灯が少なすぎて、夜真っ暗なので、外灯を増やしてほしいです。
男性 20 代 竹松小校区	災害への準備が自分自身不十分だと考えています。常日頃日々の仕事等に追われ、災害への危機感を軽視しています。地域について考えるいいきっかけになった。
女性 30 代 旭が丘小校区	アパートに住んでるため、隣り近所や上に住んでる方とは挨拶程度なのでそこまでの付き合いがない。最近、災害が他の地域で多いので地域でもっと話し合っ て、協力するようにした方がいいと思う。
男性 30 代 大村小校区	保育園児などのお散歩の様子をよく見ますが、先生がよく注意されていると思います。しかし、もっと安全にお散歩できるハード面の強化をお願いしたい。 全体的に車道や歩道が狭いと感じる。 車イスの方があまり歩道を移動されていない。つまり、移動し難い理由があるのではないかな？ 防災については、実際におこると想定以上にパニックになると思う。 V・ファーレンの施設を大村に作る理由が理解できない。
女性 50 代 放虎原小校区	家の周りがとても夜になると暗いので電灯の取り付けをお願いし許可がおりたのだが、一住民の方が明るくなるのはいやだと言われてかなわなかった。防犯の意味をわかっていないなあと思う。そういう考えの方が近所にいらっしゃると思うと協力しあいたくなくなってしまう。そういう方々とこれからもご近所としてつきあっていくのが憂鬱である。行政が明るい良い街にしようと積極的にとりくんでほしいと思います。
女性 60 代 竹松小校区	通学路の道路が狭く子ども達が歩きにくい場所がある。これはずっと長い間言っていることだが改善されない。難しいとは思いますが、何とかできないだろうか。交通量も多い。
女性 40 代 三城小校区	自宅が3階で、階段の上り下りや、火災の際の避難など不安があります。1階で火災警報器が作動し外に逃げましたが、ビルの為、全焼したらどうなるのか怖かったです。 地域の活動や町内会に参加もしておりません。単身のため参加しづらく、近所とのコミュニケーションもない。孤独死した場合、家のあとかたずけはどうなるのかいつも考えています。両親は健在ですが、高齢のため頼りにはならず、家も離れていますので、独りで不安を抱えています。
男性 50 代 竹松小校区	通学などで子ども達にあいさつをするが、返事ができない子ども達が多い気がする。いろいろな事件があるためか、知らない人の関係を持たない様な世の中になっているのが気になっています。
男性 60 代 旭が丘小校区	1. 地域の自治活動や体制作りは、住民自身が地域の特性・状況を考慮して作り上げるものではあるが、社会全体に余裕がなく、多様化する状況にあって、個人が独自で対応することが多くなりつつある。このため地域としての連帯感も少なくなり、お互いに助け合う風潮や機会も少なくなりつつあるのも事実である。自治活動も時代とともに、その活動と範囲を変えるべき時にあるのかもしれない。行

	政としては、すべてを地域自治の住民だけにまかせることなく可能な範囲で支援していく体制が必要であると考えている。 2. 防災マップは、各地域区分で具体的に記述表示すべき。 事前に周知しておくことは当然ではあるが、緊急時にはスマートフォンですぐ見れるように
女性 20 代 富の原小校区	共働きで、それぞれの家庭が自分たちの生活で手一杯で、隣り近所ともあいさつ程度で交流する時間もないのではと思います。又、昔程お互いの事を深く話すこともなくなかったので、(○曜日に仕事、○時にいつも帰宅するなど) 近所の方がたとえ空き巣に入られたとしても決して分からないだろうなと思います。そういう点で防災・防犯は難しい時代だと考えます。せめて保育園や小学校では交流が深められれば良いですね。
女性 30 代 西大村小校区	今、住んでいる所は子どもが少なく、お年寄りが多いです。「子どもを 30 分預かってほしい」そんな時に頼める関係を作れないかと思います。災害の時も、助け合わないといけませんが、どこにどの人が住んでいるのかわからない状況です。 朝、仕事に出て、帰るのが夜、という生活をしているので、なかなか接点がありません。夕方からは子ども達だけ留守番しているので、近所の方の目の隅にでも、とまっていれば少し安心かな？と思うので、休みの日は顔を覚えてもらえるように、外であそんでいます。
女性 30 代 三城小校区	大村に住み始めて 1 年近くになりますが、本当に住みやすい町だと思っています。長男の通学で大村駅横の踏切をとて心配していたのですが、毎朝ボランティアの方々が見守りに立ってくださり、親としてとても感謝しています。夫もボランティアの姿を見て「リタイア後は自分も協力したい」と言っています。先輩方の姿を見て地域のため、子ども達のために協力出来たら、という思いはあります。去年の夏には通学路の雑草が茂り、子ども達が車道にハミ出して歩いて危険なので、夫が自主的に草刈りをしました。かなり距離もあり雑草も多量でカマでの作業だったので大変でした。新参者でもあり周りに協力のお願いが出来ません。歩道もなく危険なので市でやっていただくといいのですが。(水計公民館下から県道 257 号へつながる市道)
男性 60 代 富の原小校区	散歩の途中に良く空き家を見かけるのですが、防犯・防災上の観点から行政での対処は出来ませんか。また、一部の空き家は植木等が伸び放題で歩道をふさぐほどの状態の所も見受けられます。行政から管理者に連絡して、対処できないですか。
男性 40 代 西大村小校区	大村市は扇状地で地盤がしっかりしており、災害には他の地域よりも強いと考えています。しかし、少子高齢化の流れは未だ解決する兆しはありません。このことから、いずれ老人同士での助け合いへと移行していくものと想像していますが、退職された人が仮に生活に困るようなことになると、老人同士での助け合いも難しくなっていきます。 幸いなことに大村市はボート事業での収入があるので、そのお金を活用して一人暮らしで必要となる技術を教えるようなセミナーや、周辺にこういった技術を持っている人が住んでおられるのか等と知ることができれば、お金をかけることが心理的負担軽減へとつながると思っています。 2011 年に震災があり、東北地方の方が西日本に引っ越しされた際に、防災への備えを強く主張されている様子をテレビで見ました。防災とは日常生活を災害が発

	生した時にいかに維持できるかであると考えています。例えば、過去に大村市でも大きな地震が起きて、城壁修復のため江戸に申請された書面があったようです。活断層自身は3000年に1度という割合で起こることが知られており、大村でいつおきてもおかしくないと考えております。 具体的に市に要求するものは、食料品の備蓄です。賞味期限がきたものに関しては市民に買い取りで販売してもらいたい。できることならば、そういったイベント等に参加してくださった人の声を拾い上げて欲しい。 令和とは徐々に貧しさになれていくような時代となりそうな予感がしています。それを防ぐには今回のアンケートのように市民の声をきいてもらえるのはありがたい。発電機器、ブルーシート、マスク、サランラップ等すぐに必要となりそうなものは倉庫などに保管し、2,3年に一度は入れ替えてほしい。
男性 40代 竹松小校区	大村市の消防署、消防団、自主防災組織が脆弱で不安。 ・消防署職員が少ない ・消防団員が少ない ・自主防災が有効に機能していない ・近くに安全な避難所がない
男性 40代 大村小校区	朝、通勤時や登校時間帯に小学生が横断歩道を渡る際、車が右折します。小学生がビックリしてます。とくに玖島交番前。片町方面から市役所側に右折する車です。交差点に1人もしくは2人大人の方を横断歩道に立たせてほしいです。渡るのは学生だけでなくお年寄りの方もいます。
男性 70代以上 三城小校区	当地に来て6年、その前は静岡県にいましたが、東海地震などに備えていろいろと対策がやられています。近年は台風、大雨とか自然災害が頻発して大きな災害があり、毎年人命や財産が失われています。幸い当地は今のところありませんが、何かあった時の行動とか助け合いなど不安を感じます。
女性 30代 中央小校区	私は結婚を機に他県から引っ越して来て2年になります。乳児がいるので、そのつながりで、子どものことを相談できる友人や知り合いはできましたが、家の近所に気軽に話せる知り合いはいません。 防災や防犯の面から、いざとなった時に情報を共有したり、助け合ったりすることができるか不安です。近所の人と顔見知りになったり、話ができる機会がもっとあるといいなと思います。
女性 10代 西大村小校区	先日までは、沢山の地域交流がありましたが、コロナウイルスの影響で交流が減りつつあり、もしもの事があった時に協力し合えるかどうか心配です。
男性 70代以上 西大村小校区	個人住宅の植木が市道に50cm以上食み出しているため交通障害になっています。回覧板では駄目ですので職員さんが戸別訪問し注意して下さい。
女性 70代以上 大村小校区	災害の時に避難所がなく作ってほしい。(玖島2丁目)
女性 30代 福重小校区	・町内会には入っていますが、賃貸に住んでいるからか隣の方や町内の方と話す機会がなく、もし災害が起こったら誰かと相談しながら助け合うことができないと考えることがあります。 ・地域子育て支援センターの催し物に子どもを連れて参加をしています。交流の時間が必ずあっていろいろな話ができるので、このような場所があるのは有り難いです。

男性 60 代 大村小校区	○自主防災組織におおむら災害時助け合いプランの共助マニュアルを組み込むこと。 ・福祉担当課と地域防災担当課が市の具体的方針を作りあげること。 ・既設の自主防災組織に早く提示し、規約改正して対応してもらうこと。 ・未設置の自主防災組織（市全体で 50%）を早く組織化すること。 ○災害時要援護者登録申請書兼台帳や、災害要援護者個別支援計画は作成している間に時間がかかり過ぎ、出来た頃には役立たずになるケースが多い。これがいいかにお役所的かを早く気づいてほしい。 ・向こう三軒両隣みんなつながり支え合いいきいき安心おおむらづくりが作りあげられたら上記の用紙類はなくてもリアルタイムで近隣の状況は共有される。高齢者には時間がない。早く対応してもらいたい。
女性 50 代 黒木小校区	高齢者が多く過疎化してきている地域なので近所とのつきあいは大事にしています。 大雨時などは近所の同年代の方と連絡取り合い、避難するタイミングなどをみています。手分けして高齢者を避難させたりしています。
女性 10 代 放虎原小校区	歩道に居ても電気をつけていない自転車が走っていたり、夜に歩く人も見えない時があります。 住宅街に街灯がとて少なく、冬など早く暗くなる時に高校生、中学生の帰宅時が心配。
男性 40 代 三城小校区	私は消防団に所属しております。今後も大村市の安心、安全のために精進していきます。
男性 10 代 竹松小校区	自分が今、受験生なのだが夜寝る時にバイクの騒音がすごくうるさいのでたまに睡眠時間を削られる。警察への働きかけに期待しています。
女性 40 代 西大村小校区	地域のあり方ではないかも知れないけど、大村市に来て思ったのは、大村市は、電灯が少ないと感じる。夜道を歩く時、薄暗く危ないので、懐中電灯は欠かせない。なので、もう少し電灯を増やして欲しい。 大村市は、子ども達の通学路が整備されていないところが多い。結構危険な通学路(たとえば車通りの多く、歩行者の白線しかないところ)を通っている小学生を見かける。今の時代に命がけの通学路があるんだと思った。だから親は小学生になっても車で送迎するんだろうなと思う。子どもが安心して通学できるような通学路を見直すか、整備するか考え直して欲しい。 また、生徒数が偏っているので小学校校区の見直しをして欲しい。数十年前から変わっていないと聞いたので。 子どもがいない時は町内会の行事に参加できたけど、子どもが産まれてからは、子ども中心となり、振り回されているので、今のところ町内会の行事には参加出来ていない状態です。周りはお年寄り世帯ばかりなので、申し訳ない気持ちでいっぱいなのですが、家事や子どもの行事で余裕が無いのが今の状況です。余裕が欲しいです。

◆都市整備

女性 60 代 中央小校区	自動車道路は整備されているが、子ども達が安全に安心して通れる道路は少ないと思う。
------------------	---

女性 60代 放虎原小校区	大村市は、とても住みやすいです。大学（福祉）ができると、ますます住みやすい大村になると思います。
男性 70代以上 西大村小校区	年齢が高くなると行動できる範囲が体力的、気力的にも低下する。住居からあまり遠くない所に軽いスポーツ等があると近所での交流は活発化すると思うが、結局、散歩、読書、囲碁等のゲームなど簡単に実施できる可能性のある事に落ち着く。その趣味の方向性はバラバラでなかなかまとまらない。 私の近所では、少人数での「飲み会」だけが時々実施されています。それも場（部屋）を使わせてくれる人がいるから出来ている事です。飲み物等は各人適当（決めていない、自主的）に持参している。 贅沢を言えば、広場（グラウンドゴルフくらいできる）が欲しい。活動を維持するのもエネルギーがいります。誰かの努力がないと活動の輪は広がりません。
男性 10代 松原小校区	高校生の私の立場からすると、若い人の数が減っているように思えます。大村市は他と違い、人口は増加しているとは思いますが若い人は減っています。私の友人もほとんどが大村を出て働く人や、県外で就職・進学をする人が多いです。さらに情報があまり入ってこないとも言えます。 インターネット、SNSが普及している現在、ネット上での宣伝ができていないんじゃないでしょうか。自分は大村市が何をしているのか、どんなイベントがあるのかなど、よく分かりません。できれば、もっと広い方々に知れるような工夫をお願いします。 大村市アーケードのシャッターが閉められたところは見栄え悪いのでどうにかしてください。あとは映画館とか娯楽となる建物が意外と少ないな—と思いました。
男性 10代 鈴田小校区	地域は自分がうまれ育ったかけがえのない場所なのに、地元を離れたいとか地域がいやだとか言ってる人が多いです。僕はなぜこんなに自然が豊かで大村湾もきれいで景観もよくて、国立医療センター等もそろっているのに、なぜ地元を離れたいのかよく分かりません。 でも多くの人々曰く休日に過ごす娯楽施設が少ないからだと言います。僕は友達も地域も大村も長崎県も好きなのに離れたいというワードを聞いたたびにもっと地域に魅力が欲しい。印象に残るようなキャッチフーズや良い所がたくさんあるのももっともっとアピールして行って欲しいです。 大村市には土地がたくさん空いています。そこで、その土地を娯楽施設などに生まれ変わらせて行って欲しいです。例えば、都市部などには多くのショッピングモールなどファミリー層が楽しめる施設が多いので、そういう良い所を少しずつ取り入れることで地域は活性化すると思います。そしてショッピングモール等をつくることで働く場が生まれ、若い世代の人々が地元や地域に残り、過疎化が少なくなり、明るい街になります。他にもいろいろありますが、僕が今思うことはこの様な事と、災害が起こる前に減災させたいことです。
男性 70代以上 三城小校区	人口流入が多い大村市、我が町内も駅や交通の便も良く、学校にも近いことで新しい宅地がうまって来た。比較的若い家族が多く、地域の行事にしても小さい子ども達の参加も多くなったようです。 子育てしやすい街「全国8位」？にもランクされたことがあるらしい福祉施策も進んでいることを喜ばしいと思っています。 市内の待機児童の現状も改善されていくと思うが、そうした施設の拡大と共に幼い子どもが外で遊べる公園の遊具やそうした遊具の点検・見直しをして欲しい。町内にも遊具があるが、遊べる子どもがいない。やはりすべり台等は必要だろ

	う。住民の意見を聴くなどして見直しを図って欲しい。子ども達が大切にされる街にしましょう。 「さくら日和町づくり」を提案され、国道などに桜の木が植樹されたが、駅裏通り J R 駅の沿道の桜は枯死している。 かつては通りをウォーキングする人たちからも通りの 21 市町の代表花と特色ある風景の壁画とマッチして非常に好評を博していた。J R と交渉してオオムラザクラが植樹出来ないものだろうか。駅裏通りの明るさ元気を示したいものだ。花と緑と自然に囲まれた町でありたいですね。駅の沿線や小佐古町の間を通る川の沿いにも桜の木が欲しいなあと思う。健康増進、楽しくウォーキングができる通り、そして行き来する人が楽しく会話できる、挨拶通りになればいいなあと考えています。町内の有志で制作している壁画にも力を入れていきたいと考えてますので、是非市の環境保全課にも進言して実現してほしいものだと思います。
女性 30 代 富の原小校区	富の原 2 丁目に居住しております。この区域、たくさんのお子さんがいらっしゃいますが、子どもの数、区域の広さに対して公園がすごく少ないように感じます。私の自宅からも 1 番近い公園まで比較的車通りの多い道路を渡らないとたどりつけないので、もう少し各所に公園ができるといいなと思っております。 大村市北部にもイオンのようなショッピングモール、センターのようなものがあると嬉しいです。ファーストフード店などはほとんど大村市中心部～南部に集中していると思うので。子どもが増加傾向にある北部に家族で休日にでかけられるような所ができるといいなと思っています。 おむらんどのような雨の日でも子どもが遊べる場所を増やしてほしいです。おむらんど、大好きです。ぜひもっとたくさん作ってください。(できれば北部に) 趣旨と異なるようなことまでたくさん書いてすみません…。公園のことはぜひ！！ご近所からも公園がもっとほしいという声はよく聞きます。
女性 50 代 富の原小校区	子育てしやすい町という割には、道路がガタガタしている所が多くベビーカーも押しにくいし、大きい公園（大型遊具があり、水遊びもできるような）、気軽に行ける公園が平地に少ない。 自転車通学の生徒が多いのに自転車専用の区間が少ない。バスももう少し便利に改革して、雨の日の高校への送迎の負担を減らせば、もう少し大村の高校へ市内の生徒も進学希望するのではないかと思います。 人口が増えているので、もう少し大きな商業施設（モールなど）や映画館などが欲しい。 資源ゴミや燃やせないゴミの収集をせめて月 2 回にして欲しい。収集場所も燃やせるゴミと同じ場所になれば老人の方の負担も減ると思う。1 か月間貯めておいたのを雨の日にぬれながら持って来られる姿は悲しくなります。
男性 60 代 大村小校区	・子どもや高齢者に優しい街（市）づくり ・地域外から訪れた人に親切な街（市）づくり。をお願いします。 ・高齢者が経済的に大きな負担なく、公的な乗り物にのって、色んな施設を活用出来るようなしくみづくり。 ・小さな赤ちゃんや不眠の痴呆症の老人が眠ったばかりなのに、バリバリというけたたましい音で街を走るバイクなどが無い街づくり。 ・片方で観光を推進しながら、道路は雑草だらけを放置している…という感覚が不十分でない街づくり。などなど。

	大村市は本当に住みやすい街だと、基本的には思っています。だからこそ、そのことに甘えて繊細なところに無関心もしくは不感症になっている（きちっと良くして行きたいという心が見えない）ようなところが、目についています。ぜひとも頑張ってください。
男性 40 代 竹松小校区	若い人が安心できる生活が難しいと思う。老人が多いので、そちらに目が行くのはしょうがないが、50 代以下にも恩恵がある政策を考えてほしい。文科系の施設が少ないと思う。図書館が新しくなったが、書店がほとんどつぶれてしまった。長崎市か佐世保市に行かないと映画を見られない。県央地区で大きな映画館を誘致して欲しい。 深夜の救急窓口が少ないと思う。23 時すぎぐらいに体調が悪くなった時に、市病、国病、夜間初期診察窓口に連絡したが、どこもあてはまらず、朝まで待った事があった。全て 24 時間は無理だとしても初期診療窓口だけは夜間ずっと開けていてほしい。大村は位置的に便利な所にある上に空港もあるし、もっと大々的な箱モノを作って、企業、住民に強くアピールして良いと思う。
女性 30 代 富の原小校区	子どもの遊び場、アスレチック（大型）がある公園が少なすぎる。小、中学生がわが家の前の道路で毎日ボール遊びをしており大変危険である。もっと公園の整備をしてほしい。 学童の料金が高く、利用できない。子ども達が無料で過ごせる児童館をつくってほしい！軽度、中度の障がいのある子ども達は、放ディ、病院の受診、検査、投薬、訓練…ととにかく、普通の子どもよりもお金がかかる。病院に毎月行く必要があり、上限があっても厳しい。多動であるため、ケガをすることも多く、その他の病院にかかることもよくある。子どもの病院代の無償化を実現してほしい。障がいのある子ども達も育てやすい大村市にして下さい。
男性 70 代以上 中央小校区	公共の生活環境 1. 幼児、高齢者の日常使用する道路の幅員が狭く、学童の通学及び高齢者の歩行に危険を感じる事があります。 2. 新幹線整備が着々と進んでいます。駅周辺の整備で地域の町内会代表との調整時に要望事項を取り入れるようお願いします。 3. 市民が活用できる「City Hall」（1500 人以上規模）を再築してください。
女性 70 代以上 大村小校区	転勤族で最終的に大村を選びました。他の市より福祉に関しては配慮がなされていると思います。アーケードの通りは何とかならないか。寂しくてお店の人もあるで売る気がないかのごとく不愛想。もっと明るい通りになってお店にでも入ってみたいと思えるよう工夫がほしい。 駅周辺もコンビニぐらいでまともなレストランもない。せっかく図書館ができていまいち活気がない気がします。もったいないです。繁華街が元気になるとおのずと地域関係も元気がでてくるのでは。 市長さんはよく頑張っておられると感謝しています！！（以前よりずっと住みやすくなりましたよ。）
女性 10 代 三城小校区	日頃思っている事は、大村はそんなに田舎って感じではなく、買い物ができる店などもいっぱいある所が良いと思います。あと、大村市には空港があるし、高速道路も JR も通ってるし、今度は新幹線も通るから、それはとても嬉しいです。 これで今までよりも速く簡単に遠くまで行けて、大村市も栄えると思うし、住民も喜ぶし、すごく良いと私は思いました。

	ただ、その新幹線の工事をするによって、そこに住んでいた人はどうなるのかなと思います。それがちょっと心配にはなりました。が、もう工事が始まってると、そこは何とかしてあるのかな、と思いました。
男性 50 代 放虎原小校区	大村市長へ。もともと大村は歴史、緑、花の町であるから、玖島城の復元をしたらいいかと思う。あんまり全国的に知らない人がいると思う。過去には復元の予定があった。元々天守閣がなかったため、復元したらいいかと思う！！
女性 10 代 放虎原小校区	未使用の土地や空き地を市が買い取って雇用を生み出すような施設の建設、商業施設を建てて、市の活性化につなげてほしい。中学生、高校生が活躍できる場（イベントなど）があればさらなる活性化が見込めると思う。
女性 50 代 旭が丘小校区	近所の公園（赤佐古）にはグラウンドがあって老人会の方たちがグラウンドゴルフをしています。土・日・祝日は9時過ぎ位から親子連れや子ども達がグラウンドで遊びたくても、11時頃まで空かないので（駐車場も）かわいそうです。老人会の一部の人たちはトイレまで行かずにグラウンドの回りで用を足したり、バイクで来てる人は歩道（公園内）を走行します。（人が誰もいないときはいいですが、子ども達がいるときはヒヤヒヤします。）名物の「長いすべり台」も故障中でガッカリしている子ども達が多いです。
男性 40 代 三城小校区	スポーツ施設などがもっと充実すれば、人も集まり、つながりが広がり、深まっていくと考えます。人口に対して充分でないと感じます。特に野球場、陸上競技場など。
女性 10 代 旭が丘小校区	障がい者や高齢者の方のための町作りも大切だが、年々、若者が大村から出ていき減少しているのもっと若者にも支持を得る町作りも行った方が良くと思う。若者が大村で集うところはイオンなど少ししかない。イオンにも若者向けの店舗を増やしたり、アーケード街ももっと活気のあるものにしたいと思う。そして、もっと若者の意見にも耳を傾けて欲しい。大人の意見だけで、私たち若者の意見が反映されているとはあまり思えないことが多い。映画館や洋服店などもっと充実させれば、もっと活気が出ると思うし、若者も少しは大村に残ろうと思ってくれる人も増えると思う。
性別・年代無回答 校区無回答	大村市は長崎空港があり、有名人が来る場合必ず大村市を通過します。そう、通過のみです。もったいないです。何かに活かしたらと思います。
女性 10 代 竹松小校区	学生が気分転換として楽しめる場が少なすぎる。地元には、若い世代が魅力だと思えるところがないため、高校卒業とともに市外、県外に行くのだと思う。なにか楽しめる施設や場を1つでも作ることで、地元に残る方が増えるのではないかと。 他にも、交通手段の少なさや、保育士の減少による待機児童問題。様々な面で親が苦労している点も改善を求めたい。少しでも保育士が増えれば良いなど。
女性 40 代 旭が丘小校区	子どもの意見として映画館があるショッピングモールやスポーツができる広場（バスケットボール）を身近な場所に作って欲しいです。 なぜなら、他の市でお金を使ってくるのが馬鹿らしい!!
男性 10 代 旭が丘小校区	ぜひ、映画館などの娯楽施設や子どもから大人まで楽しめるような施設(ROUND1など)を作って欲しい。また、たくさんイベントを作って欲しい
男性 30 代 松原小校区	大村中心部などは、人も増え、それに伴い商業施設が多く建ってきているが郊外地区は、少子高齢化が加速している。

	あと雨の日も子どもが遊べる施設の充実と設備の整った公園などをもっと作って欲しい(公園は、あるが遊具の老朽化が目立つ)。
--	---

◆公共交通

女性 70 代以上 大村小校区	資源物、不燃物等の当番の時間が長い。仕事してる頃は大変苦になってた。運転免許証返納してから乗り物はバスがあるが、1 日数回しか通らない場所だからタクシー券半額ならいいと思います。(80 歳以上の者)
女性 70 代以上 大村小校区	現在車の運転をしているので気軽にどこへでも行けるのですが、手放した場合のことを考えると交通機関が充実していない様に思う。買い物、通院等はタクシーを頼るしかないのか。
女性 60 代 西大村小校区	車が運転できるうちはいいが、免許を返納した後の交通手段のバスが運行時間が少ないらしく、小さいバスでいいので、30 分に 1 便位になってくれたら利用しやすくなると思う。
女性 60 代 福重小校区	現在はまだ働いていますが、高齢になった時、生活していく上で全てに不安がある。買い物、病院など。一番近いお店で 10km 位あります。
女性 70 代 富の原小校区	大村は交通が不便です。行きたい方向にバス路線がない。高齢になってひどく思います。車に乗れなくなったら不便になると思われる。
女性 40 代 富の原小校区	車がないと生活ができない大村市に疑問を持っている。通学は自転車があたり前になっていて、部活も保護者の協力で車を出しあったりしているので、トラブルが良く出ている。緑に囲まれ、公園が多い、物価も安いのはとても住みやすいと思っているが、10 万弱の街で交通機関がないのはとても住みにくく、体調が悪い時などは非常に困っている。 子どもは沢山住んでいるが、子ども会がなく、児童館の様な施設がないので子どもの居場所がありません。みんな道路でボール遊びをしたり自転車サーキットをしたりと事故が後を絶ちません。とても悩んでいます。道路で遊ばない様、何度か注意しましたが、やはり子どもなので同じ事をくり返してます。警察も指導&パトロールなど行って欲しいところです(原口町)。 コロナの影響で臨時休校になっているが、子どもは集団で遊んでいるので何の為の休校なのか。大村市でも呼びかけやパトロールをお願いしたいです。
男性 30 代 西大村小校区	市内のコミュニティバスを開設して欲しい。街から離れた場所に住んでいる高齢者や障がい者はバスの本数も少なくタクシー料金も高く感じます。もっと交通機関を気軽に使えるシステムを作って欲しい。お願いします。
男性 50 代 西大村小校区	バスの本数が少ないので車が必要になるが、高齢になると免許の返納を求められます。他の自治体では、タクシーチケットが 70 歳以上の方へ配布されていると聞きました。大村もそういう支援をしてほしいと思います。
女性 50 代 富の原小校区	高齢者や子ども達が気軽に外出できる為にも、路線バス等の充実が欲しい。バス停でちょっとしたおしゃべりも出来るし、顔見知りにもなる。また、公共の乗り物を利用するという事で子ども達にも自然とゆずり合いや社会ルールが身につくかと思う。大人もバスに乗るついでにバス停まで、目的地までと歩く習慣が付き健康にもつながると思う。
男性 40 代 三浦小校区	交通網が充実していないので外出や通院の時に不便であります。やはり山間部まで整備するのは不可能な事なのか？

女性 70 代以上 富の原小校区	・高齢者の免許証返納が話題になっておりますが、バスの回線、本数が少なく、病院、買い物、役所等に行く場合、お手も不便を感じます。運転技術はまだ大丈夫だと思っておりますが、足、腰の病気があり近くでも歩くのは無理があるので、どうしても車を使わざるをえません。年金生活ではタクシー使うのは厳しいです。 ・他市から転居してきたんですが、特に高齢者に多く見受けられるんですが、数メートル先に横断歩道があるにもかかわらず、目の前のスーパーへ行くのに平気で国道を渡っている方が多いです。しかも、杖をついたり、手押し車を押したり、ヨタヨタ歩きだったり、明らかにハンディーがあるような方が多いです。警察官に話しても「大村の人達はどこでも車が止まってくれると思ってのんですよえ」という返事が返ってきて、ビックリしております。これで事故になったらドライバーが気の毒です。
女性 50 代 放虎原小校区	車がないと生活できない、運転できないと生活できない、外に出れないと年をとると体力も気力もおちる。大村はそんな所だと感じる。 大村にはたくさん土地はあるが、だれもが楽しめる場所がない。アウトレットモールや劇場、映画館など楽しめる場所、そして年を取っても気軽にいける交通の便が全くと言っていいほどないのが年々感じる。若い時はあまり考えなかったが、年々不安になる。公園、レジャーランド、コストコのような大型の店などを入れてほしい。
男性 60 代 旭が丘小校区	1. まず高齢者が多く、1 人暮らしの方や病気を持って生活をしている方が多いということ、ひきこもり状態が続いているので会話がなない。 2. 買い物に行くのに交通手段がない為、タクシーで行かれています方を時折見かけます。例えば、市で毎日数回マイクロバスを動かして買い物をされるのはどうかと考えます。 また、高齢者の運転も減り、バスの中でコミュニケーションを取れるのではと思います。事故防止にもなるという結果が得られるのではと思います。 長寿は体の健康と心もともなわないと進みません。もう少し回りを見て、以前自分が子どものころを思い出し、いろいろ考えてみてはいかがでしょうか。がんばって下さい。
女性 50 代 三城小校区	高齢の親が運転を止めてくれず困っています。タクシー割引などの支援があると助けになると思います。他市等では、返納者には割引があると聞きます。
女性 60 代 放虎原小校区	私は大村に住んで 20 数年がたちます。転勤族で北から南いろいろな所で生活し、大村が一番長いです。主人も私も他県（関東、関西）の生まれ、この地に親戚、身内はおりません。交通の便が良く（空港、高速道路、鉄道）、特に空港が近いので私達のように遠くにふるさとがあるものにとってはとても助かります。東京迄も 2 時間余、大阪神戸京都へもいろいろな事で行く事が多いですが、とても便利です。新幹線もできるようになり町がどんどん変わっているように思い、私達の家の子の周りの畑も、どんどん宅地になり家がたくさん建ってきました。 ただ、畑を切り売り切り売りして道路が狭く、通学路にはガードレールもなく車を走らせていると登下校の時はこわい気がします。家を建てる前にもう少し道路の整備は必要かと思ひます。 また、今は車の運転ができるのでいいですが、町へ出るのに（駅、空港など）バス停が近くにありません（古賀島）お店は歩いていける所にありますが、大村駅と竹松駅にもタクシーを利用するようになればかなりの経費もかかります。町を

	循環するミニバスなどができればと思います。どんどん家は建ちますがご近所さんとのお付き合いにわずらわしさもあり、お名前も知らない方も多いです。ずっと大村に住んでいる方（地元の方）と他からきた人（よそ者？）との隔たりのようなものも感じます。全国から見ても「住みやすい町」としては最高かと思いますが、人と人との温かさをもっと感じられるようになってほしいと思います。長崎方面へ行くリムジンバスなどは便も増え便利になりましたが、地域バスの停留所がほしいです（空港道路）ぜひほしいです。
女性 50代 三浦小校区	大村市は車の免許と車があると便利です。ですが、車のない人（交通弱者＝高齢者、高校生その他車のない人）には、大村の中の移動がしんどいです。「乗り合いタクシー」（でも、危険なのは怖い。素人の白タク的なのはいやです）や、少人数で利用できる小さいバスとか、そういうのが欲しいです。運転手さんはちゃんとした人がいいです。「ただ暇にしている優良運転手」はいやです。女性や弱者が怖い思いする可能性があります。 地域の町内会活動が重くて、本当は町内会に入りたくありません。ゴミを捨てるために、町内会に入っています。
男性 10代 西大村小校区	バス停にて、バスを待っている時ご高齢な方が一時間待ちかと良く聞きますので、路線バスを増便もしくは見直しをお願いします。
女性 60代 中央小校区	アーケードの活性化がなされていないのでは？という声もあります。高齢世代のためのコミュニティバスの充実などが増えると高齢者の免許返納に繋がると思います。子ども達のための子どもタクシーなども料金を安くしてほしい。マスクも足りないし安全な街作りにしていただきたい！
女性 60代 中央小校区	バスの便数が少なく、高齢者が自力で行きたい所に行く機会を奪っていると思う。新幹線もいだろうけれど、もっと大村住民の助けになる公共乗物の充実を望みます。

◆福祉

男性 30代 富の原小校区	医療費控除が少ない。成人以外で小中高くらいまでは一律無料化を求めます。（月々800円以上などではなく）
女性 30代 竹松小校区	妊婦検診の無料化。毎回の検診で数千円の支払いは負担が大きすぎる。おむらんどのような広くて子どもが安全にのびのび遊べる無料の屋内施設を増やして欲しい。森園公園に遊具の設置。保育園、幼稚園の増設。休日当番医に毎週小児科を開院してほしい。
男性 70代以上 富の原小校区	・町内に子ども会が無く、子どもが大きくなった時のお互いのいろんな面での関係がどうなっていくのか心配です。 ・スポーツ面で地区対抗のバレーボールやソフトボール他ありますが町内でのこれらの活動が無いと、出場表が固定化され、住民としての関心が無い。町内でのスポーツ大会等（上記も含む）が出来る様なになれば良いと思う、今年から今まで活動がないため町内の体育委員会も廃止された。市の体制、実施基準等が具体的にあれば、実施やり易いのではないかな。 ・障がいサービスは日本一と言っていたが、現在はどうなのか？毎年全国の現状を調査して、良い所があればそれ以上を備えてほしい。
女性 20代 西大村小校区	高齢者が増加してきている世の中で、高齢者に対して充実した施設や設備を、もっと整えていくべきだと思う。デイサービスや訪問介護サービスを利用している

	高齢者も多いが、それ以上に、一人暮らしの方が多く、そのため上手くサービスを活用できずに寂しく暮らしている方が多いと思う。そういった方にもっと目を向け、“年をとっても住みやすい街”を目指していくべき。 また、少子化ではあるが、子どもも増えている。待機児童をなくすべく、保育環境を整えていくべき。時代の流れもあるが、今は小さい子どもでも、ゲームやスマホを使う時代になっている。赤ちゃんをあやすために使用したりする事もあるようなので、一概にダメだとは言えないが、昔のように、外で遊びまわり、走りまわる、そういった姿が、本来の子どものあるべき姿だと私は思う。 そのようなことが出来る場所・環境（公園など）を奪ってはいけないと思う。大村も、新幹線の工事などで、だいぶ土地開発も進んできたが、集客を増やすためにも、もっと商業施設を増やすべき。
女性 70 代以上 旭が丘小校区	今は長寿社会です。私達も夫婦で母を看ています。施設に入ってますが何かと忙しいです。今度は自分達の介護かなと思う時があります。なるべく元気で居ようと思ってますが…。近所づきあいも難しいでしょう。なるべく市の方でお風呂の半額券、公民館活動がしやすくなる様にバスの手配など考えてほしいです。一人一人が自分に合った事を続けられる様になれば良いかと思います。
女性 60 代 鈴田小校区	望むことは沢山あるのですが、なかなか理想と現実には難しいようです。ただ、一部の方たちが一生懸命色んなことにたずさわって下さっているのも知っているので、申し訳ない思い、また感謝の思いはあるのですが、いざ自分が…となるとなかなかふみこめていません。勝手な言い分で申し訳ないのですが。 障がい者施設も近くにいくつかできているのですが、利用の仕方(分類)がわかりません。年齢的なものか、障がいの度合いなのか、その点もう少し分かりやすくなると、将来私達自身も利用できるのか等、分かるともっと心強いかも知れません。 子ども達の下校時によくある事なのですが、道路を歩いて車がくると端によけてくれるのですが、時々両端に分かれてよってくれるのですが、それでは道幅はかわらないのでしっかり片側によってくれるよう指導をお願いしたいものです。
男性 40 代 放虎原小校区	個人的な見解と致しては、環境は整っているし、これから発展していくであろう地域に、課題がその都度生じるでしょうが、子どもの将来、お年寄りに配慮された街づくりを、一連の活動に携わっている関係者には頑張ってもらいたいと思います。
女性 70 代以上 大村小校区	私は大村に移住して8年目になります。移住の理由は、空港があり、医療設備が整った病院もあり生活もしやすいと思ったからです。今は園田市長も信頼しております。大村に住んでよかったと思います。 ただ、淋しく思うのは、市から生活・福祉に関する情報が全然こないことです。敬老の日が来ても何の連絡もない、一人で住んでいて何か不安な事はないか？とかそんな心づかいがあっても良いのではと思います。町内会に加入してないと、大村市民ではないような扱いはしてほしくないです。
女性 70 代以上 西大村小校区	大村市は高齢者に対してやさしい町ではない。母子家庭や生活保護者にはとても住みやすい町と思います。
男性 60 代 富の原小校区	転勤族には町内会は不要の何ものでもない。班長の回転を遅らせるために押しつけられる。「順番がきましたから」とか言われて、どういう順番だと言いたい所だがグッとこらえる。そういう地域はどうでもいい。私は両親を老人ホームで最

	後までお願いしました。「住民参加による」とあるが、私は参加を拒否する。安い老人ホームの充実を図ることを望む！
女性 70 代以上 旭が丘小校区	誰もがいける様な福祉施設がほしい。介護の認定がないと、今は行く事が出来ません。夫婦二人ですごし、どちらかが急に泊りがけ出かけなければいけない時に、1人おいて行くわけにはいかない。ショートステイなどがあれば良いと思いますが、介護認定1～5までにはまらない時は介護施設にもいきません。
女性 60 代 三城小校区	高齢の方々の集える場所場所がもっとあればいいと思います。
男性 30 代 富の原小校区	高齢者福祉について言わせてもらえば、本当は手助けを必要としている人でも、自分を高齢者と認めたくない方が多く、活動を阻害しているように思う。 自分で出来る事は当然自分でやるのが一番とは思いますが、出来ない事でも無理をしてやろうとする事が逆に助けようとする側にも気を使わせていると思う。 地域のあり方は地域ごとで違って良いと思うし、正しい答えも無いと思う。地域によって人の考え方もバラバラなのであり方という文言は必要無いと思う。各地域自由にやってみて、その地域にあった福祉を目指せばいいと思う。

◆子育て・学校教育

女性 40 代 三城小校区	未婚で子どもはいませんが、子どもは欲しいと思いながら今までできました。何らかの方法で体外受精をし、子を産むことを考えましたが、周囲の状況を想像すると実行できませんでした。 大村市は子育てがしやすい所とは聞いていますが、実際それもどうなのか。子どもが少ない日本なので、女性1人でも（未婚でも）産み育てやすい環境になることを願います。
女性 50 代 三城小校区	去年後藤産婦人科が閉院され、産婦人科が大村市で3院になりました。おび産婦人科は、長崎医療センターでお産するとのことで、中央産婦人科院としげまつレディースクリニックでは、妊娠中～出産できるようです。お産はリスクが高いので、なかなか手がないのでしょうか？ 人口が長崎県の中で大村市はめずらしくいま増えているそうですが、安心して妊娠→出産できる医院が少ないと、子どもを産みたいという若い女性は大変だと思います。 保育園の待機児童も多く、そして希望どおりには入れず保育園の申し込み決定が2月末ですがまだわからないのでは、4月から働くお母さんにとって、はいれないときどうする？子どもをどうしたら働けるか思案しなければなりません。行政の都合もよくわかりますが、小さな子どもを育てながら入園準備も大変です。母親の不安が少しでもすくなくなるようになっていくと、子育てしやすい町になるのではと思います。 新型コロナウイルス（コロナ）が流行しつつあり、不安になっている。特に高齢者、子どもの小さい世帯には十分な正しい情報がいきわたるようお願いいたします。行政による正しい情報市民みんなに平等にいきわたることが意外ととても難しいことだと去年の台風被害で痛感した次第です。 2/27（木）付長崎新聞に載っていたのですが、西海市が備蓄用のマスク2万4千枚を市民に提供することを決められたそうです。大村市内のドラッグストアの

	前には開店前にたくさんの人が行列になってますが、今日は並んだけど入荷が一枚もなかったというのが現実です。 市長さんや市役所職員さんは実情を知っておられますか？みなさんマスク難民で毎日疲れきってます。大村市も行政として早い決断をお願いします。 80歳代の母は免疫の少ない血液の病気で人混みにも出れません。本当にマスクが必要な高齢で1ネットも使うことができない、出歩くことが不自由な人にマスクが行き渡る様、行政からの配慮をお願いします。あと小さい子どもさんのいるご家庭にもお願いします。
女性 40代 竹松小校区	竹松小学校校区在住ですが、生徒数が多すぎます。新校舎を作るのがムリならスクールバス等出して近隣の学校に通えるようにする等対策を望みます。先生方も大変だと思います。トイレも未だに和式で近くの教室はニオイも気になると聞きます。老朽化の対策を早急をお願いします。
女性 40代 放虎原小校区	・子ども会の活動に参加しています。参加したくても子どもの送迎が出来ないので行けない。子どもだけで行かせるのは不安などの声がありました。何か行事があるときには気軽に借りれる乗合いバス等あれば安心だと思います。 ・近くに公園がなく、小学生ですが、どうしても家に集まりゲームをすることが多いです。(校区内に1ヶ所) 空き地でもいいです。開放していただけると嬉しいです。
女性 60代 大村小校区	・子ども達が自然の中で遊べる環境作りの必要性(情緒豊かな成長) ・高齢者の憩いの場所・仕事で多忙な家庭の援助システム・24時間営業をできるだけ減らす ・もの作り体験場所(子ども、大人)など、豊かな環境があればいいなと思います。
男性 40代 竹松小校区	近所にどんどん家が建つなか、これから地域(近所)活動が本格化するのかなと思います。竹松小は、学区が広く、端と端の地域の子ども(お友達)が遊ぶ際、気軽に子ども達だけでは遊べない様です。(母親同士が連絡して日程を決めている様です) 児童数も多いので、分校等できないでしょうか。
女性 60代 中央小校区	・高齢者が多くなり若者に色々な行事などをするにも負担がかかるためだんだんと地区の祭り等もなくなってしまった。若い人は共働きで時間もないし、子ども会も私の地区は存在していない様です。忙しいですね。子どもと遊ぶ余裕がないのは、仕事をしないとお金が無いから？生活に余裕が持てる様に、市、行政等考えて欲しい。 ・大村で子ども達が自由に遊べる公園を作って欲しい。琴平スカイパークの様なのではなく、島原の百花台公園の様な施設です。
女性 40代 竹松小校区	大村市では小学生の集団登校(下校)が行われていない。このことは、近所づきあいのきっかけとなろう。計画的に行うべき。
女性 30代 竹松小校区	私達夫婦は新潟県出身です。1年半前に主人の転勤で大村市にきました。大村市にきて感じたのは、市民のみなさんが本当に優しいです。 今は0歳の子どものを育てています。スーパーやドラッグストアに行くと必ず話しかけてくれますし、袋詰め、車まで荷物を運んでくださいます。 また、バスの停留所で大きい荷物を持っていたら、近くで見ていた女性が車まで運んで下さり、本当にいい街だなと思います。

	また、支援センターが多く、知り合いが大村にいないので、情報交換などでき、大変助かっています。大村で子育て出来て幸せです。 しかし、ご近所付き合いは全くないです。子ども会などあればいいなと思います。町内会費は何に使われているのか知りたいです。道路についてですが、どこも混むのでスムーズに進めるようにしていただきたいです。 関係ないですが、野菜がとってもおいしいです。とくににんじん！！もっとアピールしたらいいのに、と思います。いつかはまた転勤で違う県へ移動になりますが、大村に住めて良かったです。月曜日～土曜日の朝、ご年配の方がゲートボールをされていて素敵だなと思います。子どもの教育としてもご年配の方と話せる機会がもてたらいいなと願っています。
男性 50代 西大村小校区	近年、子ども会加入率が減少傾向にあり、地域住民の希薄化が社会的課題となっています。我が西大村地区においても同様です。加入率が減少した原因は、保護者が役員になることや子どもが習い事で子ども会に参加できないこと、子ども会に加入するメリットがないことなどがあげられます。 しかし、今だからこそ、地域社会で助け合うことの大切さを、子どもから植え付けて行く必要があると考えています。今後、子ども会加入率が減少した原因をしっかりと調査し、その原因を解決して行く必要があると思っています。そして、子ども会でしかできない行事の開催を企画し、子ども会に加入するメリットを情報発信して行く必要があります。 このことは、行政（社会教育課）、学校、健全育成協議会、町内会の連携なしには、この問題は、解決しないものと思っています。 このような課題解決に向け、協力してまいりたいと思っています。
女性 20代 竹松小校区	地域と学校の協働を進めるべきだと思います。教員の負担を減らすことができ、子どもが色々な価値観に触れて豊かに成長できるきっかけにもなりますし、地域の高齢の方々の生きがいに繋がることもあるからです。大村市に期待しています。

◆医療

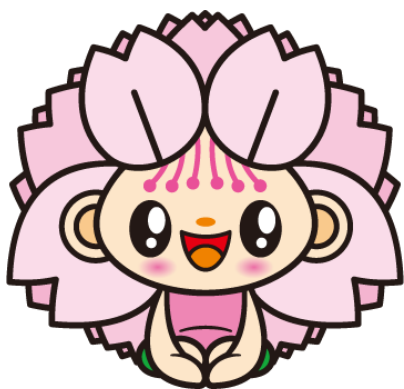
女性 10代 福重小校区	コロナウイルスの対策について、徹底してほしいです。マスクをもっと入荷してほしい。マスク不足で学校給食の衛生がよくない。
女性 30代 放虎原小校区	子育て支援制度が整っていると思うが、休日の当番医が諫早市のように、内科・外科・小児科はせめて整えてほしい。現状だと休日の当番医が専門外のことが多くあり病院受診する方としては困ることが多い。
男性 70代以上 中央小校区	・最近、町内へ入会する人が少なく、それどころか脱退する人が出て来てるので、市の方で町内会に入るキャンペーンをしてほしい。市政だよりも載せても町内に入っていない所には配っていないので意味がない。何か方法考えて下さい。 ・地域住民の健康を支える市民病院、夜間救急で行っても、内科医がいないので医療センターへ行く様になると言われる。本当にふざけた病院で、こんな医療団体とは早く契約解除し、元の長崎大学医学部と契約して大村市民が安心して医療受けられるようにしてほしい。大村市長園田も市民病院に行かず医療センターに行ってる位だから、早急に健全な市民を守る病院にしてほしい。無駄な税金は使ってほしくない。

◆その他

男性 60 代 三城小校区	大村は海、山、自然風土に恵まれていて日々感謝している。30 年近く都会で生活していて特別です。豊かな自然環境があること、触れ合いがある人関交流、第 2 の故郷と言える程。私は経済活動優先よりも精神活動を重視する大村・地域に望みます。自分で出来ることは、何でも地域に返したい。主体的に生きたいと思う。
男性 70 代以上 大村小校区	何を書いても返事がない。失望している。アンケートは送付しないでください。ゴミ箱へ。
女性 30 代 西大村小校区	地域のあり方等難しいことはわかりませんが、私は生まれ育った大村が大好きです。大村のために務めて下さりありがとうございます。
女性 50 代 萱瀬小校区	地域の方々は広く浅く付き合いしています。大村市民として、企業のあり方、教育など学校のいじめと変わらない会社があります。上の役員の人々は給料も多くもらっているでしょうが、それに見合う仕事はあまりやっていないような…。私達は指示に従いやっていますが、回りによく思わない人のいやがらせがあります。上の人はそんな人は面倒くさいのか、関わらないケースがあります。自分が正しい事をしていても却下され、モヤモヤをつのらせ最後辞める形になります。そういう人を野放し状態。それは大村の企業にまだまだあります。特に女性は自分の好き嫌いで判断し、皆から反感をもたれます。働きやすい職場作りなど、なかなか思い通りにはいかないもんです。私も長年働いた会社を辞め幸せです。ストレスが無い社会がいいです。大村全体もそんな人がいなければもっと良いより良い大村になるのではないかと心より思います。まだまだ課題があるのでは…現実から目をそむけず、前向きに行ければいいと思います。私の力では…微力でした。私の子ども、孫世代によりよい大村にして下さい。
男性 40 代 富の原小校区	私は富の原 1 丁目に住んでいます。毎年夏場になると近所の方が庭で草やゴミを燃やします。住宅街で草やゴミを燃やしていいのですか？燃やす時間も不定期で夏なのに窓を開けることも洗濯物を干すこともできなくて困っています。相手がお年寄りということで文句も言えません
男性 70 代以上 西大村小校区	先ず自分自身が健康であることを目標に天気の日にはウォーキング等実施し、人様に迷惑をかけない様にしている。
女性 70 代以上 三城小校区	大村は家賃が高い。自衛隊があるからと市民は思っています。他の市を調べてみて下さい。
女性 20 代 三城小校区	他県より来ました。大村市は住みよい町です。ただ、住むことに関して、衣食は満たされていますが、住の面は自分が未婚なこともあり、まだ十分には理解できていません。環境が変われば考えさせられることがあるのかも。独身での転勤生活なので、パートナーが見つかるような活動をしています、なかなか見つかりません。大村はそういった単身者が多いと思いますので、そこに住みつづけてもらうような取組みによって人口流出を防ぐようにしてほしいです。人口が増加している町なので、地元のことを考えるとうらやましいばかりです。どうか、若者の存在も忘れず、行政とりくんでほしいです。新幹線ができれば、新幹線通勤手当（小山市など）があつたり、子育てがしやすい地域づくりをしてほしいです。

男性 70 代以上 三城小校区	町内会 10 人位で河川敷の草刈りを年間 6～7 回行っていますが、毎回刈った後の草で苦勞してます、そのままだと次回草刈りの時草刈り機に巻き込んで 3～4 倍苦勞します。 時々燃やしますが、他の地域で草を燃やしたら苦情が来たそうで、かといって草を道路まで上げ、(この上げるのが重労働です)軽トラックで環境センターへは往復 6～7 回かかり大変です。草刈りは 40 年位続いてますがもう止めようと話しが出ています。
男性 70 代以上 竹松小校区	地域から立候補者が当選して、地域全体が見直されると思うのは、有権者の願いです。行政に個人が直接問い合わせても、見直されることは、まず不可能です。議員の方々は、自分の目先だけでは無く、地域を幅広く見直されたく思う。

アンケートへのご協力ありがとうございました。



大村市役所 福祉保健部 福祉総務課

〒856-8686 長崎県大村市玖島1丁目25番地

TEL(0957)53-4111 FAX(0957)52-6930

HP <https://www.city.omura.nagasaki.jp/>



おおむら支え合いプラン

Q検索

